

寵ハ尊榮ナリ一生尊榮ニシテ安樂ナルヲ言フ
 二世曰ク之ヲ爲スナク奈何ン趙高曰ク法律ヲ嚴重ニシテ刑罰ヲ刻深ニシ有罪ノ者ヲシテ
 相坐誅シテ收族ニ至ラシメ先帝カ置ク所ノ大臣ヲ滅シテ骨肉ノ兄弟ヲ違サケ貧シキ者
 ハ之ヲ富マシ賤シキ者ハ之ヲ貴フシ悉ク先帝ノ舊臣ヲ除キ去リテ改メテ陛下ノ親ミ信
 スル所ノモノヲ置テ之ヲ近ツケヨ此ノ如クンハ則チ陰德自然ニ陛下ノ身ニ歸シ害ヲ爲
 者ハ除キテ姦謀塞カリ群臣其潤澤ヲ被フリ厚徳ヲ蒙ラサルハナシ此ノ如クンハ陛下必
 ラス枕ヲ高フシ志ヲ肆マニシテ一生尊榮ニシテ安樂セン計謀此レヨリ外ニ出ルナシ
 ト二世趙高ノ言ヲ然リト爲シ仍テ改メテ法律ヲ作りタリ、
 於是群臣諸公子有罪輒下高令鞠治之殺大臣蒙毅等公子
 十二人僂死咸陽市十公主死於杜財物入於縣官相連坐
 者不可勝數

(鞠治) 罪ヲ推窮ノ糾スナリ (僂死) 僂ハ辱ナリ殺シテ辱カシムルナリ (死) 死ハ磔
 ト同シ其支牀ヲ裂テ之ヲ殺スナ謂フ (連坐) 罪ノマキノイト爲ルヲ言フ
 此時ニ當リテ群臣及ヒ諸公子罪アレハ趙高ノ手ニ下シテ之ヲ鞠治セシム大臣蒙毅等ヲ
 殺シ公子十二人ハ咸陽ノ市中ニテ僂死セラレ公主十人ハ杜トイヘル所ニテ死セラレ
 財物多ク縣官ノ手ニ入り相連坐スルモノ數フルニ勝フヘカラス

公子高欲奔恐收族乃上書曰先帝無恙時臣入則賜食出則
 乘輿御府之衣臣得賜之中廐之寶馬臣得賜之臣當從死而
 不能爲人子不孝爲人臣不忠不忠者無名以立於世臣請從
 死願葬酈山之足唯上幸哀憐之

(御府) 天子ノ物ヲ藏スル所ナリ (中廐) 天子ノ馬部屋ナリ (從死) 殉死ナリ (酈山
 之足) 酈山ハ始皇ヲ葬ムル所ナリ足ハ其山麓ヲ謂フ
 胡亥ノ兄公子高他國ニ亡ク走ラント欲セシカ其收族セラレンコトヲ恐レテ上書シテ曰ク
 先帝恙ナキ時臣入レハ食ヲ賜ハリ出レハ輿ニ乘リ御府ノ衣ト中廐ノ馬ト臣皆之ヲ賜フ
 ナ得タリ臣當サニ從死スヘクシテ能ハス人子トシテ不孝人臣トシテ不忠ナリ不忠ナル
 モノハ世ニ立ツヘキノ名譽ナシ臣請フ從死セン願クハ酈山ノ麓ニ葬レ唯上幸ニ之ヲ哀
 憐セヨト

書上胡亥大說召趙高而示之曰此可謂急乎趙高曰人臣當
 憂死而不暇何變之得謀胡亥可其書賜錢十萬以葬法令誅
 罰日益刻深群臣人人自危欲畔者衆

(刻深) 刻ハ猶深ノ如シ刻深ハ手ヒドキチ言フ
 公子高ノ書上ツレリ二世見テ大ニ悦ヒ趙高ヲ召シテ其書ヲ示シテ曰ク此レ事急ナリト
 謂フヘキカ趙高曰ク人臣當サニ死ヲ憂ヘテ暇アラサルヘシ何ノ非常ヲカ謀ルヲ得ント
 胡亥其書ヲ宜シトシ錢十萬ヲ賜フテ葬レリサテ秦ノ法律條令及ヒ人ヲ誅殺刑罰スル
 日々益々刻深ナリ群臣人々皆自カラ危フミテ背カント欲スルモノ甚々多シ、
 又作阿房宮治直馳道賦歛愈重戍徭無已於是楚戍卒陳勝
 吳廣等乃作亂起於山東傑俊相立自置爲侯王叛秦兵至鴻
 門而却。

(阿房宮) 秦隱曰ク其形ヲ以テ宮ニ名ツクルナリ其宮ノ四阿旁廣ナルチ言フト顏師古曰
 ク阿ハ近ナリ其咸陽ヲ去ルノ近キチ以テ阿房ト號スルナリト (直馳道) 謂ハユル閣
 道ナリ高キ處ニカケ渡シタル廻廊ナリ阿房ノ殿下ヨリ南山ニ抵ル間路險ニシテ行キ難
 キチ以テ空中ニ木ヲ架シ棚ヲ作りテ直チニ渡ラシメタルナリ (賦歛) 租稅ヲ取り立ツ
 ルナリ (戍徭) 戍ハ邊境ヲ守ルナリ徭ハ課役ナリアヤクニアテラルトナリ (自置)
 猶自立ノ如シ

又阿房宮ヲ作りテ直馳道ヲ治メ賦歛愈々重ク戍徭止ムナシ是ノ時ニ當リテ楚ノ戍卒
 陳勝吳廣ナトイヘルモノ亂ヲ作シ山東ヨリ起リ豪傑英俊互ニ相立チ自立シテ侯王ト爲

リテ秦ニ叛キ其兵鴻門ニ至リテ退キタリ

李斯數欲請間諫二世不許而二世責問李斯曰吾有私議而
 有所聞於韓子也曰堯之有天下也堂高三尺采椽不斷茅茨
 不翦雖逆旅之宿不動於此矣。

(采椽) 采ハ木ノ名ナリ一名櫟ト云フ即チイチビノ木ナリ采椽ハ櫟ノ木ヲ以テ椽ト爲ス
 チ言フ (茅茨) カヤナリ屋チ葺ク物ナリ (逆旅之宿) 逆ハ迎フナリ旅ハ客ナリ逆旅

ノ宿トハ旅人ノ宿ヲ業トスル家チ言フ
 李斯數々問チ請フテ諫メント欲ス二世之ヲ許サス而シテ二世却テ李斯ニ責メ問フテ曰
 ク吾私議アリテ韓非子ニ聞ケル所アリ曰ク昔シ堯ノ天下チ有テルヤ堂ノ高サハ三尺ニ
 止マリテ采椽モ斬リタル儘ニ組ミテ之ヲ斷ラス茅茨モ刈リタル儘ニ葺キテ之ヲ翦ラス
 ト逆旅ノ宿ト雖此レヨリ儉約ナラス

冬日鹿裘夏日葛衣桑糲之食藜藿之羹飯土甌啜土鉶雖監
 門之養不穀於此矣。

(桑糲) 桑ハ稷ナリ糲ハ飯粟ノ飯ナリ (藜藿) 藜ハアカザナリ藿ハ豆ガラナリ (土甌)
 土鉶) 共ニ土ニテ作りタル器ナリ (穀) 薄ナリ盡クルト爲スハ非ナリ

冬日ハ鹿ノ裘ヲ着ケ夏日ハ葛ノ衣ヲ着シ桑糲ノ食藜藿ノ羹ハ土匭ヲ以テ之ヲ飯シ土匭ヲ以テ之ヲ噉ルナリ監門ノ養ヒト雖此レヨリ薄カラサルナリ

禹鑿龍門通大夏疏九河曲九防決滹水致之海而股無胫脛無毛手足胼胝面目黎黑遂以死于外葬於會稽臣虜之勞不烈於此矣

(疏九河) 疏ハ通スナリ九河ハ徒駭太史馬頰覆釜胡蘇簡潔鈎鑿兩津ナリ (曲九防) 河ノ九曲別ニ隄防ヲ爲スナリ謂フ (決) 其壅塞ヲ去ルナリ (胫) 股上ノ小毛ナリ (胼胝) ヒマアカゼレナリ (黎黑) 黧モ亦黒キナリ (臣虜) 虜ハ奴僕ナリ
夏ノ禹王ハ龍門ヲ鑿チ大夏ヲ通シ九河ヲ疏シ九防ヲ曲ケ滹留スル所ノ水ヲ決裂シテ之ヲ海ニ放チタリ而シテ禹ノ股ニ腠ナク脛ニ毛ナシ手足胼胝シテ面目黎黑ナリ遂ニ外ニ死シテ會稽ニ葬レリ奴僕ノ勞モ此レヨリ烈シカラス

然則夫所貴於有天下者豈欲苦形勞神身處逆旅之宿日食監門之養手持臣虜之作哉此不肖人之所勉也非賢者之所務也彼賢人之有天下也專用天下適己而已矣此所以貴於

有天下也

然ラハ則チ彼ノ天下ヲ有ツニ於テ貴フ所ノモノハ豈ニ其形ヲ苦シメ神ヲ勞ラシ身ハ逆旅ノ宿ニ處リ口ハ監門ノ養ヲ食ヒ手ハ臣虜ノ作ヲ持セント欲センヤ此レ不肖ノ人ノ勉ムル所ニシテ賢者ノ務ムル所ニ非サルナリ彼ノ賢人ノ天下ヲ有ツヤ專ラ天下ヲ用ヒテ己レノ意ニ適合スルノミ此レ天下ヲ有ツニ於テ貴フ所以ナリ

夫所謂賢人者必能安天下而治萬民今身且不能利將惡能治天下哉故吾願肆志廣欲長享天下而無害爲之奈何

夫レ謂ハユル賢人ハ必ラス能ク天下ヲ安ンシテ万民ヲ治ム今己レノ身タモ且ツ利スル能ハス安クソ能ク天下ヲ治メンヤ故ニ吾願クハ己レノ志ヲ肆マ、ニシ己レノ慾ヲ廣メテ長ク天下ヲ有チテ害ナキヲ欲ス之ヲ爲ス、奈何ント

李斯子由爲三川守群盜吳廣等西略地過去弗能禁章邯以破逐廣等兵使者覆案三川相屬誚讓斯居三公位如何令盜如此

(以) 已ト通ス (覆案) グリカヘシシラブルナリ (誚讓) セメセムルナリ

又此時李斯ノ子李由三川ノ守ト爲リタルカ群盜吳廣等西ノ方地ヲ切り從ヘテ三川ヲ過
キ去レ厄之ヲ禁スル能ハス秦ノ將軍邯鄲已ニ吳廣等ノ兵ヲ破リ逐ヘリ使者其罪ヲ覆案シ
テ三川ニ往來シテ相連屬ス仍テ李斯ヲ責メテ曰ク汝三公ノ位ニ居テ如何ソ群盜ヲ擅
マ、ニ相往來セシムルヤト、

李斯恐懼。重爵祿。不知所出。乃阿二世意。欲求容。以書對曰。夫
賢主者。必且能全道而行督責之術者也。督責之。則臣不敢不
竭能以徇其主矣。此主之分定。上下之義明。則天下賢不肖莫
敢不盡力竭任以徇其君矣。

(阿) オモネリヘツラフナリ (督責之術) 督ハ察スルナリ其罪ヲ察シテ之ヲ責ムルニ
刑罰ヲ以テスルナリ (徇其主) 徇ハ從フナリ其主ノ氣ニ入ル様ニスルナリ
李斯恐懼シ猶爵祿ヲ大切ニ懷ヒテ計ノ出ル所ヲ知ラス仍テ二世ニ詞諛シテ苟クモ容レ
用ヒラレンコトヲ欲ス書ヲ以テ對ヘテ曰ク此レハ上文ノ二世李斯ニ責問シテ之ヲ爲ス
奈何ント云フニ答フルナリ夫レ賢主ハ必ラス且サニ能ク道ヲ全フシテ督責ノ術ヲ行ハ
ントスルモノナリ之ヲ督責スレハ則チ臣敢テ己レノ材能ヲ盡クシテ其主ノ心ニ徇ハス
ンハアラス臣ト主トノ分定マリ上下ノ義明カナレハ則チ天下ノ賢者愚者皆敢テ己レ

ノ力ヲ盡クシ任ヲ竭クシテ其君ノ意ニ徇ハサルコトナシ、

是故主獨制於天下而無所制也。能窮樂之極矣。賢明之主也。
可不察焉。故申子曰。有天下而不恣睢。命之日以天下爲桎梏
者。無他焉。不能督責。而顧以其身勞於天下之民。若堯禹然。故
謂之桎梏也。

(恣睢) 猶放縱ノ如シ情ヲ肆マ、ニシテ縱恣ナルヲ謂フナリ (以天下爲桎梏) 桎ハ
手械ナリ梏ハ足械ナリ言フハ天下ヲ有チテ自カラ縱恣督責スル能ハスシテ身ヲ以テ天
下ニ勞ス堯禹天下ヲ以テ身ニ桎梏ヲ爲スカ如キナリ
是ノ故ニ主獨リ天下ヲ制馭シテ人ニ制馭セラル、コトナク能ク樂ミノ極ヲ窮ムルナリ賢
明ノ主ハ豈ニ之ヲ察セサルヘケンヤ故ニ申不害曰ク天下ヲ有チテ自カラ恣睢セサルモ
ノ之ヲ名ケテ天下ヲ以テ桎梏ト爲スト曰フト是レ他ナシ督責スルコト能ハスシテ反テ其
身ヲ以テ天下ノ民ノ爲メニ勞スルコト堯禹ノ如ク然リ故ニ之ヲ桎梏ト謂フナリ(堯禹ノ身
ヲ勞セルハ前文ニ見ヘタリ、)

夫不能修申韓之明術。行督責之道。專以天下自適也。而徒務

苦形勞神。以身徇百姓。則是黔首之役。非畜天下者也。何足貴哉。

夫レ申不害韓非子ノ術ヲ修メ督責ノ道ヲ行ヒ專ラ天下ノ爲メニ勤勞シテ自カラ己レノ心ニ適合スルヲ能ハスシテ徒ニ務メテ其形ヲ苦シメ神ヲ勞ラシ身ヲ以テ百姓ノ爲メニ徇フハ則チ是レ黔首ノ使役ニテ天下ヲ畜フ者ニ非サルナリ何ソ貴フニ足ランヤ

夫以人徇己。則己貴而人賤。以己徇人。則己賤而人貴。故徇人者賤而人所徇者貴。自古及今。未有不然者也。凡古之所爲尊賢者。爲其貴也。而所爲惡不肖者。爲其賤也。而堯禹以身徇天下者也。因隨而尊之。則亦失所爲尊賢之心矣。夫可謂大繆矣。謂之爲桎梏。不亦宜乎。不能督責之過也。

夫レ人ヲ以テ己レノ欲ニ徇ハシメハ己レ甚々貴フシテ人甚々賤シ己レヲ以テ人ノ欲ニ徇ヘハ己レ甚々賤フシテ人甚々貴シ故二人ノ欲ニ徇フモノハ甚々賤フシテ人ニ徇ハルハモノハ甚々貴シ古ヘヨリ今日ニ及フマテ未タ然ラサル者ハアラサルナリ凡ソ古ヘノ賢人ヲ尊フ所以ノモノハ賢人ノ身貴キカ爲メナリ不肖者ヲ惡ム所以ノ者ハ不肖者ノ身

賤キカ爲メナリ堯禹ハ身ヲ以テ天下ノ爲ニ徇フモノナリ而ルニ因テ隨フテ之ヲ尊ヘハ亦其賢人ヲ尊フ所以ノ心ヲ取失フナリ此レ大ニ謬ルト謂フヘシ之ヲ桎梏ヲ爲スト謂フ亦宜ヘナラスヤ此レ督責スル能ハサルノ過失ナリ

故韓子曰。慈母有敗子。而嚴家無格虜者。何也。則能罰之加焉。必也。故商君之法。刑棄灰於道者。夫棄灰薄罪也。而被刑重罰也。彼唯明主爲能深督輕罪。夫罪輕且督深。而況有重罪乎。故民不敢犯也。

(格虜) 格ハ頑梗ニシテ服セサルナリ虜ハ奴隸ナリ (刑棄灰於道者) 灰街衢ニ弃ツレハ必ラス燻ス燻スレハ人必ラス怒ル怒レハ必ラス鬪フナリ故ニ灰ヲ道ニ弃ツル者ハ刑スルナリ (督輕罪) 督ハ正スナリ

故ニ韓非子曰ク慈愛ノ母ノ下ニハ必ラス室家ヲ敗亡スルノ子アリ嚴整ノ家ニハ本ト強悍ノ奴隸ナシ是レ何ソヤ則チ能ク罰ヲ加フルヲ斷スレハナリ故ニ商鞅ノ法律ニ灰ヲ道路ニ弃ツルモノアレハ之ヲ黥ス夫レ灰ヲ道路ニ弃ツルハ甚々薄罪ナリ而ルニ其刑罰ニ行ハルハ甚々重罪ナリ彼レ唯明主ナルカ故ニ能ク深ク輕罪ヲ督スヲ爲ス夫レ罪ノ輕キモ猶且ツ之ヲ督スヲ深シ而ルヲ況ンヤ其重罪アルヲ故ニ人民敢テ法律ヲ重ンシ

苛
虐
子
期

或此子期

テ之ヲ犯シ取ラサルナリ

是故韓子曰。布帛尋常。庸人不釋。鑠金百鎰。盜跖不搏者。非庸人之心重尋常之利深。而盜跖之欲淺也。又不以盜跖之行爲輕百鎰之重也。搏必隨手刑。則盜跖不搏百鎰。而罰不必行也。則庸人不釋尋常。

(尋常)尋ハ八尺ナリ常ハ尋ニ倍スルナリ其少ナキヲ言フ (鑠金)新タニ鑄鑠スルノ金ナリ (不搏)搏ハ攫ムナリ取ルナリ

是ノ故ニ韓非子曰ク布帛ノ尋常ハカリナルモ路上ニ在レハ庸常ノ人ハ必ラス之ヲ拾ヒ取リテ釋テス其罪ノ輕キカ故ナリ鑠金百兩ハカリナルモ地上ニ在リテ盜跖カ之ヲ取ラサルモノハ其罪ノ重キカ爲メナリ是レ庸常ノ人ノ心尋常ノ利ヲ重ニスルヲ深クシテ盜跖ノ慾淺キニ非サルナリ又盜跖ノ行ヲ以テ百兩ノ重キヲ輕シト爲サイルナリ然レモ之ヲ取レハ必ラス手ニ隨ヒテ刑罰ニ處セラルレハ盜跖モ敢テ百兩ノ重キヲ取ラス刑罰必ラス行ハレサレハ庸常ノ人モ敢テ尋常ノ布帛ヲ釋テサルナリ

是故城高五丈。而樓季不輕犯也。泰山之高百仞。而跛牂牧其

上。夫樓季也。而難五丈之限。豈跛牂也。而易百仞之高哉。隋澗之勢異也。

(樓季)舌ヘノ足捷キ人ナリ (百仞)仞ハ八尺ナリ百仞ハ其極メテ高キヲ言フ (跛牂)跛ハ足偏廢スルナリ即チ足ナヘナリ牂ハ牝羊ナリ跛者ノ羊ヲ牧スル者ナリ

(隋澗)隋ハ山ノ高キナリ澗ハ壑ト同シアナナリ 是ノ故ニ城ノ高キ一僅カニ五丈ハカリナルモ樓季ハ敢テ輕シク之ヲ犯シ登ラス泰山ノ高キ一仞百仞ナルモ跛牂ハ其上ニ牧スルナリ夫レ樓季ニシテ五丈ノ限リヲ難シトシ跛牂ニシテ百仞ノ高キヲ易シトセンヤ是レ全ク峭峻ノ勢ト平澗ノ勢ト異ナレハナリ、

明主聖王之所以能久處尊位長執重勢而獨擅天下之利者。非有異道也。能獨斷而審督責必深罰。故天下不敢犯也。今不務所以不犯。而事慈母之所以敗子也。則亦不察於聖人之論矣。

明主聖王カ能ク久シク尊キ位ニ居リ長ク重キ勢ヲ執リテ獨リ天下ノ利ヲ擅マ、ニスル所以ノモノハ他ノ道アルニ非サルナリ能ク獨リ斷決シテ督責ヲ審カニシ深罰ヲ斷スル

カ故ニ天下ノ人懼レテ敢テ之ヲ犯サ、ルナリ今其犯サレサル所以ヲ務メスシテ慈母ノ子ヲ敗ル所以ヲ事トスルハ亦聖人ノ論ニ察セサルナリ、
夫不能行聖人之術。則舍爲天下役何事哉。可不哀邪。且夫儉節仁義之人立於朝。則荒肆之樂輟矣。諫說論理之臣開於側。則流漫之志誦矣。烈士死節之行顯於世。則淫康之虞廢矣。故明主能外此三者。而獨操主術以制聽從之臣。而修其明法。故身尊而勢重也。

(舍)猶廢ノ如シ止ノ如シ (荒肆之樂)淫荒縱肆ノ音樂ナリ (論理)道理ヲ論スルナリ

(流漫之志)誦)流漫ハ流連散漫ナリ誦ハ黜ト通スシリソクナリ (烈士)慷慨激烈ノ

士ナリ (淫康之虞)廢)淫康ハ淫佚康寧ナリ廢ハスタルナリ (主術)即チ督責ノ術ナリ

(聽從之臣)人主ノ言フヲオトナシク聽キ納レ從フ所ノ臣ナリ

夫レ聖人ノ督責ノ術ヲ行フ能ハスシテ已レ廢止シテ身ヲ勸メ心ヲ苦シメ天下ノ役スル所ト爲ルハ是レ何事ソヤ豈ニ哀マサルヘケンヤ且ツ夫レ節儉仁義ノ人朝廷ノ位ニ在レハ淫荒縱肆ノ音樂必ラス止ムナリ諫說論理ノ臣說ヲ側ラニ開ケハ流連散漫ノ志意必ラス黜ク壯烈ノ士人節義ノ爲メニ死スルノ行ヒ世上ニ顯ハルレハ淫佚康寧ノ心廢スル

ナリ故ニ明主ハ能ク此ノ三ツノ者ヲ外ニシテ獨リ督責ノ術ヲ操リ聽從ノ臣ヲ制馭シテ其明法ヲ修ム故ニ其身甚々尊フシテ其勢甚々重キナリ、

凡賢主者必將能拂世摩俗而廢其所惡立其所欲故生則有尊重之勢死則有賢明之謚也是以明君獨斷故權不在臣也。然後能滅仁義之塗掩馳說之口困烈士之行塞聰揜明內獨視聽。

(拂世摩俗)世上ニ戻リ風俗ヲ磨クナリ

凡ソ賢明ノ主ハ必ラス將サニ能ク世上ニ乖戻シ風俗ヲ磨獨シテ已レノ惡ム所ヲ廢シ己レノ欲スル所ヲ立テントス故ニ生テハ尊重ノ勢アリ死スレハ賢明ノ謚アリ是ヲ以テ明君ハ獨リ斷決スルヲ以テ權敢テ臣下ニ在ラサルナリ然シテ後チ能ク仁義ノ塗ヲ滅シ馳說ノ口ヲ掩ヒ烈士ノ行ヒヲ困シメ聰チ塞キ明チ掩ヒテ內獨リ視聽セリ、

故外不可傾以仁義烈士之行。而內不可奪以諫說忿爭之辯。故能羣然獨行恣睢之心而莫之敢逆若是然後可謂能明申韓之術。而修商君之法。法脩術明而天下亂者未之聞也。故曰。

王道約而易操也。唯明主爲能行之。

(卒然獨行恣睢之心) 卒然ハ超絶スルナリ恣睢ハ意ヲ恣ニシテ自ラ用ユルナリ
故ニ明主ハ外ハ傾クルニ仁義烈士ノ行ヲ以テスヘカラスシテ内ハ奪フニ諫説忿争ノ辯
ヲ以テスヘカラス故ニ能ク卒然トシテ獨リ放縱恣睢ノ心ヲ行フテ之レニ敢テ逆フコトナ
シ此ノ如クニシテ然ル後チニ能ク申子韓子ノ術ヲ明カニシテ商君ノ法ヲ脩ムト謂フヘ
シ法脩マリ術明ニシテ天下ノ亂ルトモノハ未ダ之ヲ聞カサルナリ故ニ曰ク王道ハ甚々
約ニシテ操リ易シト唯明主ハ能ク之ヲ行フコト爲セリ

若此則謂督責之誠則臣無邪臣無邪則天下安天下安則主
嚴尊主嚴尊則督責必督責必則所求得則國家富國
家富則君樂豊故督責之術設則所欲無不得矣群臣百姓救
過不給何變之敢圖若此則帝道備而可謂能明君臣之術矣
雖申韓復生不能加也

此ノ如クナレハ則チ督責ノ誠ヲ盡スト謂フ督責ノ誠ヲ盡セハ則チ臣邪マナシ臣邪マナ
ケレハ則チ天下安シ天下安ケレハ則チ主嚴尊ナリ主嚴尊ナレハ則チ督責斷ス督責斷ス

レハ則チ己レノ求ムル所得ヘシ己レノ求ムル所得レハ則チ國家富ム國家富ムハ則チ君
樂豊ナリ故ニ督責ノ術設ケレハ則チ欲ムル所ハ得ラレサルコトナシ群臣百姓皆己レノ過
失ヲ救フテ足ラス何ノ異變チカ敢テ謀ランヤ此ノ如クナレハ帝道備ハリテ能ク君臣ノ
術ヲ明カニスト謂フヘシ申子韓子復々生スト雖凡之レニ加フル能ハサルナリ

書奏二世悅於是行督責益嚴稅民深者爲明吏二世曰若此
則可謂能督責矣刑者相半於道而死人日成積於市殺人衆
者爲忠臣二世曰若此則可謂能督責矣

(刑者相半於道) 道路ヲ往來スル人ノ半ハ刑罰ヲ蒙フル人ナルヲ言フ
李子ノ書二世ニ奏ス二世大ニ悅ヒタリ是ニ於テ督責ヲ行フコト益々嚴重ナリ人民ヨリ多
ク租稅ヲ取ルモノヲ稱シテ賢明ノ官吏ト爲ス二世曰ク此ノ如キハ則チ能ク督責スト謂
フヘシト刑罰ヲ蒙ルモノ道路ニ相半ハシテ殺サレタル人市中ニ相積メリ而シテ人ヲ殺
スコト尤モ衆キモノヲ名ケテ忠義ノ臣ト爲ス二世曰ク此ノ如キハ即チ能ク督責スト謂フ
ヘシト

初趙高爲郎中令所殺及報私怨衆多恐大臣入朝奏事毀惡
之乃說二世曰天子所以貴者但以聞聲群臣莫得見其面故

號曰朕。且陛下富於春秋。未必盡通諸事。今坐朝廷。譴舉有不當者。則見短於大臣。非所以示神明於天下也。

(朕) 疑フラクハ眺ト通ス朕ハ目童子ナリ故ニ其聲ノミヲ聞テ面ヲ見ルナキヲ以テ朕ト謂フナリ (富於春秋) 年齒ノ猶幼ナルヲ言フ (譴舉) 譴ハ人ヲ責ムルナリ舉ハ人ヲ舉クルナリ

最初趙高郎中ノ令ト爲リ其ノ殺ス所ノ人及ヒ私怨ヲ報ユルヲ甚ダ衆シ故ニ大臣ノ入朝シ事ヲ奏上シテ之ヲ誹毀譏惡センヲ恐ル仍テ二世ニ説テ曰ク天子ノ貴キ所以ノモノハ但其聲ヲ聞テ群臣其面ヲ見ルヲ得ルヲナキヲ以テナリ故ニ天子ハ號シテ朕ト曰フ且ツ陛下ハ春秋ニ富ムト雖厄未タ必ラスシモ盡ク朝廷ノ諸事ニ通曉セサルナリ今朝廷ノ上ニ坐シテ譴舉ノ當ラサル者アラハ反テ其短ナル所ヲ大臣ニ顯ハサン此レ陛下ノ神明ヲ天下ニ示ス所以ニ非サルナリ

且陛下深拱禁中。與臣及侍中習法者待事。事來有以揆之。如此。則大臣不敢奏疑事。天下稱聖主矣。二世用其計。乃不坐朝廷。見大臣居禁中。趙高常侍中用事。事皆決於趙高。

(拱) 腕ケミスルヲ言フ (禁中) 漢ノ制ニ天子居ル所ノ門閣ニ禁アリテ侍御ノ臣ニ非サ

レハ妄リニ入ルヲ得ス故ニ禁中ト稱スルナリ

且陛下深ク禁中ニ拱手シテ臣及ヒ他ノ侍中ノ法令ニ習熟スルモノト事ヲ待チ事來リテ共ニ之ヲ計ラハ則チ大臣ノ輩皆敢テ疑ハシキ事ヲ奏上セス天下ノ人皆聖主ト稱スヘシト二世其計ヲ用ヒテ仍テ朝廷ニ坐シテ大臣ヲ見ス唯禁中ニノミ居レリ趙高常ニ中ニ侍シテ事ヲ用ヒ朝廷ノ事皆趙高ノ手ニテ決斷シタリ

高聞李斯以爲言。乃見丞相曰。關東群盜多。今上急發繇治阿房宮。聚狗馬無用之物。臣欲諫。爲位賤。此真君侯之事。君何不諫。李斯曰。固也。吾欲言之久矣。今時上不坐朝廷。上居深宮。吾有所言者。不可傳也。欲見無間。趙高謂曰。君誠能諫。請爲君候上間語君。

(繇) 後ト古字相通ス徭役ナリアヤクヲ言フ

趙高李斯カ已レノ二世ヲシテ朝廷ニ坐セサラシムルヲ非議スト聞テ仍テ丞相ヲ見テ曰ク關東ニ群盜甚タ多シ當今上急ニ徭役ヲ發シテ阿房宮ヲ營作シ狗馬ノ如キ無用ノ物ヲ取集メタリ臣之ヲ諫メント欲スト雖厄位固ヨリ賤シキカ爲メニ諫ムヘカラス此レ眞ニ君侯ノ諫ムヘキ事ナリ君何ソ之ヲ諫メサルヤ李斯曰ク固ヨリ然リ吾之ヲ諫メント欲ス

ルコ久シ近頃上朝廷ニ坐セスシテ深宮ノ中ニ居レリ吾諫メント欲スル所アルモ傳フヘ
カラス見ヘシト欲スレモ間隙ナシ趙高曰ク君誠ニ能ク之ヲ諫メハ我レ請フ君ノ爲メニ
上ノ間隙ヲ伺フテ君ニ告ケント、

於是趙高待二世方燕樂婦女居前使人告丞相上方間可奏
事丞相至宮門上謁如此者三二世怒曰吾常多間日丞相不
來吾方燕私丞相來請事丞相豈少我哉且固我哉

(燕樂)燕ハ醜ト通ス宴ト同シ酒宴ヲ設クルナリ下ノ燕私モ亦同シ (上謁)謁ハ名紙ナ
リ名紙ヲ出シテ見ユルヲ求ムルナリ (少我哉)我ヲ輕ンシテ幼少ト爲スヲ謂フナリ

(固我哉)我ヲ輕ンシテ固陋ト爲スヲ謂フナリ

是ニ於テ趙高二世カ方サニ宴樂シテ婦女子ノ御前ニ居テ戯ル時ヲ待チテ人ヲシテ丞相
ニ告ケシメテ曰ク今日上方サニ間隙ナリ君宜シク事ヲ奏上スヘシト丞相仍テ宮門ニ至
リテ上謁セリ此ノ如クスル者スベテ三度ニ及ヒタリ二世大ニ怒リテ曰ク吾常ニ間隙ノ
日多キ時ハ丞相來ラス吾方サニ宴ヲ開キテ樂ム時ハ丞相來テ事ヲ請フ丞相豈ニ我ヲ少
トスルヤ且ツ我ヲ固トスルヤト、

趙高因曰如此殆矣夫沙丘之謀丞相與焉今陛下立爲帝而

丞相貴不益此其意亦望裂地而王矣且陛下不問臣臣不敢
言丞相長男李由爲三川守楚盜陳勝等皆丞相傍縣之子以
故楚盜公行過三川城守不肯擊高聞其文書相往來未得其
審故未敢以聞且丞相居外權重於陛下

趙高因テ謂テ曰ク此ノ如クナレハ危フシ夫レ沙丘ノ謀丞相與カリ加ハレリ今陛下既ニ
立チテ帝ト爲リテ丞相ノ貴キ依然トシテ益サス此レ丞相ノ意モ亦地ヲ裂キテ王タルヲ
望ムナラン且ツ陛下臣ニ問ハサルヲ以テ臣敢テ之ヲ言ハサレモ丞相ノ長男李由トイヘ
ルモノ三川ノ守ト爲リ楚ノ盜陳勝等皆丞相ノ傍近ノ縣下ノ子ナリ故チ以テ楚ノ盜公行
シテ三川ヲ過クルモ李由城守シテ肯テ之ヲ擊タス高其文書ノ相往來スルヲ聞クト雖モ
未タ其審カナルヲ得サルヲ以テノ故ニ未タ敢テ以聞セス且ツ丞相外ニ居リテ其權實ニ
陛下ヨリ重シト、

二世以爲然欲案丞相恐其不審乃使人案驗三川守與盜通
狀李斯聞之是時二世在甘泉方作穀抵優俳之觀

(案驗)考ヘシラブルナリ

(穀抵)即チ角抵ナリ角ハ材チ角スルナリ抵ハ相抵觸スルナ

リ兩々相當リテカチ角シ伎藝射御チ角スルカ故ニ角抵ト曰フナリ (優俳) 優俳優
ノ雜劇ナリ我カ邦ノ芝居ノ如キ者ナリ
二世趙高ノ言チ然リト爲シ丞相チ案問セント欲ス然レモ其審ナラサルチ恐ル仍テ人チ
シテ三川ノ守李由カ楚ノ盜ト相通スルノ狀チ案驗セシム李斯此ノ事チ聞ケリ此ノ時二
世甘泉宮ニ在リテ方サニ穀抵優俳ノ觀チ爲セリ

李斯不得見。因上書言趙高之短。曰。臣聞之。臣疑其君。無不危
國。妾疑其夫。無不危家。今有大臣於陛下。擅利擅害。與陛下無
異。此甚不便。昔者司城子罕相宋。身行刑罰。以威行之。昔年遂
劫其君。田常爲簡公。臣爵列無敵於國。私家之富。與公家均。布
惠施德。下得百姓。上得群臣。陰取齊國。殺宰予於庭。卽殺簡公
於朝。遂有齊國。此天下所明知也。

(臣疑其君) 疑フトハ勢相近ク均シク敵スルチ言フ (陰取齊國) 私惠チ民ニ布キ陰
カニ其心チ得テ國權チ竊ムチ謂フ
李斯見ユルヲ得ス因テ上書シテ趙高ノ短所チ申シテ曰ク臣之チ聞ケリ臣其君チ疑ヘ

ハ其國チ危フセサルコトナシ妾其夫チ疑ヘハ其家チ危フセサルコトナシ今大臣ノ中ニ陛下
ニ對シテ利チ擅マ、ニシ害チ擅マニシテ其ノ勢陛下ト異ナルコトナキ者アリ此レ甚タ不
便ナリ昔シ司城子罕トイヘルモノ宋ノ國ニ相トシテ身刑罰チ行ヒ權威チ奮ヒテ之チ行
ヒシカ滿一ケ年ニシテ遂ニ其君チ劫カシタリ田常ハ齊ノ簡公ノ臣ト爲リテ其爵級列位
國中ニ敵スルモノナシ其私家ノ富ミハ公家ト均シク惠チ布キ德チ施シテ下ハ百姓ノ心
チ得、上ハ群臣ノ心チ得テ私カニ齊國チ取り宰予チ庭ニテ殺シ簡公チ朝ニテ殺シ遂ニ齊
ノ國チ有チタリ此レ天下ノ明カニ知ル所ナリ

今高有邪佚之志。危反之行。如子罕相宋也。私家之富。若田氏
之於齊。兼行田常子罕之逆道。而劫陛下之威信。其志若韓玘
爲韓安相也。陛下不圖。臣恐其爲變也。

(邪佚之志) ヨコシマニユガミタル志ナリ (危反之行) 謀反ニ近キノ行ナリ (劫陛
下之之威信) 陛下ノ權威チ以テ人チ劫カシテ其志チ伸フルチ言フ信ハ伸ト通ス
(韓玘爲韓安相) 韓玘ハ韓ノ大夫ニシテ其君悼公チ弑スル者ナリ案隱曰ク韓玘ハ韓ノ
大夫ニシテ其君悼公チ弑スル者ナリ然レモ韓ニ悼公トイヘル君ナシ或ハ鄭ノ嗣君ナラ
ン表チ案スルニ韓玘昭侯ニ事フ昭侯已下四代王安ニ至ルト其說非ナリ
今趙高カ邪佚ノ志ト危反ノ行ヒトアルハ恰モ司城子罕カ宋ニ相タル如キナリ私家ノ富

メルハ田常ノ齊ニ於ケルカ如シ田常ト子罕トノ逆道ヲ兼テ行フテ陛下ノ權威ヲ以テ人ヲ劫カシテ其志ヲ伸フルコト憐モ韓范カ韓安ノ相ト爲ルカ如キナリ陛下之ヲ謀ラサレハ臣恐ラクハ非常ノ事アラントナ

二世曰。何哉。夫高故宦人也。然不爲安肆志。不以危易心。潔行脩善。自使至此。以忠得進。以信守位。朕實賢之。而君疑之。何也。且朕少失先人。無所識知。不習治民。而君又老。恐與天下絕矣。朕非屬趙君。當誰任哉。且趙君爲人精廉彊力。下知人情。上能適朕。君其勿疑。

(精廉彊力)精ハ清ト通ス清廉トハ其心ノ極メテ潔白ナルヲ謂フ彊力ハ事ニ勉強スルナリ
二世曰ク彼ノ趙高ハ故ト宦者ナリ然レモ身ノ安キカ爲メニ其志ヲ肆マ、ニセシコアラス身ノ危フキカ爲メニ其心ヲ易ユルコトアラス行ヲ潔フシ善ヲ脩メテ自カラ今ノ職位ニ至ラシム趙高忠義ヲ以テ進ムヲ得テ信義ヲ以テ位ヲ守ル朕實ニ之ヲ賢トセリ而ルニ君之ヲ疑フハ何ソヤ且ツ朕少フシテ先人ヲ失ヒテ相知ル所ノモノナク人民ヲ治ムルコトニ

李斯曰。不然。夫高故賤人也。無識於理。貪欲無厭。求利不止。列勢次主。求欲無窮。臣故曰。殆二世已前信趙高。恐李斯殺之。乃私告趙高。高曰。丞相所患者獨高。高已死。丞相即欲爲田常所爲。於是二世曰。其以李斯屬郎中令趙高案治李斯。

(屬郎中令)屬ハ委子マカスナリ郎中令ハ即チ趙高ナリ (案治)シラベタマスナリ
李斯曰ク然ラス彼ノ趙高ハ故ト賤人ナリ物ノ道理ヲ知ルナク慾心深クシテ厭クコトナク利ヲ求メテ止ムコトナシ勢ヲ盛ンニシテ人主ニ次キ欲ヲ求メテ窮極スルコトナシ臣故ニ曰ク危フシト二世既ニ先キニ趙高ヲ信用セルカ故ニ李斯カ之ヲ殺サンコトヲ恐レテ仍テ私カニ此事ヲ以テ趙高ニ告ケタリ趙高曰ク丞相カ患フル所ノモノハ獨リ高ノミ高既ニ死セハ丞相即チ自カラ田常ノ爲ス所ヲ爲サンコト欲スルナリト是ニ於テ二世曰ク其レ李斯ヲ以テ郎中ノ令ニ手渡セト趙高乃チ李斯ヲ執ヘテ其罪ヲ案治シタリ

李斯拘執束縛居囹圄中仰天而歎曰。嗟乎悲夫。不道之君。何

可爲計哉。昔者桀殺關龍逢。紂殺王子比干。吳王夫差殺伍子胥。此三臣者。豈不忠哉。然而不免於死。身死而所忠者非也。

(拘執)トヲヘトヲフルナリ (東縛)ツカチシメルナリ (圍圍)獄舎ナリ

李斯拘執東縛セラレテ獄舎ノ中ニ居リ天ヲ仰キテ歎シテ曰クア、悲ヒカナ不道ノ君ハ何ソ計ヲ爲スヘケンヤ昔シ夏ノ桀王ハ關龍逢トイヘル忠臣ヲ殺シ殷ノ紂王ハ王子比干トイヘル忠臣ヲ殺シ吳王夫差ハ忠臣伍子胥ヲ殺シタリ此ノ三人ノ臣ハ豈ニ其君ニ對シテ不忠ナランヤ然リ而シテ皆其死ヲ免カレス其身死シテ而シテ已レカ忠ヲ盡ス所其盡スヘキノ人ニ非サルナリ、

今吾智不及三子。而二世之無道。過桀紂夫差。吾以忠死。宜矣。且二世之治。豈不亂哉。日者夷其兄弟而自立也。殺忠臣而貴賤人。作爲阿房之宮。賦歛天下。吾非不諫也。而不吾聽也。

(日者)サキニト訓ス往日ナリ (夷)平ラケ滅スナリ

今吾カ智ハ前ノ三人(關龍逢王子比干伍子胥)ニ及ハスシテ二世ノ無道ハ桀王ト紂王ト夫差トヨリ過キタリ吾忠ヲ盡シテ殺サル、一宜ヘナリ且ツ二世ノ天下ヲ治ムルハ豈ニ亂レサランヤ、サキニ其兄弟ヲ平ラケテ自立スルヤ忠臣ヲ殺シテ賤シキ人ヲ貴ヒ(賤人ハ趙

高チ謂フ)阿房宮ヲ建築シテ天下ノ租稅ヲ重フセリ吾之ヲ諫メサルニ非サレハ彼吾カ諫メヲ聽キ納レサルナリ、

凡古聖王飲食有節。車器有數。宮室有度。出令造事。加費而無益於民利者。禁。故能長久治安。今行逆於昆弟。不顧其咎。侵殺忠臣。不思其殃。大爲宮室。厚賦天下。不愛其費。三者已行。天下不聽。今反者已有天下之半矣。而心尙未寤也。而以趙高爲佐。吾必見寇至咸陽。麋鹿游於朝也。

(節)數(度)皆其ホドキマリノアルチ言フ (寤)覺ルナリ氣ノ附クナリ (麋)鹿ノ大ナル者ナリ和名クヅカト云フ

凡ソ古ヘノ聖王ハ飲食ニ節アリ車器ニ數アリ宮室ニ度アリ令ヲ出シ事ヲ爲スニ費用ヲ加ヘ増シテ人民ニ利益ナキモノハ之ヲ禁ス故ニ其國家能ク長久治安ナリ今逆道ヲ兄弟ニ行フテ其咎メノ及フヲ顧ミス忠臣ヲ殺シテ其殃ノ至ルヲ思ハス大ニ宮室ヲ作リ厚ク天下ノ賦稅ヲ收メテ其費用ヲ惜マス此ノ三ツノ者既ニ行ハレテ天下ノ人ノ之ヲ聞キ用ヒス今日謀反セル者其勢益々盛ニシテ既ニ天下ノ半ハナチ有チタレハ其心尙未タ悟ラス而シテ趙高ノ如キ佞人ヲ以テ輔佐ト爲セリ吾必ラス寇ノ咸陽ニ攻メ至リテ秦ノ都

一朝ニシテ滅ヒ樂鹿ノ朝廷ニ游フニ至ルヲ見ント、

於是二世乃使高案丞相獄治罪責斯與子由謀反狀皆收捕宗族賓客趙高治斯榜掠千餘不勝痛自誣服斯所以不死者自負其辯有功實無反心幸得上書自陳幸二世之寤而赦之

(收捕)トヲヘトラフルナリ (宗族)親類一族ナリ (榜掠)杖ヲ以テ之ヲ撃ツナリ (誣服)罪ナクシテ罪ヲ加フルヲ誣ト曰フ李斯自ラ誣フルニ謀反ヲ以テシテ其罪ニ服シタルヲ言フ

此時ニ當リテ二世趙高ヲシテ丞相ノ獄ヲ案シテ其罪ヲ治セシメ李スカ子ノ李由ト謀反スルノ狀ヲ責メテ其宗族及ヒ賓客等皆之ヲ捕ヘタリ趙高李斯ノ罪ヲ糾シ杖ヲ以テ之ヲ撃ツ千餘ナリ李斯其痛ミニ堪ヘスシテ自カラ誣フルニ謀反ヲ以テシテ其罪ニ服シタリ李スカ自カラ殺サレントスル所以ノモノハ自カラ其能辯ニシテ大功アリ且ツ謀反スルノ心ナキヲ責メリ故ニ幸ニ上書シテ自カラ陳述セハ或ハ二世カ悟リテ之ヲ赦スニ至ルヲ子カヒタリ

李斯乃從獄中上書曰臣爲丞相治民三十餘年矣逮秦地之陝隘先王之時秦地不過千里兵數十萬臣盡薄材謹奉法令

陰行謀臣資之金玉使游說諸侯陰脩甲兵飾政教官鬪士尊功臣盛其爵祿故終以骨韓弱魏破燕趙夷齊楚卒兼六國虜其王立秦爲天子罪一矣

(陝隘)セバクセバキナリ (飾)トノフルナリ

李斯仍テ獄中ヨリ上書シテ曰ク臣丞相ト爲リテ人民ヲ治ムルコト既ニ三十餘年ノ久シキ間ナリ臣カ身秦ニ入リシ時ハ秦ノ地ハ尙狹隘ナリ先王ノ時マテハ秦ノ地ハ四方千里ニ過キス兵ハ數十万ニ過キサリ臣淺薄ノ材能ヲ盡シ謹ミテ法律條令ヲ奉ケテ陰カニ謀臣ヲ遣リ之レニ金玉ヲ資給シテ諸侯ニ遊說セシメ又陰カニ甲兵ヲ脩メテ政教ヲ戒飾シ戰鬪ノ士ヲ官ニ任シ功績ノ臣ヲ尊ヒテ其爵祿ヲ重フセリ故ニ終ニ韓ヲ脅カシ魏ヲ弱ハメ燕趙二國ヲ打破リ齊楚二國ヲ平ラケテ終ニ六國ヲ兼子并セ六國ノ王ヲ虜ニシテ秦ヲ立テ天子ト爲シタリ是レ臣ノ罪一ツナリ

地非不廣又北逐胡貉南定百越以見秦之彊罪二矣尊大臣盛其爵位以固其親罪三矣立社稷脩宗廟以明主之賢罪四矣更剋畫平斗斛度量文章布之天下以樹秦之名罪五矣

(胡貉)北夷ノ種ナリ (百越)越ハ粵ト通ス百粵ハ南夷ノ種ナリ (更)尅畫器物ノ制度儀飾ヲ謂フ (斗斛度量)十升ヲ斗ト曰ヒ十斗ヲ斛ト曰フ度ハ分寸丈尺引ナリ量ハ豆區斗斛ナリ (文章)即チ制度儀飾ノ既ニ成レル者ナリ

秦ノ地既ニ廣大ナラサルニ非ス又且ツ北ノ方胡貉ヲ逐ヒ拂ヒ南ノ方百越ヲ打定メテ秦ノ強盛ナルヲ顯ハセリ是レ臣ノ罪ニツナリ秦ノ大臣ヲ尊ヒ其爵祿ヲ盛ンニシテ其親睦ヲ堅固ニセル是レ臣ノ罪三ツナリ社稷ヲ立テ宗廟ヲ築キテ主ノ賢智ナルヲ明カニセル是レ臣ノ罪四ツナリ刻畫ヲ改メ斗斛度量ヲ平ラカニシ文章ヲ天下ニ布キテ秦ノ名聲ヲ立ツル是レ臣ノ罪五ツナリ

治馳道興游觀以見主之得意罪六矣。緩刑罰薄賦歛以遂主得衆之心萬民戴主死而不忘罪七矣。若斯之爲臣者罪足以死固久矣。上幸盡其能力乃得至今願陛下察之。

(馳道)直馳道ナリ前ニ見ヘタリ (游觀)游樂ノ臺觀ナリ

馳道ヲ築キ游觀ヲ興シテ主ノ得意ナルヲ顯ハセル是レ臣ノ罪六ツナリ刑罰ヲ緩フシ賦歛ヲ薄フシテ主カ衆民ノ心ヲ得ルヲ遂ケ萬民ヲシテ主ヲ推戴シ死シテ忘レサラシムル是レ臣ノ罪七ツナリ斯ノ人臣タル其罪固ヨリ死スルニ足ルコト久シ上幸ニ臣ヲシテ其能力ヲ盡クシテ今日ニ至ルヲ得セシメタリ願クハ陛下之ヲ察セヨト

書上趙高使吏棄去不奏。曰囚安得上書。趙高使其客十餘輩詐爲御史謁者侍中更往覆訊斯。斯更以其實對。輒使人復榜之。後二世使人驗斯。斯以爲如前終不敢更言。辭服。

(奏進)ムルナリ (覆訊)覆ハ審ラカナリ訊ハ問フナリヨク (吟味)スルコトナリ (榜)答

擊ナリ (辭服)獄訟ニ對シテ更ニ言フヘキナクシテ其罪ニ服スルヲ言フ 李斯ノ書上ツレリ趙高官吏ヲシテ其上書ヲ棄テ去リテ奏上セサラシム曰ク囚徒ハ安クシテ上書スルヲ得ント趙高其客十餘輩ヲシテ詐リテ或ハ御史或ハ謁者或ハ侍中ト爲リテカハル往テ李斯ヲ覆訊セシム李斯更ニ其實ヲ以テ對フレハ輒チ人ヲシテ復タ之ヲ答撃セシム其後チ二世人ヲシテ李斯ヲ驗問セシム李斯以テ前ニ上書セシ所ノ如シト爲シテ敢テ更ニ言ハス終ニ獄訟ニ對シテ其罪ニ服シタリ

奏當上。二世喜曰。微趙君。幾爲丞相所賣。及二世所使案三川之守至。則項梁已擊殺之。使者來。會丞相下吏。趙高皆妄爲反辭。

(奏當)獄具リテ當サニ某レノ罪ニ處スヘキヲ奏スルナリ (賣)欺クナリ (反辭)謀反セル

ノ辭ヲ爲クリ述フルヲ言フ

李斯ノ獄既ニ具ハリテ當サニ某罪ニ處分スヘキヲ奏上セリ二世大ニ喜ヒテ曰ク趙君ナカリセハ殆ント丞相ノ欺ク所ト爲ラント二世カ三川ノ守ヲ案驗セシムル所ノ使者三川ニ至レル頃ハ項梁既ニ三川ノ守李由ヲ撃チ殺シタリ使者仍テ空シク歸リタルカタママ丞相既ニ吏ノ手ニ下レリ趙高因リテ皆妄リニ李由カ謀反セルノ辭ヲ爲リ述ヘタリ、

二世二年七月具斯五刑論腰斬咸陽市斯出獄與其中子俱執顧謂其中子曰吾欲與若復牽黃犬俱出上蔡東門逐狡兔豈可得乎遂父子相哭而夷三族

(五刑)墨劓剕宮大辟ノ五刑ヲ歷受スルナリ墨ハ其額ヲ割テ之ニ涅スルナリ劓ハ鼻ヲ截ルナリ剕ハ足ヲ則ルナリ宮ハ男子其勢ヲ割キ去ルナリ大辟ハ死罪ナリ (腰斬)腰ヨリ二ツ切リニスルナリ古ヘハ罪ノ重キハ腰斬シ罪ノ輕キハ頸刑ニ處シタリ (上蔡)李斯卡鄉里ナリ (狡兔)狡ハ疾ナリ健ナリハシヨキ兔ヲ言フ

二世ノ二年七月ニ李斯ニ五刑ヲ取備ヘテ罪ヲ論シ咸陽ノ市中ニテ腰斬シタリ李斯獄チ出テト其中子ト俱ニ執ハレニ就ク顧ミテ其中子ニ謂テ曰ク吾汝ト復タ黃犬ヲ牽キ俱ニ上蔡ノ東門チ出テト狡兔ヲ逐ハント欲ストモ豈ニ得ヘケンヤト上蔡ハ李斯卡鄉里ナリ此レ其布衣ノ時ヲ懷フナリ遂ニ父子相哭泣シテ三族ヲ誅滅セラレタリ

李斯已死二世拜趙高爲中丞相事無大小輒決於高高自知權重乃獻鹿謂之馬二世問左右此乃鹿也左右皆曰馬也二世驚自以爲惑乃召太卜令卦之

(中丞相)中ハ宦者ナリ趙高宦者ヲ以テ丞相ト爲ルカ故ニ中丞相ト曰フナリ (令卦之)卦ハ筮ナリ其吉凶ヲウラナハシムルヲ言フ

李斯既ニ死ス二世趙高ヲ拜命シテ中丞相ト爲セリ朝廷ノ事ハ大小トナク皆趙高ノ手ニ決斷セリ趙高自カラ權勢ノ重キヲ知リ仍テ鹿ヲ献上シテ之ヲ馬ト謂ヒタリ趙高驗チ設ケルノ術古今ノ談柄ナリ人主ヲ愚弄スル之ヲ極ト爲ス二世左右ノ人ニ問フテ曰ク此レ乃チ鹿ナリ左右ノ人皆曰ク此レ馬ナリト以テ趙高ニ阿順セリ二世大ニ驚キテ自カラ以テ惑フト爲シ仍テ太卜ノ官チ召ヒ寄セテ之レカ吉凶ヲトセシメタリ

太卜曰陛下春秋郊祀奉宗廟鬼神齋戒不明故至於此可依盛德而明齋戒於是乃入上林齋戒日游弋獵

(郊祀)郊ハ祭ノ名ナリ冬至ニ天ヲ南郊ニ祀リ夏至ニ地ヲ北郊ニ祀ル故ニ天地ヲ祀ルチ謂テ郊ト爲スナリ (齋戒)心ヲ清メ身ヲ潔クシテ汚穢ニ違サカルナリ解ハ既ニ前ニ詳

ヲカナリ (弋獵)ハ生絲ヲ以テ矢ニ繫ケテ射ルナリ獵ハ田獵トテ禽獸ヲ捕フルナリ
太卜曰ク陛下毎歲春秋ニ天ヲ南郊ニ祀リ及ヒ宗廟鬼神ニ奉ケ祭ルニ其齋戒スルヲ甚ク
不明ナリ故ニ心志錯亂シテ馬ヲ以テ鹿ト爲スニ至レルナリ陛下宜シク盛徳ニ依リテ齋
戒ヲ明カニスヘシト是ニ於テ二世上林苑ニ入りテ齋戒シ日ニ遊ヒテ弋獵シタリ

有行人入上林中二世自射殺之趙高教其女婿咸陽令閻樂
効不知何人賊殺人移上林

(行人)使シテ四方ニ往クヲ主ルノ官ナリ (女婿)婿ハ女ノ夫ナリ (効)罪人ヲ推窮ス
ルナリ

此時行人アリテタマ〜上林苑ノ中ニ入レリ二世自カラ射テ之ヲ殺シタリ趙高其女ノ
婿ニシテ咸陽ノ令タル閻樂トイヘル人ニ教ヘテ何人ナルヲ知ラザレハ人ヲ賊殺シテ上
林苑ノ中ニ移シ置クモノアリト効奏セシム

高乃諫二世曰天子無故賊殺不辜人此上帝之禁也鬼神不
享天且降殃當遠避宮以禳之二世乃出居望夷之宮

(不辜)辜ハ罪ナリ
趙高仍テ二世ヲ諫メテ曰ク天子タルモノ何ノ故モナクシテ妄リニ無罪ノ人ヲ賊殺スル

此レ天帝ノ禁制ナリ此ノ如キハ鬼神其祭リヲ享ケス天且サニ災殃ヲ降サントス當サニ
遠ク宮ヲ避ケテ之ヲ禳ヒ除クヘシト二世仍テ出テ望夷ノ宮中ニ遷リテ居レリ

留三日趙高詐詔衛士令士皆素服持兵內郷入告二世曰山
東群盜兵大至二世上觀而見之恐懼

二世既ニ望夷宮ニ留マルヲ三日ノ間ナリ趙高詐リテ宿衛ノ士ニ詔ヲ出シ士ヲシテ皆白
衣ヲ着シ兵器ヲ持シテ内殿ニ嚮ハシメ自カラ入テ二世ニ告ケテ曰ク山東ノ群盜ノ兵大
ニ攻メ至レリト二世臺觀ノ上ニ登リテ之ヲ見テ大ニ恐懼シタリ

高即因劫令自殺引璽而佩之左右百官莫從上殿殿欲壞者
三高自知天弗與群臣弗許乃召始皇弟授之璽

趙高因テ二世ヲ劫カシテ自殺セシメ符璽ヲ引テ自カラ之ヲ佩ヒ其位ニ代ラント欲ス左
右ノ人及ヒ百官之ニ從フモノナシ趙高殿上ニ登ラントス殿之レカ爲メニ破壞セント欲
スルモノ三度ニ及ヘリ趙高自カラ天之ヲ與ヘス群臣之ヲ許サ、ルヲ知リテ仍テ始皇ノ
弟子嬰トイヘルヲ召ヒテ之ニ璽ヲ授ケタリ

子嬰即位患之乃稱疾不聽事與宦者韓談及其子謀殺高高

上謁請病。因召入令韓談刺殺之。夷其三族。子嬰立三月。沛公兵從武關入。至咸陽。群臣百官皆畔。不適。子嬰與妻子自係其頸以組。降軹道旁。沛公因以屬吏。項王至而斬之。遂以亾天下。

(請病)病ヲ問フヲ謂フ (不適)適ハ敵ト通ス (係其頸以組)組ハ殺ヲ謂フナリ置ナ

帶フル所以ナリ頸ニ繫クルハ自經セント欲スルヲ示スナリ

子嬰位ニ即キテ之ヲ患フ仍テ疾ト稱シテ事ヲ聽キサバカス(子嬰其子二人ト謀リテ曰ク趙高二世ヲ殺ス群臣ノ已レヲ殺サンコトヲ恐レテ詐リテ我ヲ立テリ此レ我ヲ殺サント欲スルナリ我病ト稱シテ行カスト)宦者ノ韓談トイヘルモノ及ヒ其子ト俱ニ趙高ヲ殺サンコトヲ謀ル趙高謁チ上ツリテ病ヲ問ヘリ子嬰因テ召シ入レテ韓談ヲシテ趙高ヲ刺シ殺サシメ其三族ヲ誅滅シタリ子嬰立テテ三月ノ後チ沛公ノ兵武關ヨリ攻メ入リテ咸陽ニ攻メ至レリ秦ノ群臣百官皆秦ニ背キテ沛公ニ敵スルモノナシ子嬰妻子ト自カラ其頸ニ繫クルニ組ヲ以テシテ軹道亭ノ傍ラニテ降服シタリ沛公因リテ子嬰ヲ以テ吏ニ屬ス項王秦ニ至リテ子嬰ヲ斬リ秦遂ニ天下チ取失ヒタリ

太史公曰。李斯以閭閻歷諸侯入事秦。因以瑕釁以輔始皇。卒成帝業。斯爲三公。可謂尊用矣。斯知六藝之歸。不務明政以補

主上之缺。持爵祿之重。阿順苟合。嚴威酷刑。聽高邪說。廢適立庶。諸侯已畔。斯乃欲諫爭。不亦末乎。人皆以斯極忠而被五刑。死。察其本。乃與俗議之異。不然。斯之功。且與周召列矣。

(閭閻)閭モ閭モ共ニ里中ノ門ナリ郷里ノ賤人ナルヲ言フ (瑕釁)キズスキナリ其隙ノ

アル所ニ附ケ入ルヲ言フ (三公)太師太保太傅ナリ (六藝)六經ナリ詩書禮樂易春秋

ヲ言フ (阿順苟合)阿順ハ主上ノ意ニオモネリシタガフナリ苟合ハ苟クモ主上ノ意

ニ合センコトヲ欲スルナリ (嚴威酷刑)嚴威ハ嚴重ナル威光ナリ酷刑ハ手ヒドキ刑罰

ナリ (不亦末乎)其既ニ時ニ後レタルヲ言フ

李斯ハ上蔡閭閻ノ布衣ヲ以テ諸侯ノ國ヲ經歷シ入テ秦ノ始皇帝ニ事ヘタリ因テ始皇帝ニ説クニ諸侯ノ瑕釁アルニ因テ遂ニ之ヲ忍フヲ以テノ終ニ帝業ヲ成就シ己レ登用セラレテ三公ト爲レリ是レ甚々尊ヒ用ヒラルト謂フヘシ李斯又能ク六經ノ歸旨ヲ知リタルニ政ヲ明ラカニシテ主上ノ缺ヲ補フヲ務メス唯爵祿ノ重キヲ貴ヒ阿諛順從シテ苟クモ主上ノ意ニ合センコトヲ務メ嚴威ヲ示シ酷刑ヲ施シタリ又趙高ノ邪説ヲ聽キ納レ嫡子ノ扶蘇ヲ廢シテ庶子ノ胡亥ヲ立テリ諸侯既ニ背キテ後チニ乃チ二世ヲ諫争セント欲ス亦末ナラスヤ世人ハ皆思フ李斯ハ忠義ヲ朝廷ニ盡シテ五刑ヲ被フリテ殺サレタリト然レモツラノ其本ヲ察スルニ俗論ト異ニシテ全ク其君ヲ輔佐スルコト能ハサリシナリ否

ラサレハ則チ李斯秦ヲ帝トスルノ功業ハ古ヘノ周公召公ト相列スト言フト雖モ可ナリ、

蒙恬列傳第二十八

蒙恬者其先齊人也恬大父蒙騫自齊事秦昭王官至上卿秦莊襄王元年蒙騫爲秦將伐韓取城皐榮陽作置三川郡二年蒙騫攻趙取三十七城始皇三年蒙騫攻韓取十三城五年蒙騫攻魏取二十城作置東郡

(大父)祖父ナリ

蒙恬ハ其先祖ハ齊ノ人ナリ蒙恬ノ祖父ノ蒙騫トイヘルモノハ齊ヨリ秦ニ往テ秦ノ昭王ニ事ヘ登用セラレテ上卿ノ官ニ至リタリ秦ノ莊襄王ノ元年蒙騫秦ノ將ト爲リ韓ヲ伐チテ城皐榮陽ヲ取リ三川郡ヲ作り置ケリ二年蒙騫趙ヲ攻メテ三十七城ヲ取レリ始皇ノ三年蒙騫韓ヲ攻メテ十三城ヲ取レリ五年蒙騫魏ヲ攻メテ二十城ヲ取リテ東部ヲ作り置キタリ、

始皇七年蒙騫卒騫子曰武武子曰恬恬嘗書獄典文學始皇二十三年蒙武爲秦裨將軍與王翦攻楚大破之殺項燕二十

四年蒙武攻楚虜楚王

始皇ノ七年蒙騫卒ス蒙騫ノ子チ蒙武ト曰ヒ蒙武ノ子チ蒙恬ト曰ヒタリ蒙恬嘗テ獄法ヲ學ヒテ遂ニ獄官ノ文學ヲ主トレリ始皇ノ二十三年蒙武秦ノ裨將軍ト爲リ王翦ト俱ニ楚ヲ攻メテ大ニ之ヲ打破リ楚ノ將項燕ヲ殺シタリ二十四年蒙武又楚ヲ攻メテ楚王ヲ虜ニシタリ、

蒙恬弟毅始皇二十六年蒙恬因家世得爲秦將攻齊大破之拜爲內史

蒙恬ノ弟ハ蒙毅ト云フ始皇ノ二十六年蒙恬カ家ハ世々秦ノ將タルヲ以テ又任セラレテ秦ノ將ト爲ルヲ得テ齊ヲ攻メテ大ニ之ヲ打破リタリ秦仍テ蒙恬ヲ拜命シテ內史ノ官ト爲シタリ、

秦已并天下乃使蒙恬將三十萬衆北逐戎狄收河南築長城因地形用險制塞起臨洮至遼東延袤萬餘里於是渡河據陽山透蛇而北暴師於外十餘年居上郡

(制塞)塞ハ邊界ナリ邊界ニ垣壘ヲ築キテ鄰國ノ往來ヲ遮キリ止ムルヲ謂フ (延袤)延

ハ長サナリ南北ヲ表ト曰フ (透蛇)マカリク子ル貌ナリ
秦既ニ天下ヲ并吞シ仍テ蒙恬ヲシテ三十万ノ大衆ニ將トシテ北ノ方戎狄ヲ逐ヒ拂ヒ河
南ヲ取り收メシム又万里ノ長城ヲ築キ地形ニ因リ險阻ナル所ヲ以テ邊塞ヲ制馭セリ臨
洮トイヘル所ヨリ起リテ遼東ニ至レリ其延袤一万餘里ナリ(秦長城ヲ築ク時徭役ノ多キ
歲月ノ久シキ人民殆ント半ハ其下ニ死シタリト云フ)是ニ於テ河水ヲ渡リテ陽山ニ據リ
透蛇トシテ曲リク子リテ北ニ向ヘリ師旅ヲ外ニ暴ラス七十餘年ノ間ニシテ上郡トイヘ
ル所ニ居レリ、

是時蒙恬威振匈奴。始皇甚尊寵蒙氏。信任賢之。而親近蒙毅。
位至上卿。出則參乘。入則御前。恬任外事。而毅常爲內謀。名爲
忠臣。故雖諸將相莫敢與之爭焉。

(參乘)ソヘ乘リナリ (御前)天子ノ前ニ侍坐スルヲ言フ (外事)兵ヲ主トリテ戰爭ス
ルヲ言フ (內謀)法令制度ノ謀ヲ爲スヲ言フ
是時ニ當リテ蒙恬ノ威匈奴ニ振ヒタリ始皇甚々蒙氏ヲ尊敬寵愛シ信任シテ之ヲ賢ナリ
トシタリ而シテ蒙毅ヲ親ミ近ケテ其位ハ上卿ニ至レリ外ニ出ルルハ驂乗ト爲リ内ニ入
レハ前ニ侍坐ス蒙恬ハ外事ニ任シテ蒙毅ハ常ニ內謀ヲ爲シ名ツケテ忠信ト爲シタリ故
ニ諸將相ト雖モ敢テ蒙氏ト爭フコトナシ、

趙高者。諸趙疏遠屬也。趙高昆弟數人。皆生隱宮。其母被刑。僇
世々卑賤。秦王聞高彊力。通於獄法。舉以爲中車府令。高即私
事公子胡亥。喻之決獄。高有大罪。秦王令蒙毅法治之。毅不敢
阿法。當高罪死。除其官籍。帝以高之敦於事也。赦之。復其官爵。

(皆生隱宮)官刑ノ者ハ一百日ノ間陰室ニ隱シテ之ヲ養フカ故ニ隱宮ト曰フナリ劉氏
云ク蓋シ其父官刑ヲ犯ス妻子没シテ奴婢ト爲ル妻後ヲ野合シテ生ム所ノ子皆趙姓ヲ承
ク並ヒニ之ヲ官トセリ故ニ兄弟隱宮ニ生ルト云フ (決獄)サバキノ法ナリ (敦)厚キ
ナリ

趙高ハ諸趙ノ疏遠ノ一族ナリ趙高ノ兄弟數人皆隱宮ノ中ニ生レタリ其母ハ刑僇セラレ
世々卑賤ナリ秦王趙高カ事ニ勉強シテ獄法ニ通スル由ヲ聞キ仍テ推舉シテ中車府ノ令
ト爲シタリ趙高私カニ公子胡亥ニ事ヘテ之ニ決獄ノ法ヲ喻セリ趙高嘗テ大罪アリ秦王
蒙毅ヲシテ國法ヲ以テ趙高ノ罪ヲ糾サシム蒙毅敢テ法律ニ阿ネラス趙高ヲ死罪ニ當シ
テ其官者ノ籍ヲ取除キタリ而ルニ始皇趙高カ國家ノ事ニ厚キヲ以テ其罪ヲ赦シテ其官
爵ヲ復シタリ

始皇欲游天下。道九原。直抵甘泉。乃使蒙恬通道自九原。抵甘

泉。連山埋谷千八百里。道未就。始皇三十七年冬。行出游會稽。竝海上。北走琅邪。道病。使蒙毅還禱山川。未反。始皇至沙丘崩。秘之。群臣莫知。

（塹山堙谷）塹ハホリナリ山ヲ塹ストハ山ヲ堀リ割リテ平ラニスルヲ言フ堙ハフサギウヅムルナリ

始皇天下ヲ游行シテ九原ヨリ過キテ直チニ甘泉宮ニ至ラントス仍テ蒙恬ヲシテ道ヲ通シテ九原ヨリ甘泉ニ抵ラシム山ヲ堀リ谷ヲ堙ムルヲ千八百里ノ間ニシテ道路未タ成ラス始皇三十七年ノ冬出テ、會稽ニ遊ヒ海上ニ沿ヒテ北ノ方琅邪ニ向ヘリ而ルニ其途中ニテ病ニ罹リタリ仍テ蒙毅ヲシテ還リテ山川ノ神ニ禱ラシム蒙毅往テ未タ返ラサルニ始皇沙丘ニ至リテ崩セリ之ヲ秘セルヲ以テ群臣ノ内ニ之ヲ知ルモノナシ、

是時丞相李斯。少子胡亥。中車府令趙高常從。高雅得幸於胡亥。欲立之。又怨蒙毅法治之而不爲己也。因有賊心。乃與丞相李斯。少子胡亥。陰謀立胡亥爲太子。

此時ニ當リテ丞相李斯、少子胡亥、中車府令趙高、常ニ始皇ニ相從フ趙高素ヨリ胡亥ニ寵幸

セラレ、ヲ得タルヲ以テ胡亥ヲ立テント欲ス又蒙毅カ先キニ法律ヲ以テ己レノ罪ヲ正シテ己レノ爲メニセサルヲ怨ミタリ因テ竊カニ蒙毅ヲ賊害スルノ心アリ仍テ丞相李斯少子胡亥ト陰カニ相謀リテ胡亥ヲ立テ、太子ト爲シタリ

太子己立。遣使者以罪賜公子扶蘇蒙恬死。扶蘇已死。蒙恬疑而復請之。使者以蒙恬屬吏更置。胡亥以李斯舍人爲護軍使者。還報。胡亥已聞扶蘇死。即欲釋蒙恬。趙高恐蒙氏復貴而用事。怨之。

太子既ニ立チテ使者ヲ遣リ罪ヲ以テ公子扶蘇及ヒ蒙恬ニ死ヲ賜フ扶蘇既ニ死ス蒙恬心竊カニ疑フテ復々之ヲ請ヘリ使者蒙恬ヲ以テ吏ノ手ニ委ネテ改メテ他ノ將ヲ置ケリ胡亥李斯ノ舍人ヲ以テ護軍使者ト爲ス使者還リテ事ノ由ヲ報ス胡亥既ニ扶蘇カ自殺スト聞テ蒙恬ヲ釋サント欲ス趙高蒙氏カ復々貴ヒラレテ事ヲ用フルニ至ラハ事ノ己レヨリ起ルヲ怨ムヲ恐レタリ、

毅還至。趙高因爲胡亥忠計。欲以滅蒙氏。乃言曰。臣聞先帝欲舉賢立太子久矣。而毅諫曰不可。知賢而愈不立。則是不忠而

惑主也。以臣愚意不若誅之。胡亥聽而繫蒙毅於代。前已囚蒙恬於陽周。

(愈不立)愈ハ愈ト通ス論フルナリ

蒙毅先キニ山川ノ神ニ禱リシカ還リ來レリ趙高因テ胡亥ノ忠計ト爲シテ蒙氏ヲ打滅サント欲ス仍テ申シテ曰ク臣之ヲ聞ケリ先帝諸子中ノ賢者ヲ舉ケテ太子ト爲サント欲スルヲ久シ而ルニ蒙毅諫メテ曰ク不可ナリト若シ太子ノ賢ナルヲ知リテ久シキヲ論ヘテ之ヲ立テサレハ則チ是レ不思ニシテ主ヲ惑ハスナリ臣ノ愚意ヲ以テスルニ之ヲ誅スルニ如カスト胡亥之ヲ聽キ納レテ蒙毅ヲ代ノ獄ニ繫ケリ是ヨリ先キニ既ニ蒙恬ヲ陽周トイヘル所ノ獄ニ囚ヘタリ、

喪至咸陽已葬。太子立爲二世皇帝。而趙高親近。日夜毀惡蒙氏。求其罪過。舉劾之。子嬰進諫曰。臣聞故趙王遷殺其良臣李牧。而用顏聚。燕王喜陰用荊軻之謀。而倍秦之約。齊王建殺其故世忠臣。而用后勝之議。

(舉劾)罪ヲ舉ケテ之ヲ推窮スルナリ

(故世忠臣)世々齊ニ事フル所ノ忠義ノ臣ヲ謂フ

始皇ノ喪咸陽ニ至リテ既ニ葬レリ太子胡亥仍テ立チテ二世皇帝ノ位ニ即ク趙高親近セラレテ日夜蒙氏ヲ毀惡ス其罪過ヲ求メテ之ヲ舉劾セリ子嬰進ミテ諫メテ曰ク臣之ヲ聞ケリ故ノ趙王遷ハ其良臣李牧ヲ殺シテ顏聚ヲ用ヒタリ(李牧傳ヲ參考スヘシ)燕王喜ハ陰カニ荊軻ノ謀ヲ用ヒテ秦ノ約束ニ背キタリ(荊軻ノ傳ヲ參考スヘシ)齊王建ハ其故世ノ忠臣ヲ殺シテ后勝ノ議ヲ用ヒタリ(齊世家ヲ參考スヘシ)

此三君者。皆各以變古者。失其國。而殃及其身。今蒙氏秦之大臣謀士也。而主欲一旦棄去之。臣竊以爲不可。臣聞輕慮者。不可以治國。獨智者。不可以存君。誅殺忠臣。而立無節行之人。是內使群臣不相信。而外使鬪士之意離也。臣竊以爲不可。

此ノ三君ハ皆各々古キ忠臣ヲ變スルヲ以テ其國ヲ取失フテ殃其身ニ及ヒタリ今蒙氏ハ秦ノ大臣謀士ナリ而シテ主一旦ニ之ヲ棄テ去ラント欲ス臣竊カニ以テ不可ト爲ス臣之ヲ聞ケリ輕シク謀慮スルモノハ國ヲ治ムヘカラス自カラ賢智ナリトスルモノハ君ヲ存スヘカラス忠臣ヲ誅殺シテ操行ナキノ人ヲ立ツ是レ内ハ群臣ヲシテ相信セサラシメ外ハ戰士ノ意ヲシテ乖離セシムルナリ臣竊カニ以テ爲ラク不可ナリト、

胡亥不聽。而遣御史曲官乘傳之代。令蒙毅曰。先主欲立太子。

而卿難之。今丞相以卿爲不忠。罪及其宗。朕不忍。乃賜卿死。亦甚幸矣。卿其圖之。毅對曰。以臣不能得先主之意。則臣少官。順幸沒世。可謂知意矣。

胡亥其諫メテ聽キ納レスシテ御史ノ官ノ曲宮トイヘル人ナシテ傳車ニ乘リテ代ニ往キ令チ蒙毅ニ出シテ曰ク先主太子ヲ立テント欲シテ卿之ヲ難ンセリ今丞相卿ヲ以テ不忠ト爲シ罪ヲ論シテ其宗族ニ及フ朕忍ヒサルヲ以テ獨リ卿ニ死ヲ賜フ卿ノ身ニ取リテハ亦甚々幸ナリ卿其レ之ヲ謀レト蒙毅對テ曰ク臣ヲ以テ先主ノ意ヲ得ル能ハストセハ則チ臣年少キ頃ヨリ先主ニ事ヘ旨ニ順ヒ龍ヲ蒙フリテ先主カ世ヲ没スルニ至レリ先主ノ意ヲ知ルト謂フヘシ、

以臣不知太子之能。則太子獨從。周旋天下。去諸公子。絕遠。臣無所疑矣。夫先主之舉用太子。數年之積也。臣乃何言之敢諫。何慮之敢謀。非敢飾辭以避死也。爲羞累先主之名。願大夫爲慮焉。使臣得死情實。

(續)久シキ間之ヲ胸中ニ蓄フルヲ言フ (大夫更慮大夫ハ曲宮ヲ指ス)

臣ヲ以テ太子ノ能ヲ知ラストセハ太子獨リ從フテ天下ニ周旋セリ諸公子ヲ去ルテ絕遠ナリ臣少シモ疑ヲ挾ム所ナシ夫レ先主ノ太子ヲ舉ケテ用ヒントセルハ數年ノ久シキ間ナリ臣何チカ言フテ諫メン何チカ慮リテ謀ラン敢テ辭ヲ飾リテ死ヲ避クルニ非サルナリ先主ノ名ヲ累ハスチ羞ツルカ爲メナリ願クハ大夫之ヲ謀慮セヨ臣ヲシテ情實ニ死スルヲ得セシメヨ(曲宮カ其王ニ傳奏シテ之ヲ寬赦スルヲ冀フナリ)

且夫順成全者。道之所貴也。刑殺者。道之所卒也。昔者秦穆公殺三良而死。罪百里奚而非其罪也。故立號曰繆。昭襄王殺武安君白起。楚平王殺伍奢。吳王夫差殺伍子胥。

(三良) 奄息仲行鍼虎ナリ繆公カ卒スル時ニ死ニ從フ者百七十七人アリ三人ノ良臣モ亦其中ニ在リ (曰繆) 諡法ニ德ヲ布キ義ヲ執ルヲ穆ト曰フ又中情見ハルハ貌ヲ穆ト曰フ且ツ夫レ無事ニ順フモノハ道ノ貴フ所ナリ刑殺ヲ行フハ道ノ終フル所ナリ昔シ秦ノ穆公三良ヲ殺シテ死シ百里奚トイヘル賢人ヲ罪シテ其罪ニアラサルナリ故ニ死後號ヲ立テ、繆ト曰ヒタリ(穆通シテ繆ニ作ル)昭襄王ハ武安君白起ヲ殺シ楚ノ平王ハ伍奢ヲ殺シ吳王夫差ハ伍子胥ヲ殺シタリ

此四君者。皆爲大失。而天下非之。以其君爲不明。以是藉於諸

侯。故曰。用道治者。不殺無罪。而罰不加於無辜。唯大夫留心。使
者知胡亥之意。不聽蒙毅之言。遂殺之。

此ノ四君ノ爲セル所ハ皆大ナル過失ナリトシテ天下ノ人之ヲ誹譏シ其君ヲ以テ不明ナ
リト爲ス是ヲ以テ其惡名狼藉シテ諸國ニ布ケリ故ニ曰ク道ヲ用井テ天下ヲ治ムルモノ
ハ無罪ノ人ヲ殺サスシテ罰無罪ノ人ニ加ヘサルナリ唯大夫心ヲ留メヨト使者胡亥ノ意
ヲ知リテ蒙毅ノ言ヲ聽キ納レヌ遂ニ之ヲ殺シタリ

二世又遣使者之陽周令蒙恬曰。君之過多矣。而卿弟毅有大
罪。法及內史。恬曰。自吾先人及至子孫。積功信於秦三世矣。今
臣將兵三十餘萬。身雖囚繫。其勢足以倍畔。自知必死。而守義
者。不敢辱先人之教。以不忘先主也。

二世又使者ヲ遣リ陽周ニ往テ令ヲ蒙恬ニ出シテ曰ク君ノ過失甚々多シ而シテ卿ノ弟蒙
毅ハ大罪アリ故ニ罪內史ニ及フト蒙恬曰ク吾カ先人ヨリ子孫ニ至ルニ及フマテ功ト信
トヲ秦ニ積ムト三世ノ間ナリ今臣三十餘万ノ兵ニ將タリ囚繫セラルト雖モ其勢背クニ
足レリ自カラ其必ラス死セント知リテ義ヲ守ル者ハ敢テ先人ノ教ヲ辱シメヌシテ先
主ヲ忘レサルハナリ

昔周成王初立。未離襁褓。周公旦負王以朝。卒定天下。及成王
有病甚殆。公旦自揃其爪以沈於河。曰。王未有識。是旦執事有
罪殃。旦受其不祥。乃書而藏之記府。可謂信矣。

(襁褓)小兒ヲ負フ衣ナリ (揃)剪ルナリ

昔シ周ノ成王初メテ立テテ未タ襁褓ヲ離レヌ周公旦成王ヲ負ヒテ朝シ終ニ天下ヲ取定
メタリ成王カ病ニ罹リテ甚々危フキニ及ヒテ周公旦自カラ其爪ヲ剪リテ河中ニ沈メテ
曰ク王年猶幼ニシテ未タ識ルアラス今日旦事ヲ執リ行フテ罪殃アラハ旦其不祥ヲ受ケ
ント仍テ之ヲ書シテ記府ニ藏メタリ是レ甚々信ト謂フヘシ

及王能治國。有賊臣言。周公旦欲爲亂久矣。王若不備。必有
大事。王乃大怒。周公旦走而奔於楚。成王觀於記府。得周公旦沈
書。乃流涕曰。孰謂周公旦欲爲亂乎。殺言之者。而反。周公旦故
周書曰。必參而伍之。

(參而伍之)參ハ三卿ヲ謂フ伍ハ即チ五大夫ナリ參伍コモク議スルヲ欲スルヲ謂フ
成王カ能ク國ヲ治ムルニ及ヒテ賊臣アリテ言テ曰ク周公旦亂ヲ爲サント欲スルヲ久シ

王者シ備ヘサレハ必ラス大事アラント成王仍テ大ニ怒レリ周公且亡ケテ楚ニ奔リタリ
成王タマク記府ニ往キ見テ周公且カ爪ヲ洗メル時ノ誓書ヲ得テ仍テ涕ヲ流シテ曰ク
孰レカ周公且ヲ亂チ爲サント欲スト謂フヤト遂ニ其之ヲ言フモノヲ殺シテ周公且ヲ楚
ヨリ召ヒ反ヘシタリ故ニ周書ニ必ラス參シテ之ヲ伍ニストアリテ三卿五大夫コモク
議スルチ欲スルチ謂ヒタリ

今恬之宗世無二心而事卒如此是必孽臣逆亂內陵之道也
夫成王失而復振則卒昌桀殺關龍逢紂殺王子比干而不悔
身死則國亡臣故曰過可振而諫可覺也察於參伍上聖之法
也凡臣之言非以求免於咎也將以諫而死願陛下爲萬民思
從道也

(孽臣孽ハ妖害ナリ)

(振救フナリ)

(身死則國亡則ハ猶而ノ如シ)

今恬ノ宗族世々二心ヲ懷キシヲナクシテ事終ニ此ノ如シ是レ必ラス孽臣逆亂シテ內ニ
陵クノ道ナリ夫レ成王ハ一旦失ストモ復々振ヘハ則チ終ニ昌ヘタリ桀王ハ忠臣關龍逢
ヲ殺シ紂王ハ忠臣王子比干ヲ殺シテ之ヲ悔ヒス故ニ其身死シテ國亡ヒタリ臣故ニ曰ク
過チ振フヘクシテ諫メ覺ルヘキナリ(此レハ前人諫メテ受ケテ覺ルヘケレハ則チ其過失

ヲ救フヘキヲ謂フ唯語倒ナルノミ)參伍ニ察スルハ聖人タル者ノ爲ス所ノ法ナリ凡ソ臣
ノ言ハ咎ニ免レントチ求ムルニ非サルナリ將サニ諫メテ以テ死セントスルナリ願クハ
陛下万民ノ爲メニ道ニ從フチ思ヘト

使者曰受詔行法於將軍不敢以將軍言聞於上也蒙恬喟然
太息曰我何罪於天無過而死乎良久徐曰恬罪固當死矣起
臨洮屬之遼東城墜萬餘里此其中不能無絕地脈哉此乃恬
之罪也乃吞藥自殺

使者曰ク臣詔ヲ受ケテ法ヲ將軍ニ行フ敢テ將軍ノ言ヲ以テ上ニ聞セサルナリト蒙恬喟
然トシテ太息シテ曰ク我何ソ天ニ罪アル過失ナクシテ死スルカト稍々久シフシテ徐カ
ニ謂テ曰ク恬ノ罪固ヨリ當サニ死スヘシ長城ヲ築クニ當リテ臨洮ヨリ之ヲ遼東ニ連屬
シタリ其間城ヲ築キ山ヲ堀ルト一萬餘里ノ間ナリ此レ其中必ラス地脈ヲ絶ツナキハ能
ハサランヤ此レ乃チ恬ノ罪ナリト仍テ毒藥ヲ吞ミテ自殺シタリ

太史公曰吾適北邊自直道歸行觀蒙恬所爲秦築長城亭障
墜山堙谷通直道固輕百姓力矣夫秦之初滅諸侯天下之心

未定。瘡傷者未瘳。而恬爲名將。不以此時彊諫。振百姓之急。養老存孤。務修衆庶之和。而阿意興功。此其兄弟遇誅。不亦宜乎。何乃罪地脈哉。

(亭障亭ハ行旅宿會ノ館スル所ナリ障ハ小城ナリ (瘡傷)共ニキズナリ)

晋北邊ニ往テ直道ヨリ歸リタリ行ク(蒙恬)カ秦ノ爲メニ築キシ所ノ長城亭障ヲ見シニ山ヲ壟シ谷ヲ堙メテ直道ヲ通シタリ固ヨリ百姓ノ力ヲ輕ンセリ夫レ秦ノ最初諸侯ヲ打滅スヤ天下ノ人心未タ定マラス傷ヲ被フルモノ未タ瘳ヘス而シテ蒙恬秦ノ名將タリ此ノ時ヲ以テ強諫シ百姓ノ急ヲ救ヒ老者ヲ養ヒ孤者ヲ存シ務メテ衆庶ノ和ヲ修メスシテ始皇ノ意ニ阿諛シテ大功ヲ興ス此レ其兄弟誅ニ逢フ亦宜ヘナラスヤ何ソ乃チ地脈ヲ罪スルニ至ランヤ

張耳陳餘列傳第二十九

張耳者。大梁人也。其少時。及魏公子母忌爲客。

(魏公子無忌)信陵君ナリ前ニ傳アリ

張耳ハ大梁ノ人ナリ其年少キ時ニ尙魏ノ公子母忌ヲ見テ之レカ賓客ト爲ルニ及ヒタリ

張耳嘗亡命游外黃。外黃富人女甚美。嫁庸奴。亡其夫。去張父

客。

(亡命)命ハ名ナリ其名籍ヲ脱シテ逃亡スルヲ謂フ (抵)父客)抵ハ至ルナリ猶投スト

云フカ如シ蓋シ此時父既ニ亡没シテ依ル所ナキ故ニ父ノ賓客ニ投セシナリ 張耳嘗テ名籍ヲ脱テ外黃トイヘル所ニ遊ヒタリ外黃ニ富人アリテ其女容貌甚々美ナリ嘗テ庸奴ニ嫁セシカ其夫逃亡セルニ因テ去テ父ノ時ノ故トノ賓客ノ所ニ投シタリ蓋シ此時父既ニ亡没シテ依ル所ナキ故ニ父ノ賓客ニ投セシナリ

父客素知張耳。乃謂女曰。必欲求賢夫。從張耳。女聽。乃卒爲請。決嫁之張耳。

(卒爲請)決)卒ハ遂ニト義同シ決ヲ請フトハ離別ヲ申シ込ムコトナリ

父ノ賓客兼テ張耳ヲ知レリ仍テ其女ニ謂テ曰ク必ラス賢夫ヲ求メント欲セハ張耳ニ從ヘト女之ヲ許シタリ父ノ客仍テ遂ニ女ノ爲メニ離婚ヲ其前夫ニ請ヒテ女ヲ張耳ニ嫁シタリ

張耳是時脫身游。女家厚奉給張耳。張耳以故致千里客。乃官

魏爲外黃令。名由此益賢。

(奉給)十分ニ資財ヲ與フルヲ言フ

(賢)顯ト音ヲ以テ通スアラハルナリ

張耳此時亡命シテ追捕スルモノナキカ故ニ官遊セントス女ノ家厚ク張耳ニ資財ヲ奉給セリ張耳其故ヲ以テ千里ノ遠方ヨリ賓客ヲ招キ寄セタリ仍テ魏ニ仕官シテ外黃ノ令ト爲リ此レニ因テ其名益々顯ハレタリ

陳餘者亦大梁人也。好儒術。數游趙。苦陘。富人公乘氏以其女妻之。亦知陳餘非庸人也。餘年少。父事張耳。兩人相與爲刎頸交。

(刎頸交)托契深重ニシテ頸ヲ斷チ頭ヲ絶ツト雖厄顧ミル所ナキヲ謂フ

陳餘ハ亦大梁ノ人ナリ儒者ノ術ヲ好ミタリ數々趙ノ苦陘トイヘル所ニ遊ヘリ苦陘ニ富人公乘氏トイヘルアリテ其女ヲ以テ陳餘ニ妻ハセタリ亦陳餘カ庸常ノ人物ニ非サルヲ知レハナリ陳餘年少キ時ニ張耳ニ父トシ事ヘ兩人相俱ニ刎頸ノ交リヲ爲シタリ

秦之滅大梁也。張耳家外黃。高祖爲布衣時。嘗數從張耳游。客數月。

秦カ魏ノ大梁ヲ打滅ス時張耳ハ外黃ニ住居セリ漢ノ高祖カ布衣タル時ニ嘗テ數々張耳ニ從テ交リ游ヒテ客タルコト數月ニ涉ルコトアリシ

秦滅魏數歲。已聞此兩人。魏之名士也。購求有得張耳千金。陳

餘五百金。張耳陳餘乃變名姓。俱之陳。爲里監門。以自食。

秦魏ヲ滅シテ後數歲ヲ過キテ既ニ此兩人ハ魏ノ名士ナルヲ聞キ仍テ之ヲ購求シテ曰ク張耳ヲ得ル者ニハ千金ヲ與ヘ陳餘ヲ得ル者ニハ五百金ヲ與ヘント張耳陳餘仍テ姓名ヲ換ヘテ共ニ陳ノ國ニ往キ里ノ監門ト爲リテ自カラ生活ヲ爲セリ監門ハ卒ノ賤シキモノナリ故ニ卑職ト爲リテ自カラ隱ルトナリ

兩人相對。里吏嘗有過答陳餘。陳餘欲起。張耳躡之。使受答。吏去。張耳乃引陳餘之桑下而數之曰。始吾與公言何如。今見小辱而欲死一吏乎。陳餘然之。

(躡)其足ヲ躡テ意ヲ致スナリ躡ノ字一ニ攝ニ作ル攝ハ之ヲ引持スルナリ (數)責ムルナリ

兩人相對坐シテ門ヲ監ス里ノ吏嘗テ過チテ以テ陳餘ヲ答チタレハ陳餘大ニ怒リ起テ之ニ抗セント欲ス張耳其足ヲ躡ミ意ヲ致シテ答ヲ受ケシメタリ里ノ吏其場ヲ去リテ後張耳陳餘ヲ引テ桑樹ノ下ニ往テ之ヲ責メテ曰ク始メ吾公ト言フ所ノ者ハ是レ何物ソ今小キ辱シメテ見テ一吏ノ爲メニ死セント欲スルヤト陳餘之ヲ聞テ尤モナリトシタリ

秦詔書購求兩人。兩人亦反用門者。以令里中。陳涉起。斬至入

陳兵數萬。張耳陳餘上謁陳涉。涉及左右生平數聞。張耳陳餘賢未嘗見。見即大喜。

(上謁)謁ハ名刺ナリ其名刺ヲ上ツリテ見ユルヲ謂フ

秦詔書ヲ發シテ兩人ヲ購ヒ求ム兩人モ亦反テ門者ノ名ヲ以テ號令ヲ里中ニ發シ詐リテ更ニ別ニ兩人ヲ求ムル風ヲ爲セリ陳涉カ斬トイヘル所ヨリ起リテ陳ニ入ルニ及ヒ兵益々多キヲ加ヘテ數万ヲ得タリ張耳陳餘ノ兩人仍テ謁ヲ陳涉ニ上ツリテ見ンヲ求ム陳涉及左右ノ人生平數、張耳陳餘ノ賢ナルヲ聞クト雖モ未ダ嘗テ之ヲ見シヲナシ今兩人ヲ見ルヲ得テ皆大ニ喜ヒタリ

陳中豪傑父老乃說陳涉曰。將軍身被堅執銳。率士卒以誅暴秦。復立楚社稷。存亡繼絕。巧德宜爲王。且夫監臨天下諸將。不爲王不可。願將軍立爲楚王也。

(豪傑)親方株口給ノ輩ヲ謂フ

(復立)本ニ戻シ立ツルナリ

(監臨)見張シテ立臨ムナ

陳縣中ノ豪傑及ヒ父老陳涉ニ說テ曰ク將軍ノ身堅キ甲冑ヲ被フリ銳キ兵器ヲ執リ士卒ヲ率ヒテ暴亂ノ秦國ヲ誅シ楚ノ社稷ヲ復立セントス亡ヒタル國ヲ存シ絶チタル世ヲ繼

ク其功德甚タ大ナリ宜シク王位ニ即クヘシ且ツ天下ノ諸將ニ監臨スルニハ王位ニ即クニ非サレハ不可ナリ願クハ將軍立テ楚王ト爲レト

陳涉問此兩人。兩人對曰。夫秦爲無道。破人國家。滅人社稷。絕人後世。罷百姓之力。盡百姓之財。將軍瞋目張膽。出萬死不顧一生之計。爲天下除殘也。今始至陳而王之。示天下私。願將軍母王。

(瞋目張膽)目ヲ怒ラシ膽ヲ大ニスルトテ勇氣ノ甚タシキヲ謂フ

陳涉此事ヲ以テ兩人ニ問フ兩人對ヘテ曰ク秦無道ヲ爲シテ他人ノ國家ヲ打破リ他人ノ社稷ヲ打滅シ他人ノ後世ヲ斷チ百姓ノ力ヲ疲ラシ百姓ノ財ヲ盡シ將軍ノ目ヲ瞋ラシ膽ヲ張リ万死シテ一姓ヲ顧ミサルノ計ヲ出シ天下ノ爲メニ人ヲ殘害スル者ヲ取除カントス今始メテ陳ニ至リテ王位ニ即カハ是レ天下ニ私心アルヲ示スナリ願クハ將軍王位ニ即クナカレ

急引兵而西。遣人立六國後。自爲樹黨。爲秦益敵也。敵多則力分。與衆則兵彊。如此野無交兵。縣無守城。誅暴秦。據咸陽。以令

諸侯諸侯亡而得立以德服之如此則帝業成矣今獨王陳恐天下解也

(天下解)解クトハ其心ヲ離散スルヲ言フ

急ニ兵ヲ引テ西ノ方ニ赴キ使者ヲ遣リテ故ノ六國ノ後ヲ尋テ之ヲ立テヨ自カラ爲メニ徒黨ヲ立テ構フテ秦ノ爲メニ多ク敵ヲ益セ敵多クレハ秦ノ力分レ與黨衆ケレハ我カ兵強シ此ノ如クンハ天下皆服シテ野ニ交戦スルノ兵ナク縣ニ保守スルノ城ナシ暴亂ノ秦ヲ誅シ咸陽ヲ根據トシテ號令ヲ諸侯ニ出セ諸侯既ニ亡ヒテ復々立ツテ得ハ恩德ヲ以テ之ヲ服従スヘシ此ノ如クンハ將軍ノ帝業成ルヘシ今獨リ陳ニ至リテ王位ニ即カハ恐ラクハ天下ノ諸侯皆其心ヲ離散セント

陳涉不聽遂立爲王陳餘乃復說陳王曰大王舉梁楚而西務在入關未及收河北也臣嘗游趙知其豪桀及地形願請奇兵北畧趙地

(豪桀)桀ハ傑ト通ス

(奇兵)權譎シテ發スルノ兵ヲ奇兵ト曰フ

(畧趙地)略トハ行テ

之ヲ取リ功力ヲ用フルコト少ナキヲ言フ切リ從ヘルコトナリ

陳涉兩人ノ說ヲ聽キ納レヌ遂ニ立チテ王位ニ即ケリ陳餘仍テ復々陳王ニ說テ曰ク大王梁楚ノ二國ヲ拔取リテ西ノ方ニ赴ク其務メ函谷關ニ攻メ入ルニ在リ未々河北ノ地ヲ取

ムルニ及ハサルナリ臣嘗テ趙ノ國ニ游ヒテ其豪傑及ヒ土地ノ形勢ヲ知レリ願ク奇兵ヲ請フテ北ノ方趙ノ地ヲ切リ從ヘント

於是陳王以故所善陳人武臣爲將軍邵騷爲護軍以張耳陳餘爲左右校尉予卒三千人北畧趙地

是ニ於テ陳王舊トノ交リ善クスル所ノ陳ノ人武臣トイヘル人ヲ以テ將軍ト爲シ邵騷トイヘル人ヲ以テ護軍ト爲シ張耳陳餘ヲ以テ左右ノ校尉ト爲シ士卒三千人ヲ與ヘテ北ノ方趙ノ地ヲ切リ從ヘシム

武臣等從白馬渡河至諸縣說其豪傑曰秦爲亂政虐刑以殘賊天下數十年矣北有長城之城南有五嶺之戍外內騷動百姓罷敝頭會箕歛以供軍費財匱力盡民不聊生重之以苛法峻刑使天下父子不相安

(殘賊)シヒタゲソコナフナリ

(長城之域)城ハ界限ナリ長城ヲ城キ華夷ノ限リト爲

シテ此ニ役衆ヲ用フルナリ

(五嶺之戍)戍ハ邊境ヲ守ルナリ五嶺ハ交趾ノ界中ニ在

リ大庾始安臨賀桂陽揭陽ノ五嶺アルニ因テ名ケタリ此ニ邊戍ヲ用フルナリ

(騷動)

サハギ亂ル、ナリ (罷敵)罷ハ渡ト同シ敵ハ弊ト同シ疲弊ハツカレツカル、ナリ
(頭會箕歛)役人カ人民ノ家ニ至リテ人頭ノ數ヲ以テ穀ヲ出サシメ箕ヲ以テ之ヲ歛ムル
ヲ云フ (不聊生)聊ハ安ニスルナリ落チツキテ暮ラス事ノ出來ヌヲ言フ (苛法峻
刑)苛ハ細カナリ峻ハ手ロドキナリ

武臣等白馬ノ津ヨリ河水ヲ渡リ河北ノ諸縣ニ至リテ其豪傑ニ説テ曰ク秦亂政虐刑ヲ爲
シテ天下ヲ殘ヒ害スル、數十年ノ間ナリ北ニ長城ノ域アリ南ニ五嶺ノ戍アリ内外騷亂
シテ百姓疲弊シ頭會箕歛シテ軍費ニ供シタリ財乏ク力盡キテ人民生ヲ安ンセス之レニ
重ヌルニ苛法峻刑ヲ以テシテ天下ノ父子タル者ヲシテ安樂ニ今日ヲ送ル、得サラシ
ム

陳王奮臂爲天下倡始。王楚之地。方二千里。莫不響應。家自爲
怒。人自爲鬪。各報其怨。而攻其讎。縣殺其令丞。郡殺其守尉。今
已張大楚。王陳。使吳廣周文將卒百萬西擊秦。

(倡始)倡ハ讀テ唱ト爲ス、トナフルナリ (令丞)令ハ縣令ナリ丞ハ其副官ナリ (守尉)
守ハ郡守ナリ尉ハ其副官ナリ (張大楚)張ハ張皇張雄ノ張ニテ大ナリ大楚ノ國ヲ張
リ建ツルヲ言フ

陳王臂ヲ奮ヒテ天下ノ爲メニ始メテ唱ヘ楚ノ地ニ王タリ四方二千里ノ内悉ク響應ニ
應スルカ如クナラサルハナシ家々自カラ怒リテ爲シ人々自カラ鬪ヒテ爲シ各々其怨ミ
ヲ報ヒテ其仇ヲ攻メ縣下ノ人ハ怒リテ其令丞ヲ殺シ郡下ノ人ハ怒リテ其守尉ヲ殺シタ
リ今既ニ大楚ノ國ヲ張リ建テ、陳ノ地ニ王タリ吳廣及ヒ周文トイヘル二人ヲシテ百萬
ノ卒ヲ率ヒテ西ノ方秦ノ國ヲ擊タシメタリ

於此時而不成封侯之業者。非人豪也。諸君試相與計之。夫天
下同心而苦秦久矣。因天下之力。而攻無道之君。報父兄之怨。
而成割地有土之業。此士之一時也。豪傑皆然。其言乃行。收兵
得數萬人。號武臣爲武信君。下趙十城。餘皆城守。莫肯下。乃引
兵東北擊范陽。

此時ニ於テ封侯ノ業ヲ成サ、ルモノハ眞ノ豪傑ニ非サルナリ諸君試ミニ相俱ニ之ヲ計
レ天下ノ人民心ヲ同フシテ秦ニ苦ム、久シ天下ノ力ニ因リテ無道ノ君ヲ攻メ父兄ノ怨
ミヲ報ヒテ地ヲ割キ取リ土ヲ有チ取ルノ業ヲ成ス此レ士タルモノノ大切ナル時ナリト
諸縣ノ豪傑之ヲ聞テ皆其言ヲ然リトシタリ仍テ行ク、諸縣ノ兵ヲ取收メテ數万人ヲ
得タリ衆武臣ヲ奉シテ將ト爲シ號シテ武信君ト爲シ趙ノ十城ヲ下セシカ其餘ハ皆城守
シテ下ル、ナ肯ンセス仍テ兵ヲ引テ東北ノ方范陽トイヘル所ヲ擊チタリ

范陽人蒯通說范陽令曰竊聞公之將死故弔雖然賀公得通而生

(蒯通)通ハ音徹ナリ史家武帝ノ諱ヲ避クルカニ故ニ改メテ通ト爲スナリ
范陽ノ人蒯通トイヘル者范陽ノ縣令ニ説テ曰ク竊カニ公カ將サニ死セントスルヲ聞ク
故ニ弔スルナリ然レモ公カ通ヲ得テ生クルヲ賀スト

范陽令曰何以弔之對曰秦法重足下爲范陽令十年矣殺人之父孤人之子斷人之足黥人之首不可勝數然而慈父孝子莫敢傳双公之腹中者畏秦法耳

(傳)蒯ト通ス挿ムナリ双ヲ挿ムトハ殺スヲ言フ
范陽ノ縣令曰ク何ヲ以テ之ヲ弔スルヤ蒯通對ヘテ曰ク秦ノ法律甚々重シ足下范陽ノ縣
令ト爲ルヲ既二十年間ナリ其間人ノ父ヲ殺シ人ノ子ヲ孤ニシ人ノ足ヲ斷チ人ノ首ヲ黥
スルヲ數フルニ勝フヘカラス然レモ慈父孝子タルモノ敢テ双ヲ公ノ腹中ニ傳ムヲナキ
モノハ秦ノ重法ヲ畏ルノミ

今天下大亂秦法不施然則慈父孝子且傳双公之腹中以成

其名此臣之所以弔公也今諸侯畔秦矣武信君兵且至而君堅守范陽少年皆爭殺君下武信君君急遣臣見武信君可轉禍爲福在今矣

今天下大ニ亂レテ秦ノ法律行ハレス然ラハ慈父孝子タルモノ且サニ双ヲ公ノ腹中ニ傳
サミテ其名ヲ成サントス(仇ヲ報ユルハ其慈父孝子タルヲ成ス所以ナリ)此レ臣ノ公ヲ弔
スル所以ナリ今諸侯皆秦ニ背ケリ武信君ノ兵且サニ至ラントス而ルニ君堅ク范陽ヲ守
ラントス武信君至レハ范陽ノ少年皆爭フテ君ヲ殺シテ武信君ニ下ルヘシ君急ニ臣ヲ遣
リテ武信君ヲ見セシメハ禍ヲ轉シテ福ト爲スヘキヲ今日ニ在リト

范陽令乃使蒯通見武信君曰足下必將戰勝然後畧地攻得然後下城臣竊以爲過矣誠聽臣之計可不攻而降城不戰而畧地傳檄而千里定可乎

(檄)檄書ヲ言フ長尺二寸ノ木簡ヲ用フルナリ檄ヲ傳ヘテ定ムトハ兵ヲ用ヒスシテ容易
ニ定ムルヲ謂フ
范陽ノ令仍リテ蒯通ヲシテ武信君ヲ見テ説カシメテ曰ク足下必ラス將サニ戰勝チテ然

ル後ニ地ヲ畧シ攻メ得テ然ル後ニ城ヲ下サントス臣竊カニ以爲ラク過テリト誠ニ臣ノ謀ヲ聽カハ攻メスシテ城ヲ降シ戰ハスシテ地ヲ畧シ檄ヲ傳ヘテ千里ヲ定ムルヲ得ヘシ可ナランヤ

武信君曰。何謂也。蒯通曰。今范陽令宜整頓其士卒以守戰者也。怯而畏死。貪而重富貴。故欲先天下降。畏君以爲秦所置吏。誅殺如前十城也。然今范陽少年亦方殺其令。自以城距君。君何不齎臣侯印拜范陽令。范陽令則以城下君。少年亦不敢殺其令。

(整頓)ト、ノフルナリ (距)拒ト通ス (少年亦不敢殺其令)范陽ノ令既ニ君ノ誅ヲ

免カルト、チ知リテ自カラ城ヲ以テ降ラハ少年ノ爲メニ得ラレサルヲ言フ

武信君曰ク何ノ謂ソヤ蒯通曰ク今范陽ノ令ハ宜シク秦ノ爲メニ其士卒ヲ整頓シテ守戰スヘキモノナリ而ルニ范陽ノ令ハ性質怯懦ニシテ死ヲ畏レ貪慾ニシテ富貴ヲ重ンセリ故ニ天下ノ人ニ先ダチテ降參セント欲ス此レ君力秦ノ置ク所ノ吏ト爲シテ誅殺スルコト前ノ趙ノ十城ノ如クセンコト懼ルレハナリ然レモ今范陽ノ少年ノ輩方サニ其縣令ヲ殺シ自カラ城ヲ以テ君ヲ打拒カントス(亂)ノ始メニ方リテ人々自カラ起テ割據スヘキカ故

ニ城ヲ以テ拒クナリ君何ソ臣ニ侯ノ印ヲ齎ラシテ范陽ノ令ヲ拜命セサルヤ此ノ如クンハ范陽ノ令ハ城ヲ以テ君ニ降リ少年ノ輩ハ亦敢テ其令ヲ殺サ、ラン

令范陽令乘朱輪華轂使驅馳燕趙郊。燕趙郊見之。皆曰。此范陽令先下者也。即喜矣。燕趙城可毋戰而降也。此臣之所謂傳檄而千里定者也。武信君從其計。因使蒯通賜范陽令侯印。趙地聞之不戰以城下者三十餘城。至邯鄲。

(朱輪華轂)朱輪ハ朱ニテ塗リタル車ナリ華轂ハ文飾シタル車轂ナリ轂ハ車ノコシ木ナ

范陽ノ縣令ヲシテ朱輪華轂ニ乘ラシメテ燕趙二國ノ郊野ニ驅ケ馳セシメハ燕趙二國ノ郊野ヲ守ル所ノ衆之ヲ見テ皆曰フヘシ此レ范陽ノ令先ツ降參スルナリト其死ヲ免カレ且ツ富貴ヲ得ルノ路アルヲ喜フヘシ此ノ如クンハ此レ燕趙二國ノ城ハ戰ハスシテ降參スヘキナリ臣ノ謂ハユル檄書ヲ傳ヘテ千里定マルモノナリト武信君蒯通ノ謀ニ從ヒ因テ蒯通ヲシテ范陽ノ令ニ侯ノ印ヲ賜ハシメタリ趙ノ地之ヲ聞テ戰ハスシテ城ヲ以テ下ルモノ三十餘城ナリ仍テ進ミテ邯鄲マテ至レリ

張耳陳餘聞周章軍入關。至戲却。又聞諸將爲陳王狗地。多以

讒毀得罪誅怨陳王不用其策不以爲將而以爲校尉。

(狗地)狗ハ畧ナリ即チ切り從ヘルナリ (不用其策) 其策トハ六國ノ後チ立テ及ヒ王タルナカレト諫メシチ指スナリ

此時張耳陳餘兩人陳涉ノ將周章ノ軍カ函谷關ニ攻メ入り戯トイヘル所ニ至リテ兵チ退クト聞キ又諸將陳王ノ爲メニ地チ切り從ヘシ者多ク讒言チ以テ罪チ得テ誅セラルト聞テ陳王カ先キニ己レノ策チ用ヒス己レチ以テ將ト爲サスシテ僅カニ校尉ト爲セシチ怨ミタリ

乃說武臣曰。陳王起。至陳而王。非必立六國後將軍。今以三千人下趙數十城。獨介居河北。不王。無以填之。且陳王聽讒。還報恐不脫於禍。又不如立其兄弟。不即立趙後將軍。毋失時。時間不容息。

(介居) ハサマリ居ルナリ一説ニ介ハ特ナリ介居トハ獨リ立チシテ居ルチ言フト蓋シ此説チ是ト爲ス (填) 鎮ト通スシツムルナリ (時間不容息) 時ノ速カナルコ其間ダ一息チ容ルハ暇マナシト云フコナリ 仍テ武臣ニ説テ曰ク陳王斬ヨリ起リ陳ニ至リテ王位ニ即ケリ必ラス六國ノ後チ尋ネテ

之ヲ立ツルニ非ス將軍今三千人チ以テ趙ノ數十城チ下シテ獨リ河北ノ地ニ介居セリ王位ニ即クニ非サレハ之ヲ鎮ムルナシ且ツ陳王ハ人ノ讒言チ聽キ納レタルチ以テ還リ報スルトモ恐ラクハ禍チ免カレス又將軍功アリト雖也陳王必ラス以テ其兄弟チ立ツルニ如カストセン否ラサレハ則チ故ノ趙ノ子孫チ立テン必ラス將軍ニ予ヘサルナリ將軍事チ舉クル時チ失フナカレ時機ノ迅速ナル其間ダ一喘息ノ頃チ容レサルナリト

武臣乃聽之。遂立爲趙王。以陳餘爲大將軍。張耳爲右丞相。劓騷爲左丞相。使人報陳王。陳王大怒。欲盡族武臣等家。又生一秦也。擊趙。陳王相國房君諫曰。秦未亡而誅武臣等家。又生一秦也。不如因而賀之。使急引兵西擊秦。陳王然之。從其計。徙繫武臣等家宮中。封張耳子敖爲成都君。

武臣之チ聽キ納レテ遂ニ自立シテ趙王ト爲リ陳餘チ以テ大將軍ト爲シ張耳チ右丞相ト爲シ劓騷チ左丞相ト爲シ仍テ人チシテ之チ陳王ニ報セシム陳王大ニ怒リ悉ク武臣等カ一族チ殺シテ兵チ發シテ趙チ擊タント欲ス陳王ノ相國房君トイヘル人之チ諫メテ曰ク秦未タ亡ヒサルニ武臣等ノ一族チ誅セハ此レ又一ノ秦チ生スルナリ寧ロ因テ之チ賀シテ急ニ兵チ引テ西ノ方秦チ擊タシムルニ如カスト陳王之チ然リトシテ其謀ニ從ヒ武臣

等ノ家族ヲ宮中ニ徙シ繫キ張耳ノ子張敖ヲ封シテ成都君ト爲シタリ
陳王使使者賀趙令趣發兵西入關張耳陳餘說武臣曰王王
趙非楚意特以計賀王楚已滅秦必加兵於趙願王毋西兵北
狗燕代南收河內以自廣趙南據大河北有燕代楚雖勝秦必
不敢制趙

(趣疾ヤカナリ)

陳王使者ヲ遣リテ趙ヲ賀セシメテ急ニ兵ヲ發シテ函谷關ニ攻メ入ラシム張耳陳餘武臣
ニ說テ曰ク王カ趙ニ至リタルハ楚ノ意ニ非ス陳王ノ力制スルコト能ハス且ツ權宜ノ計ヲ
以テ王ヲ賀スルノミ楚既ニ秦ヲ滅サハ必ラス兵ヲ趙ニ加フヘシ願クハ王兵ヲ西ニ向ハ
シムルナカレ北ノ方燕代ヲ切り從ヘ南ノ方河內ヲ取收メテ自カラ地ヲ廣メヨ趙南ノ方
大河ニ據リ北ノ方燕代ヲ有タハ楚秦ニ勝ツト雖モ必ラス敢テ趙ヲ制御スルヲ得スト
趙王以爲然因不西兵而使韓廣畧燕李良畧常山張儼畧上
黨韓廣至燕燕人因立廣爲燕王
趙王武臣兩人ノ言ヲ以テ然リト爲シ因テ兵ヲ西ニ向ハシメスシテ韓廣ヲシテ燕ヲ切り
從ヘ李良ヲシテ常山ヲ切り從ヘ張儼ヲシテ上黨ヲ切り從ヘシム韓廣燕ニ至ル燕人因テ

韓廣ヲ立テ、燕王ト爲シタリ

趙王乃與張耳陳餘北畧地燕界趙王間出爲燕軍所得燕將
囚之欲與分趙地半乃歸王使者往燕輒殺之以求地

(間出) 閑隙ニ投シテ微カニ外ニ出ルナリ

趙王仍テ張耳陳餘ト俱ニ北ノ方燕ノ地ヲ切り從ヘタリ趙王タマク間出シテ燕ノ軍ノ
爲メニ得ラレタリ燕ノ將之ヲ囚ヘテ俱ニ趙ノ地ノ半ハチ分ケテ王ヲ歸ヘサント欲ス趙
ノ使者往テ趙王ヲ歸ヘサント求ムレハ燕輒チ使者ヲ殺シテ地ヲ分タンコトヲ求メタリ
張耳陳餘患之有厠養卒謝其舍中曰吾爲公說燕與趙王載
歸

(謝) 辭ヲ以テ

(厠養卒) 厠ハ薪ヲ折ルナリ養ハ炊烹ヲ司トルナリ賤役ヲ爲ス者ヲ謂フ
相告クルヲ謝ト曰フ (公) 張耳陳餘ヲ指スナリ

張耳陳餘ノ二人王ヲ得ルノ法ナキヲ患フ時ニ厠養ノ卒アリ其同舍中ノ人ニ告ケテ曰ク
吾公ノ爲メニ燕ニ說テ立トコロニ趙王ト俱ニ載セ歸ラント

舍中皆笑曰使者往十餘輩輒死若何以能得王乃走燕壁燕

將見之。問燕將曰。知臣何欲。燕將曰。若欲得趙主耳。曰。君知張耳陳餘如何人也。燕將曰。賢人也。

同舍中ノ人皆之ヲ笑テ曰ク使者既ニ往クテ十餘輩ナリ往ケハ轍チ殺サル汝何ヲ以テ能ク吾カ王ヲ得ンヤト卒聽キ納レヌシテ燕ノ壁ニ赴ク燕ノ將之ヲ見タリ卒燕ノ將ニ問フテ曰ク君臣カ何ヲカ欲スルヲ知ル燕ノ將曰ク汝趙王ヲ得ント欲スルノミ卒曰ク君張耳陳餘ノ兩人ハ何如ナル人ナルヲ知レリヤ燕ノ將曰ク兩人ハ共ニ賢人ナリ

曰。知其志何欲。曰。欲得其王耳。趙養卒乃笑曰。君未知此兩人所欲也。夫武臣張耳陳餘杖馬箠下趙數十城。此亦各欲南面而主。豈欲爲卿相終已邪。夫臣與主。豈可同日而道哉。顧其勢初定。未敢參分。而王且以少長先立武臣爲王。以持趙心。

(杖馬箠)箠ハ鞭ナリ馬箠ヲ杖クトハ其攻メ戰フヲ須タサルヲ謂フ
卒曰ク張耳陳餘ノ兩人ノ志ハ何ヲカ欲スルヲ知ルヤ燕ノ將曰ク其王ヲ得ント欲スルノミ趙ノ養卒仍テ笑テ曰ク君未タ此ノ兩人ノ欲スル所ヲ知ラサルナリ夫レ武臣張耳陳餘ノ三人ハ馬箠ヲ杖キ攻メ戰ハスノ趙ノ數十城ヲ下シタリ此レ亦各々南面シテ王位ニ即

カント欲ス豈ニ趙王ノ卿相ト爲リテ終ニ己ムヲ欲センヤ夫レ人ノ臣タルト人ノ主タルトハ豈ニ日ヲ同フシテ言フヘケンヤ思フニ其勢初メテ趙ノ國ノ定マルヲ以テ未タ敢テ三分シテ王タラス且ツ民心ノ未タ安カラサルニ迫リテ姑ク年ノ少長ヲ以テ先ツ武臣ヲ立テ、王ト爲シテ趙ノ人心ヲ安カラシムルノミ原ト君臣ノ定分ナキナリ
今趙地已服。此兩人亦欲分趙而王。時未可耳。今君乃囚趙王。此兩人名爲求趙王。實欲燕殺之。此兩人分趙自立。夫以一趙尚易燕。況以兩賢王。左提右挈。而責殺王之罪。滅燕易矣。燕將以爲然。乃歸趙王。養卒爲御而歸。

(左提右挈)提モ挈モ共ニヒサグナリ提挈トハ相扶持スルヲ謂フ
今趙ノ地既ニ服ス此ノ兩人モ亦趙ノ地ヲ分ケテ王タラント欲ス時未タ可ナラサルノミ今君趙王ヲ囚フ此ノ兩人ハ名ハ趙王ヲ求ムト爲シテ實ハ燕ノ之ヲ殺スヲ欲ス趙王殺サレハ此ノ兩人趙ノ國ヲ分ケテ自立シテ王ト爲ルヘシ夫レ一ノ趙ヲ以テタモ猶燕ヲ輕易ス況ンヤ左提右挈シテ趙王ヲ殺スノ罪ヲ責メハ其燕ヲ滅スヤ甚タ易シト燕ノ將養卒ノ言ヲ以テ然リト爲シ仍テ趙王ヲ歸ヘス養卒之レカ御者ト爲リテ歸リタリ

李良已定常山還報。趙王復使良畧太原。至后邑。秦兵塞井陘。

未能前秦將詐稱二世使人遺李良書不封曰良嘗事我得顯幸良誠能反趙爲秦赦良罪貴良

(得顯幸)顯ハ身ノ顯ハルトナリ謂フ幸ハ寵幸セルナリ

李良既ニ常山ヲ打定メテ還リ報ス趙王復タ李良ヲシテ太原ヲ切リ從ヘシム李良仍テ進ミテ后邑トイヘル所ニ至ル秦ノ兵井陘トイヘル所ニ塞ヲ築キテ未タ進ム能ハス時ニ秦ノ將詐リテ二世皇帝ノ使者ト稱シ李良ニ書ヲ遣リテワザク封ヲ爲サス曰ク良嘗テ我ニ事ヘテ顯幸ヲ得タリ今良誠ニ能ク趙ニ反シテ秦ノ爲メニセハ我良ノ罪ヲ赦シテ良ノ身ヲ貴フセント

良得書疑不信乃還之邯鄲益請兵未至道逢趙王姊出飲從百餘騎李良望見以爲王伏謁道旁王姊醉不知其將使騎謝李良

李良其書ヲ得テ疑ヲ生シテ之ヲ信セス仍テ還テ邯鄲ニ往キ益々兵ヲ請ハントシテ未タ邯鄲ニ至ラス其途中ニシテ趙王ノ姊カ外ニ出テ飲ミテ百餘騎ヲ從ヘルニ逢ヘリ李良之ヲ望ミ見テ以爲ラク趙王ナリト仍テ道傍ニ伏シテ謁ヲ上ツル王ノ姊大ニ酔フテ其將ナルヲ知ラス騎ヲシテ李良ニ謝セシム

李良素貴起慙其從官從官有一人曰天下畔秦能者先立且趙王素出將軍下今女兒乃不爲將軍下車請追殺之

(出將軍下)出ツトハ猶在リト云フカ如シ

李良トイヘル人ハ素ヨリ貴人ナルカ故ニ今拜謁シテ起チ其從官ヲ顧ミテ心ノ中大ニ慙チタリ從官ノ一人曰ク天下秦ニ背ク材能アル者先ツ立テ王ト爲ル且ツ將軍ハ本ト秦ノ貴臣ニシテ趙王素ヨリ將軍ノ下ニ在リ今將軍ノ功亦彼レカ上ニ在リ然ルニ今女兒將軍ノ爲メニ車ヲ下ラス何ソ無禮ナル請フ之ヲ追殺サント

李良已得秦書固欲反趙未決因此怒遣人追殺王姊道中乃遂將其兵襲邯鄲邯鄲不知竟殺武臣邵騷趙人多爲張耳陳餘耳目者以故得脫出

(耳目)探偵者ト爲リテ其聞知スル所ヲ報スルヲ謂フ

李良既ニ秦ノ書ヲ得テ固ヨリ趙ニ反セント欲シテ未タ決斷セス此ノ怒リニ因テ人ヲ遣リテ趙王ノ姊ヲ道中ニテ追殺シ仍テ遂ニ其兵ヲ將ヒテ邯鄲ヲ襲ヒタリ邯鄲ニテハ之ヲ知ラスシテ備ヘテ爲サ、ルカ故ニ李良大ニ打破リテ竟ニ武臣及ヒ邵騷ヲ殺シタリ趙ノ人張耳陳餘ノ探偵ト爲ルモノ多シ故ニ以テ兩人脱レ出ルヲ得タリ

收其兵得數萬人。客有說張耳曰。兩君羈旅而欲附趙。難獨立。立趙後。扶以義。可就功。乃求得趙歇。立爲趙王。居信都。

張耳陳餘趙ノ散兵ヲ取收メテ數万人ヲ得タリ客張耳ニ説ク者アリテ曰ク今兩君ハ流寓ノ客ニシテ趙ノ國ヲ附ク從ヘント欲ス是レ其勢弱キカ故ニ獨立シ難キナリ寧ロ故トノ六國ノ趙王ノ子孫ヲ尋子出シ之ヲ立テ、名義ヲ以テ自カラ輔助セハ功ヲ成スヲ得ヘシト兩人仍テ趙ノ苗裔趙歇トイヘル人ヲ尋子出シ立テ、趙王ト爲シテ信都トイヘル所ニ居ラジメタリ

李良進兵擊陳餘。陳餘敗。李良走歸章邯。章邯引兵至邯鄲。皆徙其民河內。夷其城郭。張耳與趙王歇走入鉅鹿城。王離圍之。

李良兵ヲ推進メテ陳餘ヲ擊ツ陳餘反リテ李良ヲ敗ル李良亡ク走リテ秦ノ將章邯ニ歸シタリ章邯兵ヲ引テ邯鄲ニ至リ其人民ヲ河内ニ徙シテ其城郭ヲ平ラケタリ張耳趙王歇ト俱ニ走リテ鉅鹿城ニ入ル秦ノ將王離之ヲ取圍ミタリ

陳餘北收常山兵。得數萬人。軍鉅鹿北。章邯軍鉅鹿南棘原。築甬道屬河。餉王離。

甬道屬河。餉王離。

(甬道)土ヲ起シ牆ヲ築キ中間ニ道ヲ爲クリテ兵糧ヲ運フナリ是レ敵ノ輜重ヲ抄メンヲ恐レテ爲スナリ (餉)兵糧ヲ饋ルナリ

陳餘北ノ方常山ノ兵ヲ收メ數万人ヲ得テ鉅鹿城ノ北ニ軍ヲ構ヘ章邯ハ鉅鹿城ノ南ノ棘原ニ軍ヲ構ヘタリ章邯ノ軍甬道ヲ築キ河水ニ聯屬シテ其軍糧ヲ王離ノ軍ニ饋リ運ヒタリ

王離兵食多。急攻鉅鹿。鉅鹿城中食盡。兵少。張耳數使人召前陳餘。陳餘自度兵少。不敵秦。不敢前。數月。

王離ノ兵糧食甚タ多シ因テ急ニ鉅鹿城ヲ攻ム鉅鹿ノ城中ニテハ兵糧盡キ兵卒少クシテ敵スル能ハス張耳仍テ數々人ヲシテ召シテ陳餘ヲ進メシム陳餘自カラ量ルニ兵卒少クシテ秦ニ敵スル能ハスト仍テ敢テ進マサルヲ數月ノ間ナリ

張耳大怒。怨陳餘。使張騫陳澤往讓陳餘曰。始吾與公爲刎頸交。今王與耳且暮且死。而公擁兵數萬。不肯相救。安在相爲死。苟必信胡不赴秦軍。俱死。且有十一二相全。

張耳大ニ怒リテ陳餘ヲ恐ミ張騫陳澤ノ二人ヲシテ往テ陳餘ヲ責メシメテ曰ク始メ吾公ト俱ニ刎頸ノ交リヲ爲シタリ今趙王張耳ト俱ニ且暮且サニ死セントス而ルニ公數万ノ兵ヲ抱キカトヘテ相救フコト肯ンセス安クンソ其相爲メニ死スルニ在ランヤ苟クモ必ラス信ナラハ何ソ秦ノ軍ニ赴キテ俱ニ死セサル冀クハ十中ノ一二ハ秦ニ勝ツコトアラン

陳餘曰。吾度前終不能救趙。徒盡亡軍。且餘所以不俱死。欲爲趙王張君報秦。今必俱死。如以肉委餓虎。何益。張騫陳澤曰。事已急。要以俱死立信。安知後慮。陳餘曰。吾死顧以爲無益。必如公言。乃使五千人。令張騫陳澤先嘗秦軍。至皆沒。

陳餘曰ク吾之ヲ量ルニ進ムトモ終ニ趙ヲ救フ能ハス徒ニ悉ク軍ヲ亡サンノミ且ツ我カ俱ニ死セサル所以ハ趙王及ヒ張君ノ爲メニ秦ニ報セント欲スルナリ今必ラス俱ニ死セハ肉ヲ以テ餓餓ニ迫リタル虎ニ委スルカ如シ何ソ益アラランヤ張騫陳澤曰ク事既ニ急ナリ要スルニ俱ニ死シテ信ヲ立ツヘシ安ソ後ノ慮リヲ知ラン陳餘曰ク吾死スルモ思念スルニ益ナシト爲ス必ラス公ノ言ノ如クンハ五千人ヲ發シテ從ハシメント仍テ張騫陳澤ノ二人ヲシテ先ツ秦ノ軍ヲ試ミシム二人至レハ五千人ノ兵悉ク秦ノ爲メニ殺サレタ

當是時。燕齊楚聞趙急。皆來救。張敖亦北收代兵。得萬餘人。來皆壁餘旁。未敢擊秦。項羽兵數絕章邯甬道。王離軍乏食。項羽悉引兵渡河。遂破章邯。章邯引兵解。

是ノ時ニ當リテ燕齊楚ノ三國趙ノ甚々急ナルヲ聞テ皆來リ救ヒタリ張耳ノ子張敖モ亦北ノ方代ノ兵ヲ取收メテ万餘人ヲ得テ來リ皆陳餘ノ傍ラニ壁ヲ築キ未ダ敢テ秦ノ軍ヲ擊タス項羽ノ兵數々章邯ノ甬道ヲ絶チタルヲ以テ王離ノ軍糧食ニ欠乏シタリ項羽悉ク兵ヲ引テ河水ヲ渡リ遂ニ章邯ノ軍ヲ打破ル章邯兵ヲ引テ解ケタリ

諸侯軍乃敢擊圍鉅鹿秦軍。遂虜王離。涉間自殺。卒存鉅鹿者。楚力也。於是趙王歇張耳乃得出鉅鹿。謝諸侯。

諸侯ノ軍仍テ敢テ鉅鹿ヲ取圍ム所ノ秦ノ軍ヲ擊テ遂ニ王離ヲ擒ニシタリ秦ノ將涉間トイヘル人ハ自殺シタリ此ノ時終ニ鉅鹿ヲ存シタルモノハ楚ノ項羽カ章邯ヲ敗ルカ故ナリ是ニ於テ趙王歇及ヒ張耳鉅鹿ヲ出テ、諸侯ニ謝スルヲ得タリ

張耳與陳餘相見。責讓陳餘以不肯救趙。及問張騫陳澤所在。

陳餘怒曰。張騫陳澤以必死責臣。臣使將五千人先嘗秦軍。皆沒不出。張耳不信。以為殺之。數問陳餘。

張耳陳餘ト相見ル張耳陳餘ヲ責讓スルニ先キニ趙ヲ救ハサルヲ以テス及ヒ張騫陳澤二人ノ在ル所ヲ問フ陳餘大ニ怒リテ曰ク張騫陳澤ノ二人必死ヲ以テ臣ヲ責ム臣故ニ五千人ニ將トシテ先ツ秦ノ軍ヲ試ミシメシニ五千人皆没シテ返ラスト張耳之ヲ信セスシテ陳餘カ二人ヲ殺スト爲シ數々陳餘ニ二人ノ事ヲ問ヒタリ

陳餘怒曰。不意君之望臣深也。豈以臣爲重去將哉。乃脫解印綬。推予張耳。張耳亦愕不受。

(望)臣望ハ怨ムナリ (脫解)ヌギトクナリ

陳餘大ニ怒リテ曰ク思ハサリキ君カ臣ヲ怨望スルノ斯クマテニ深カラントハ豈ニ臣ヲ以テ將ノ印綬ヲ去ルヲ難カルト爲サヤト仍テ印綬ヲ解テ張耳ニ推シ與フ張耳モ亦驚愕シテ敢テ之ヲ受ケス

陳餘起如廁。客有說張耳曰。臣聞天與不取。反受其咎。今陳將軍與君印。君不受。反天不祥。急取之。張耳乃佩其印。收其麾下。

而陳餘還亦望張耳不讓。遂趨出。

(麾下)麾ハ大將ノ旗ナリ旗下ノ兵ヲ取收ムルヲ言フ

陳餘起テ廁ニ往キタリ客張耳ニ說ク者アリテ曰ク臣之ヲ聞ケリ天ノ與フル之ヲ取ラサレハ反テ其咎メヲ受クト今陳將軍君ニ印綬ヲ與フ君之ヲ取ラサレハ天ニ反シテ不吉ナリ急ニ之ヲ取ルヘシト張耳仍テ其印綬ヲ佩ヒ陳餘ノ率井タリシ麾下ノ兵ヲ取收メタリ陳餘既ニ廁ヨリ還リテ張耳カ其印ヲ推讓ヲサルヲ怨望シ遂ニ趨リテ外ニ出テタリ

張耳遂收其兵。陳餘獨與麾下所善數百人。之河上澤中漁獵。由此陳餘張耳遂有卻。趙王歇復居信都。張耳從項羽諸侯入關。

張耳遂ニ其兵ヲ取收メタリ陳餘獨リ麾下ノ交リ善クスル所ノ數百人ト俱ニ河水ノ上リノ澤中ニ往テ漁獵ヲ爲ス此ニ由テ陳餘張耳ノ二人遂ニ卻ヲ生シタリ趙王歇復々信都ニ居ル張耳項羽及ヒ諸侯ニ從ヒテ函谷關ニ攻メ入レリ

漢元年二月。項羽立諸侯王。張耳雅游。人多爲之言。項羽亦素數聞張耳賢。乃分趙立張耳爲常山王。治信都。信都更名襄國。

(雅游)雅ハ故ナリ其故ト久シク遊ヒテ英傑ニ交リ結フ是ヲ以テ多ク人ノ爲メニ稱譽セ

ラレトテ謂フ
漢ノ元年二月項羽諸侯王ヲ立テリ張耳故ト久シク遊ヒテ英傑ニ交リ結フ是ヲ以テ多ク
人ノ爲メニ稱譽セラル項羽モ亦素ヨリ數々張耳ノ賢ナルヲ聞テ仍テ趙ヲ分チ張耳ヲ立
テ、常山王ト爲シ信都ヲ治處ト爲サシム信都改メテ襄國ト名ケタリ

陳餘客多說項羽曰。陳餘張耳一體有功於趙。項羽以陳餘不
從入關。聞其在南皮。即以南皮旁三縣以封之。而徙趙王歇王
代。張耳之國。陳餘愈益怒曰。張耳與餘功等也。今張耳王。餘獨
侯。此項羽不平。

陳餘ノ客多ク項羽ニ說テ曰ク陳餘張耳ハ其跡ハ一ナルカ如クニシテ共ニ趙ニ功アリ宜
シク之ヲ封スヘシト項羽陳餘カ關ニ入ル時ニ從ハサリシヲ以テ其南皮トイヘル所ニ在
ルト聞テ南皮ノ近傍ノ三縣ヲ割テ陳餘ヲ封シタリ而シテ趙王歇ヲ徙シテ代ニ王トシタ
リ張耳國ニ往クニ及ヒテ陳餘愈々怒テ曰ク張耳ハ我ト其功等シキナリ今張耳ハ王タレ
ヒ我ハ獨リ侯タリ此レ項羽カ人ヲ封スルニ甚々不公平ナリト

及齊王田榮畔楚。陳餘乃使夏說說田榮曰。項羽爲天下宰。不

平。盡王諸將善地。徙故王王惡地。今趙王乃居代。願王假臣兵。
請以南皮爲扞蔽。

扞蔽猶藩屏ト言フカ如シフセギト爲スヲ言フ
齊王田榮カ楚ニ畔クニ及ヒテ陳餘夏說トイヘル人ヲシテ田榮ニ說カシメテ曰ク項羽天
下ノ宰ト爲リテ事ヲ處スル甚々不公平ナリ悉ク諸將ヲ善地ニ王トシ故トノ王ヲ徙シテ
惡地ニ王トシタリ今趙王代ニ居レリ願クハ王臣ニ兵ヲ假セ臣請フ南皮ヲ以テ扞蔽ト爲
サント

田榮欲樹黨於趙。以反楚。乃遣兵從陳餘。陳餘因悉三縣兵襲
常山王張耳。張耳敗走。念諸侯無可歸者。曰。漢王與我有舊故。
而項羽又彊立我。我欲之楚。

田榮徒黨ヲ趙ノ國ニ立テ、楚ニ反セント欲ス仍テ兵ヲ遣リテ陳餘ニ從フ陳餘因テ南皮
ノ傍ラノ三縣ノ兵ヲ悉ク繰リ出シテ常山王張耳ヲ襲ヒタリ張耳大ニ敗走ス念フニ諸侯
ニ往テ歸スヘキモノナシト因テ謂テ曰ク漢王ハ我ト舊故アリ漢王布衣タリシ時ニ嘗テ
張耳ニ從テ遊フカ故ニ言フナリ項羽又既ニ強ク盛ンニシテ我ヲ立ツ我楚ニ往カント欲
スト蓋シ張耳漢王ニハ舊故アリ項羽ニハ立テラル狐疑シテ往ク所ヲ知ルナキナリ

甘公曰。漢王之入關。五星聚東井。東井者秦分也。先至必霸。楚雖彊。後必屬漢。故耳走漢。

(秦分)曆算ヲ以テ列宿ノ位置ヲ漢土ノ土地ニ分配シタルヲ言フ
甘公トイヘル人曰ク漢王カ關ニ攻メ入ルヤ五星東井ニ聚マリタリ東井ハ秦ノ分野ナリ
先ツ秦ニ攻メ入ルモノハ必ラス旗頭タルヘシ楚ハ強ク盛ンナリト雖モ漢王ニ後レテ秦
ニ攻メ入リタレハ天下ハ後チハ必ラス漢ニ屬スヘシト故ニ張耳漢ニ赴ムキ歸シタリ

漢王亦還定三秦。方圍章邯廢丘。張耳謁漢王。漢王厚遇之。陳餘已敗。張耳皆復收趙地。迎趙王於代。復爲趙王。趙王德陳餘。立以爲代王。陳餘爲趙王弱。國初定。不之國。留傳趙王。而使夏說以相國守代。

(三秦)項羽關中ヲ三分シテ秦ノ降將ヲ王トス章邯ハ雍王タリ司馬欣ハ塞王タリ董翳ハ翟王タリ之ヲ三秦ト爲ス
漢王モ亦此時還リテ三秦ヲ定メ方サニ章邯ヲ廢丘トイヘル所ニテ取圍メリ張耳往テ謁
チ漢王ニ上リテ見ユ漢王手厚ク之ヲ待遇セリ陳餘既ニ張耳ヲ打破リ皆復タ趙ノ地ヲ取
收メ趙王ヲ代ヨリ迎ヘテ復タ趙王ト爲シタリ趙王陳餘ヲ德トシ陳餘ヲ立テ代王ト爲

漢二年。東擊楚。使使告趙。欲與俱。陳餘曰。漢殺張耳。乃從。於是漢王求類張耳者。斬之。持其頭遺陳餘。陳餘乃遣兵助漢。漢之敗於彭城西。陳餘亦復覺張耳不死。即背漢。

ス陳餘趙王弱ク國初メテ定マルカ爲メニ代ノ國ニ往カスシテ留マリテ趙王ノ傳ト爲リ
夏說ヲシテ代ノ相國ト爲シテ代ニ居テ之ヲ守ラシメタリ
漢ノ二年(二年)ハ疑フラクハ當サニ元年ニ改ムヘシ(東)ノ方楚ヲ擊チ使者ヲシテ趙ノ國ニ
告ケシメテ與ニ俱ニ楚ヲ攻メント欲ス陳餘曰ク漢張耳ヲ殺サハ從ハント是ニ於テ漢王
人ノ張耳ノ容貌ニ類似スルモノヲ求メテ之ヲ斬リ其頭ヲ持シテ陳餘ニ遣リタリ陳餘仍
テ兵ヲ遣リ漢ヲ助ケテ楚ヲ擊チタリ漢ノ彭城ノ西ニテ楚ノ爲メニ打破ラルトヤ陳餘モ
亦復タ張耳カ死セサルヲ覺リテ怒テ漢ニ背キタリ

漢三年。韓信已定魏地。遣張耳與韓信擊破趙。井陘。斬陳餘。泚水上。追殺趙王歇。襄國。漢立張耳爲趙王。漢五年。張耳薨。諡爲景王。子敖嗣立爲趙王。高祖長女魯元公主爲趙王敖后。

漢ノ三年韓信既ニ魏ノ地ヲ取定ム仍テ張耳ト韓信トヲ遣リテ趙ノ井陘トイヘル所ヲ擊

テ破リ陳餘ヲ泝水ノホトリニテ斬リ趙王歇ヲ襄國ニテ追ヒ殺セリ漢仍テ張耳ヲ立テ、
趙王ト爲シタリ漢ノ五年張耳、堯ス諡シテ景王ト爲ス其子張敖嗣テ立テ趙王ト爲ル高祖
ノ長女魯元公主トイヘルカ趙王敖ノ后ト爲リタリ

漢七年高祖從平城過趙趙王朝夕袒韞蔽自上食禮甚卑有
子婿禮高祖箕倨詈甚慢易之

(袒韞蔽) 袒ハ衣ナ脱シテ肉ヲ露ハスナリ韞ハ臂捍ナリ蔽ハ膝ヲ蔽フモノナリ (箕倨) 倨傲坐ナリ兩足ヲ伸ヘ手ヲ以テ膝ニ據リテ形簸箕ノ如キヲ謂フ (慢易) アナドリア
ナドルナリ

漢ノ七年高祖平城トイヘル所ヨリ歸リテ趙ノ國ヲ過ク趙王敖舅ノ來リタル事ナレハ朝
夕禮ヲ守リテ袒シテ韞蔽ヲ着ケ賤役ノ如クニナリテ自カラ漢王ニ食ヲ上ツル禮甚々卑
ク恭フシテ自カラ子婿タルノ禮ヲ施セリ而ルニ高祖箕倨シテ詈リ甚々趙王ヲ慢易シタ
リ

趙相貫高趙午等年六十餘故張耳客也生平爲氣乃怒曰吾
王辱王也

(爲氣) 氣ヲ人ニ下サトルヲ言フ

(辱王)

ハ懦弱ナリ

趙ノ相國貫高趙午トイヘル輩年六十餘ニシテ舊トノ張耳ノ客ナリ生平氣ヲ人ニ下サス
高祖カ趙王ヲ遇スル様ヲ見テ大ニ怒テ曰ク吾カ王ハ懦弱ノ王ナリト

說王曰夫天下豪傑竝起能者先立今王事高祖甚恭而高祖
無禮請爲王殺之張敖齧其指出血曰君何言之誤且先人亡
國賴高祖得復國德流子孫秋豪皆高祖力也願君無復出口

(秋豪) 豪ハ毫ト通ス鳥獸ノ毛ハ秋ニ至リテ末銳シ故ニ物ノ些細ナルヲ謂テ秋毫ト爲ス
貫高趙午等趙王ニ說テ曰ク天下ノ豪傑並ヒ起リテ材能アルモノハ先ツ立テ王ト爲ル今
王高祖ニ事フルヲ甚々卑恭ナルニ高祖禮ナシ請フ王ノ爲メニ高祖ヲ殺サント張敖其指
ヲ齧テ血ヲ出シテ曰ク(指ヲ齧ムハ至誠ヲ表シ其誓約シテ漢ニ背カサルカ爲メナリ)君何
ソ言ノ誤レルヤ且ツ先人一旦國ヲ亡ヒ高祖ニ頼テ國ヲ復ヘスヲ得タリ其德澤子孫ニ流
ル秋毫モ皆高祖ノ力ナリ願クハ君復タ之ヲ口ヨリ出スナカレト

貫高趙午等十餘人皆相謂曰乃吾等非也吾王長者不倍德
且吾等義不辱今怨高祖辱我王故欲殺之何乃滂王爲乎令
事成歸王事敗獨身坐耳

(汚)汚ト通ス穢スナリ
 貫高趙午等十餘人皆相謂テ曰ク此レ吾等カ非ナルナリ吾カ王ハ重厚ノ長者ニシテ恩徳ニ背カス且ツ吾等ハ義辱シメラレス今高祖カ我カ王ヲ辱シムルヲ怨ム故ニ之ヲ殺サント欲ス何ソ我カ王ヲ汚スチ爲サンヤ事ヲシテ成ラシメハ吾カ王ニ歸セン事敗レハ吾等獨リ罪ニ坐センノミト

漢八年上從東垣還過趙貫高等乃壁人柏人要之置

(要之置)正本ニハ置ノ字ノ下ニ厠ノ字アリ之ヲ是ト爲ス言フハ人ノ知レサル様ニシテ人ヲ厠壁ノ中ニ置テ高祖ヲ伺ハシムルナリ

漢ノ八年東垣ヨリ還リテ趙ヲ過ク(此レ韓王信ノ餘寇ヲ東垣ニ擊テ還ルヲ謂フナリ)貫高等人ヲ柏人縣ノ館舍ノ壁中ニ匿クシ之ヲ要シテ置キタリ

上過欲宿心動問曰縣名爲何曰柏人柏人者迫於人也。不宿而去。

高祖柏人縣ヲ過キテ宿セント欲セシカ心大ニ動キタリ因テ問フテ曰ク此ノ縣ノ名ハ何ト爲スヤ曰ク柏人ト云フナリト高祖曰ク柏人ハ其字人ニ迫ルト云フ字ナリトテ宿セスシテ去リタリ柏人ハ迫人ト音通スルヲ以テノ故ナリ

漢九年貫高怨家知其謀乃上變告之於是上皆并逮捕趙王

貫高等十餘人皆爭自剄貫高獨怒罵曰誰令公爲之。今王實無謀而并捕王。公等皆死。誰白王不反者。乃轆車膠致。與王詣長安。治張敖之罪。

(怨家)怨ミアル家即チ仇ナリ (上變)非常ノ事ヲ告クルヲ謂フ (逮捕)追ヒ捕フルナリ (誰令公爲之)謀テ此事ヲ爲スハ本ト誰カ公等ヲシテ之ヲ爲サシム豈ニ我等公ト謀テ之ヲ爲スニアラスヤト王ノ實ニ之ヲ知ラサルヲ謂フナリ (轆車膠致)轆車ハ車ニシテ檻ノ形ヲ爲ス板ヲ以テ之ヲ四周シテ通シ見ル所ナキナリ我邦ノ昔シ用ヒタリシトウマルカゴノ如キ者ナリ膠致トハ膠密ニシテ開クヲ得スシテ送ルナリ
 漢ノ九年貫高ノ仇其竊カニ謀チ知テ仍テ變チ上ツリテ之ヲ告ケタリ是ニ於テ高祖并セテ趙王及ヒ貫高等ヲ逮捕ス十餘人ハ皆爭フテ自剄セントス貫高獨リ怒テ罵テ曰ク誰カ公ヲシテ之ヲ爲サシム今王實ニ此ノ謀ナクシテ并セテ王ヲ捕フ公等皆死セハ誰レカ王ノ反セサルヲ明白ニスルモノソト仍テ轆車膠致シテ王ト俱ニ長安ニ致シテ張敖ノ罪ヲ糾シタリ

上乃詔趙群臣賓客有敢從王皆族。貫高與客孟舒等十餘人皆自髡鉗爲王家奴。從來貫高至對獄曰。獨吾屬爲之。實不知。

吏治榜笞數千。刺剗身無可擊者。終不復言。

(髡鉗頭ヲ刺リ鐵ヲ以テ頸ヲ束メルナリ古ヘハ奴ト爲ルモノハ皆斯ク爲セリ (榜笞)

榜トハ之ヲ捶擊スルヲ言フ (刺剗) 剗モ亦刺スナリ鐵ヲ以テ之ヲ刺スヲ言フ

高祖仍テ詔シテ曰ク趙ノ群臣及ヒ賓客ノ敢テ王ニ從フアラハ皆一族ヲ殺サント貫高客ノ孟舒等十餘人ト皆自カラ髡鉗シテ王家ノ奴ト爲リテ從ヒ來リタリ貫高至テ獄ニ對シテ曰ク獨リ吾輩之ヲ爲スノミ王實ニ之ヲ知ラサルナリト更其罪ヲ糾シテ榜笞スル丁數千鐵ヲ以テ刺剗シテ身既ニ擊ツヘキ所ナシ終ニ復タ一言ヲ吐カス

呂后數言張王以魯元公主故不宜有此。上怒曰。使張敖據天下。豈少而女乎。不聽。廷尉以貫高事辭聞。上曰。壯士誰知者。以私問之。

(少而女乎) 而ハ汝ナリ少ハ闕乏ナリ女ナシトテモ闕乏セサルヲ言フ

(壯士) 高祖貫高等ノ榜笞セラルル數千ニシテ終ニ誣服セサルヲ以テ壯士ト爲スナリ呂皇后數々言テ曰ク張王魯元公主ト妻ハシテ既ニ舅婦ノ間ナレハ宜シク此ノ事アルヘカラスト高祖大ニ怒テ曰ク張敖ヲシテ天下ニ據ラシメハ豈ニ汝ノ女ナシトテモ闕乏センヤト高祖遂ニ之ヲ許サス廷尉貫高ノ事情言辭ヲ以テ聞ス高祖曰ク是レ壯士ナリ誰レカ

之ヲ知ルモノソ私情ヲ以テ之ヲ問ヘト

中大夫泄公曰。臣之邑子。素知之。此固趙國立名義。不侵爲然。諸者也。上使泄公持節問之。復與前仰視曰。泄公邪。泄公勞苦如生平驪與語。

(爲然諾) 既ニ一旦之ヲ許諾スレハ必ラス其前言ヲ副ハシムルヲ言フ (節) 對符ノハタナリ (復與) 竹木ヲ編ミテ輿ト爲セルナリ貫高時ニ榜笞刺剗セラレテ委困スルカ故ニ

復與ヲ以テ之ヲ處クナリ 中大夫ノ泄公トイヘル人曰ク貫高ハ臣カ同邑ノ人ナレハ臣素ヨリ之ヲ知レリ此レ固ヨリ趙國ノ名義ヲ立テハ犯シ負カスシテ然諾ヲ重ニスルモノナリ高祖乃チ泄公ヲシテ節ヲ持シテ貫高ヲ問ハシム貫高復與ニ乘リテ進ム貫高時ニ榜笞刺剗セラレテ委困セルカ故ニ復與ヲ以テ之ヲ處クナリ仰テ泄公ヲ見テ曰ク泄公カト泄公其勤苦ヲ相勞問スルコト生平ノ驪ノ如ク貫高ト俱ニ語リタリ

問張王果有計謀不。高曰。人情寧不各愛其父母妻子乎。今吾三族皆以論死。豈以王易吾親哉。顧爲王實不反。獨吾等爲之。

具道本指所以爲者。王不知狀。

(皆以論死)以ハ已ト通ス論死トハ罪ヲ以テ論シテ死ニ抵ルナリ (顧念フナリ (本指)本ノ旨意ナリ

泄公問テ曰ク張王果シテ計謀アリシヤ否ヤ貫高曰ク人情寧ロ各々其父母妻子ヲ愛セサラシヤ今吾カ三族皆論死セラル豈ニ王ノ故ヲ以テ吾カ親ニ易ヘンヤ思フニ王實ニ反セス獨リ吾等之レヲ爲スカ爲メナリト具サニ其本指ノ爲ス所以ノモノ及ヒ王カ知ラサル

於是泄公入。具以報。上乃赦趙王。上賢貫高爲人能立。然諾使泄公具告之曰。張王已出。因赦貫高。貫高喜曰。吾王審出乎。泄公曰。然。

(審)タシカニト云フコナリ

是ニ於テ泄公入テ具サニ報ス高祖仍テ趙王ノ罪ナキヲ知テ之ヲ赦シタリ高祖又貫高カ人ノ爲メニ能ク然諾ヲ立ツルヲ賢ナリトシ泄公ヲシテ具サニ之ニ告ケシメテ曰ク張王既ニ赦サレタリ因テ貫高ヲ赦スト貫高大ニ喜テ曰ク吾カ王審カニ出ルカ泄公曰ク然リト

泄公曰。上多足下。故赦足下。貫高曰。所以不死。一身無餘者。白。

張王不反也。今王已出。吾責已塞。死不恨矣。且人臣有篡弑之名。何面目復事上哉。縱上不殺我。我不愧於心乎。乃仰絕脰。遂死。當此之時。名聞天下。

(多)猶重シト言フカ如シ (責)已塞塞ハ當ルナリ滿ルナリ責メ道ノフサガルチ言フ

(脰)咽喉ナリ

泄公曰ク上足下ヲ重ンス故ニ足下ヲ赦スナリ貫高曰ク吾カ死セスシテ一身刺刻セラレテ擊ツヘキ所ナキニ至ル所以ノモノハ張王ノ敢テ反セサルヲ明白ニセン爲メナリ今王既ニ赦サル吾カ責メ既ニ塞カレリ我死ストモ恨ムルコトナシ且ツ人臣トシテ篡弑ノ名アリ何ノ面目アリテ復タ上ニ事ヘンヤ縱ヒ上我ヲ殺サストモ我獨リ心ニ愧チサラシヤト仍テ自カラ仰テ脰ヲ絶テ遂ニ死ス此ノ時ニ當リテ貫高ノ名天下ニ聞ヘタリ

張敖已出。以尙魯元故。封爲宣平侯。於是上賢張王諸客。以鉗奴從張王入關。無不爲諸侯相郡守者。及孝惠高后文帝孝景時。張王客子孫皆得爲二千石。

(尙)配ナリ解ハ詳ラカニ前ニ見タリ

(鉗奴)髡鉗シテ王家ノ奴ト爲ル是レナリ

張敖既ニ赦サル其魯元公主ニ尙スルノ故ヲ以テ封セラレテ宣平侯ト爲レリ是ニ於テ高祖張王ノ諸客錯奴ト爲リテ張王ニ從テ關ニ從ヒ入ルヲ賢ナリトシ各々以テ諸侯ノ相及ヒ郡ノ守ト爲サ、ルモノナシ孝惠高后文帝孝景ノ時ニ及ヒテ張王ノ客ノ子孫皆二千石ト爲ルヲ得タリ

張敖高后六年薨子偃爲魯元王以母呂后女故呂后封爲魯元王元王弱兄弟少乃封張敖他姬子二人壽爲樂昌侯侈爲都侯

張敖ハ高后ノ六年ニ薨ス其子偃ヲ以テ魯ノ元王ト爲シタリ偃カ母ハ呂后ノ女ナルヲ以テノ故ニ呂后封シテ魯ノ元王ト爲ス元王弱クシテ兄弟少ナシ及ヒ張敖ノ他姬ノ生ム所ノ子二人ヲ封シ壽トイヘルヲ樂昌侯ト爲シ侈トイヘルヲ信都侯ト爲シタリ

高后崩諸呂無道大臣誅之而廢魯元王及樂昌侯信都侯孝文帝即位復封故魯元王偃爲南宮侯續張氏

高后崩シテ後チ諸呂氏ノ一族甚々無道ナリ大臣之ヲ誅シ仍テ魯ノ元王及ヒ樂昌侯信都侯ヲ廢シタリ孝文帝位ニ即クニ及ヒテ復々故トノ魯ノ元王偃ヲ封シテ南宮侯ト爲シテ張氏ノ後チ續カシメタリ

太史公曰張耳陳餘世傳所稱賢者其賓客厠役莫非天下俊傑所居國無不取卿相者然張耳陳餘始居約時相然信以死豈顧問哉

(然信以死)然ハ爾ルナリ然諾相信シ死スト雖ヒ顧ミサルヲ言フ (豈顧問哉)回顧再問ヲ待タスシテ其信スヘキヲ知ルヲ謂フ

張耳陳餘ノ兩人ハ世之ヲ傳ヘテ賢者ト爲セリ其賓客及ヒ厠役ニ至ルマテ皆天下ノ俊雄豪傑ニ非サルハナシ張耳陳餘兩人ハ其居ル所ノ國卿相ノ位ヲ取ラサルハナシ此レ其賢ニシテ客多キヲ以テノ故ナリ然レヒ張耳陳餘ノ兩人ハ始メ貧賤ナリシ時ハ相然信スルニ死チ以テス豈ニ回顧再問ヲ待タンヤ

及據國爭權卒相滅亡何鄉者相慕用之誠後相倍之戾也豈非以利哉名譽雖高賓客雖盛所由殆與太伯延陵季子異矣

其國ニ據リ權ヲ爭フニ及ヒテ終ニ相滅亡セリ何ソ嚮キニハ相慕用スルノ誠ニシテ後チニハ相倍クノ違ヒ戾レルヤ豈ニ利ヲ以テ交ハルノ故ニ非スヤ其名譽ハ高シト雖トモ賓客ハ多シト雖ヒ其由從スル所ハ殆ント吳ノ太伯延陵ノ季子ト異ナレルナリト吳ノ太伯延陵ノ季子ハ皆國ヲ讓リテ利ノ爲メニセサルモノナリ故ニ太史公取テ以テ相形スルナ

魏豹彭越列傳第三十

魏豹者。故魏諸公子也。其兄魏咎。故魏時。封爲寧陵君。秦滅魏。遷咎爲家人。陳勝之起王也。咎往從之。

(故魏)六國ノ時ノ魏ヲ謂フ (家人)庶人ナリ位ヲ貶シテ編戶ノ人ト爲スヲ謂フ

魏豹ハ故トノ魏ノ諸公子ナリ其兄ノ魏咎トイヘルハ故ノ魏ノ時ニ封セラレテ寧陵君ト爲リタリ秦魏ヲ滅スニ及ヒテ魏咎ヲ遷シ位ヲ貶シテ編戶ノ人ト爲ス陳勝カ兵ヲ起シテ王位ニ即クヤ魏咎往テ之ニ從ヒタリ

陳王使魏人周市徇魏地。魏地已下。欲相與立周市爲魏王。周市曰。天下昏亂。忠臣乃見。今天下共畔秦。其義必立魏王。後乃可。齊趙使車各五十乘。立周市爲魏王。市辭不受。迎魏咎於陳。五反。陳王乃遣立咎爲魏王。

陳王魏ノ人周市トイヘルヲシテ魏ノ地ヲ切り從ヘシム魏ノ地既ニ下ル依テ相俱ニ周市ヲ立テ、魏王ト爲サント欲ス周市曰ク天下昏亂ノ時忠臣ノ節義始メテ顯ハル、ヲ得ル

ナリ今天下共ニ秦ニ背ク其名義上ニ於ケル必ラス故ノ魏王ノ後ヲ立テハ可ナリト齊趙二國各々車五十乘ヲ遣リ周市ヲ立テ、魏王ト爲サシム周市辭讓シテ之ヲ受クス仍テ魏咎ヲ陳ヨリ迎ヘントス使者五タヒ往還セリ此時魏咎陳王ノ所ニ在リ故ニ陳王魏咎ヲ遣リ立テ、魏王ト爲シタリ

章邯已破陳王。乃進兵擊魏王於臨濟。魏王乃使周市出請救於齊楚。齊楚遣項宅田巴將兵隨市救魏。章邯遂擊破殺周市等軍。圍臨濟。咎爲其民約降。約定咎自燒殺。

章邯既ニ陳王ヲ打破リ仍テ兵ヲ進メテ魏王ヲ臨濟トイヘル所ニテ擊ツ魏王仍テ周市ヲシテ出テ、救ノ兵ヲ齊楚二國ニ請ハシム齊ハ仍テ田巴ヲ遣リ楚ハ仍テ項宅ヲ遣リ各々兵ヲ率ヒテ周市ニ隨テ魏ヲ救ハシム章邯遂ニ大ニ擊チ破リテ周市等ノ軍ヲ殺シ臨濟ヲ取圍ミタリ魏王咎其人民ノ爲メニ章邯ト誓ヲ爲シテ降參チ約束シ約束既ニ取定マレリ魏王咎仍テ自カラ火中ニ入りテ自殺シタリ蓋シ但其人民ヲ全フセント欲シテ其身自カラ降ラサルナリ

魏豹亡走楚。楚懷王子魏豹數千人。復徇魏地。項羽已破秦。降章邯。豹下魏二十餘城。立豹爲魏王。豹引精兵從項羽入關。

此時魏豹亡ケテ楚ニ走レリ楚ノ懷王魏豹ニ數千人ヲ與ヘテ復々魏ノ地ヲ切り從ヘシム
項羽既ニ秦ヲ破リテ章邯ヲ降セリ魏豹魏ノ二十餘城ヲ下ス項羽仍テ魏豹ヲ立テ魏王
ト爲ス魏豹精兵ヲ引テ項羽ニ從テ關ニ攻メ入レリ

漢元年項羽封諸侯欲有梁地乃徙魏王豹於河東都平陽爲
西魏王漢王還定三秦渡臨晉魏王豹以國屬焉遂從擊楚於
彭城

漢ノ元年項羽諸侯ヲ封シテ自ラ梁ノ地ヲ有タント欲ス仍テ魏王豹ヲ河東ニ徙シテ平陽
トイヘル所ニ都セシメテ西魏王ト爲シタリ漢王還テ三秦ヲ定メ臨晉ヲ渡レル時魏王豹
國ヲ以テ漢王ニ屬ス遂ニ漢王ニ從テ楚ノ軍ヲ彭城ニテ撃チタリ

漢敗還至滎陽豹請歸視親病至國即絕河津畔漢漢王聞魏
豹反方東憂楚未及擊謂酈生日緩頰往說魏豹能下之吾以
萬戶封若

(緩頰)徐カニ言フテ譬ヲ引テ喻スヲ謂フ

漢ノ軍大ニ楚ノ爲メニ敗ラレテ還テ滎陽トイヘル所ニ至レル時魏豹國ニ歸テ母ノ病ヲ

省セント請フ既ニ國ニ至レハ即チ河津ヲ絶チテ漢ニ背キタリ漢王魏豹カ反スト聞ク然
レモ今方ニ東ノ方楚ヲ憂フルカ故ニ未タ魏豹ヲ撃ツニ及ハス仍テ酈生食其トイヘル人
ニ謂テ曰ク汝緩頰シテ往テ魏豹ニ說テ之ヲ下サハ吾万戸ヲ以テ汝ヲ封セント

酈生說豹豹謝曰人生一世間如白駒過隙耳今漢王慢而侮
人罵詈諸侯群臣如罵奴耳非有上下禮節也吾不忍復見也

(如白駒過隙)白駒ハ馬ナリ隙ハ壁隙ナリ人間一生ヲ送ル其速カナルヲ馬ノ壁ノ隙ヲ
過クルカ如キヲ謂フ

酈生往テ魏豹ニ說テ之ヲ下サントス魏豹謝シテ曰ク人生一世ノ間ハ其速カナルヲ白駒
ノ壁隙ヲ過クルカ如キノミ今漢王人ヲ慢易シテ侮辱シ諸侯及ヒ群臣ヲ罵詈スルヲ奴僕
ノ輩ヲ罵ルカ如キノミ上下ノ禮節アルニ非サルナリ吾復々之ヲ見ルニ忍ヒスト

於是漢王遣韓信擊虜豹於河東傳詣滎陽以豹國爲郡漢王
令豹守滎陽楚圍之急周苛遂殺魏豹

是ニ於テ魏豹終ニ下ラサルカ故ニ漢王怒テ韓信ヲ遣リ撃テ魏豹ヲ河東ニテ擒ニシ傳ヘ
テ滎陽ニ至リタリ此時漢王滎陽ニ在ルカ故ナリ仍テ魏豹ノ國ヲ以テ郡ト爲ス漢王又魏
豹ヲシテ滎陽ヲ守ラシム楚ノ軍滎陽ヲ取圍ムト甚々急ナリ此時周苛トイヘル人謂テ曰

ク反國ノ王ハ與ニ守リ難シト遂ニ魏豹ヲ殺シタリ

彭越者昌邑人也。字仲常。漁鉅野澤中。爲群盜。陳勝項梁之起。少年或謂越曰。諸豪傑相立。畔秦。仲可以來亦效之。彭越曰。兩龍方鬪。且待之。

(常漁鉅野澤中。常ハ嘗ト通ス漁ハスナドルナリ鉅ハ大ナリ (兩龍) 秦ト陳勝トヲ謂フ)

彭越ハ昌邑ノ人ナリ字ハ仲ト云フ嘗テ鉅野ノ澤中ニ漁シタリ陳勝項梁カ起ル時ニ少年或ハ彭越ニ謂テ曰ク今諸豪傑相立テ秦ニ背ク仲モ亦來テ之ニ效フヘシ彭越曰ク今兩龍方ニ鬪フ姑ラク待タント

居歲餘。澤間少年相聚百餘人。往從彭越。曰。請仲爲長。謝曰。臣不願與諸君。少年彊請。乃許。與期。旦日日出會。後期者斬。旦日日出。十餘人後。後者至日中。

(旦日) 明日ノ朝、日ノ出ル時ヲ謂フ
一歲餘ヲ過キテ大澤中ノ惡少年相聚マルコ百餘人皆往テ彭越ニ從テ曰ク請フ仲吾カ長

ト爲レト彭越之ヲ辭謝シテ曰ク臣諸君ト與ミシテ之レカ長ト爲ルヲ願ハスト少年皆彊ヒテ之ヲ請フ彭越遂ニ之ヲ許シタリ依テ與ニ期シテ曰ク旦日日出ニ會セヨ日限ニ後ルハモノハ斬ラント且日日出ノ時ニ十餘人日限ニ後レ其尤モ後ルハモノハ日中ノ時ニ至リタリ

於是越謝曰。臣老。諸君彊以爲長。今期而多後。不可盡誅。誅最
後者一人。令校長斬之。皆笑曰。何至是。請後不敢。於是越乃引
一人斬之。設壇祭。乃令徒屬。徒屬皆大驚。畏越莫敢仰視。乃行
畧地。收諸侯散卒得千餘人。

彭越仍テ之ヲ謝シテ曰ク臣年老ヒタリ然ルニ諸君強ヒテ臣ヲ以テ長ト爲ス今日限ヲ取定メテ多ク後クル悉ク之ヲ誅スヘカラス其最モ後ルハモノ一人ヲ誅セント一校ノ長ヲシテ之ヲ斬ラシメタリ少年皆笑テ曰ク何ソ是ニ至ラン請フ後チ敢テ日限ニ違ハスト是ニ於テ彭越一人ヲ引テ之ヲ斬リ壇ヲ設ケテ祭ヲ爲シ仍テ號令ヲ其徒屬ニ出セリ徒屬皆大ニ驚キ彭越ヲ畏懼シテ敢テ仰キ視ルナシ仍テ行ク一ノ地ヲ切り從ヘ諸侯ノ散卒ヲ收メテ千餘人ヲ得タリ

沛公之從。碭北擊昌邑。彭越助之。昌邑未下。沛公引兵西。彭越

亦將其衆居鉅野中。收魏散卒。項籍入關。王諸侯還歸。彭越衆萬餘人。母所屬。

沛公カ碭トイヘル所ヨリ北ノ方昌邑ヲ擊ツ時ニ彭越之ヲ助ク昌邑未タ下ラサル中ニ沛公兵ヲ引テ西ニ向ヘリ彭越モ亦其衆ヲ率ヒテ鉅野ノ中ニ居リテ魏ノ散卒ヲ收メタリ項籍函谷關ニ攻メ入テ諸侯ヲ王ト爲シ各々之ヲ其國ニ歸ヘス此時彭越ノ衆一万余人屬スル所ナシ

漢元年秋。齊王田榮畔。項王漢乃使人賜彭越將軍印。使下濟陰。以擊楚。楚命蕭公角將兵擊越。越大破楚軍。

(蕭公角)蕭ハ楚ノ縣ノ名ナリ縣令ヲ公ト稱ス角ハ其名ナリ

漢ノ元年ノ秋齊王田榮項王ニ背キ仍テ人ヲシテ彭越ニ將軍ノ印ヲ賜ハシメ(本文ノ漢ノ字衍ナリ)彭越ニ將軍ノ印ヲ賜ヒタルハ齊王田榮ナリ漢ニ非ス項羽高祖ノ本紀ニ見ヘタリ)濟陰トイヘル所ヨリ下リテ楚ヲ擊タシム楚蕭公角トイヘル人ニ命シテ兵ニ將トシテ彭越ヲ擊タシム彭越大ニ楚ノ軍ヲ打破リタリ

漢王二年春。與魏王豹及諸侯東擊楚。彭越將其兵三萬餘人。歸漢於外黃。漢王曰。彭將軍收魏地。得十餘城。欲急立魏後。今

西魏王豹亦魏王咎從弟也。真魏後。乃拜彭越爲魏相國。擅將其兵。略定梁地。漢王敗彭城。解而西也。彭越皆復亡其所下城。獨將其兵北居河上。

(從弟)イトコナリ

漢王ノ二年ノ春魏王豹及ヒ諸侯ト東ノ方楚ヲ擊ツ彭越其兵三万餘人ヲ率ヒテ外黄ノ地ニ於テ漢ニ來歸シタリ漢王曰ク彭將軍ハ魏ノ地ヲ取収メ十餘城ヲ得テ急ニ魏ノ後ヲ立テント欲ス今西魏王豹モ亦魏王咎ノ從弟ニシテ眞ノ魏ノ後ナリト仍テ彭越ヲ拜シテ魏ノ相國ト爲シ擅マニ其兵ヲ將井テ梁ノ地ヲ略定セシメタリ漢王カ彭城ニ敗レ解ケテ西ニ向フヤ彭越皆復タ其下セシ所ノ城ヲ亡ヒ獨リ其兵ヲ將井テ北ノ方河上ノ地ニ居レリ

漢王三年。彭越常往來爲漢游兵。擊楚。絕其後糧於梁地。漢四年冬。項王與漢王相距滎陽。彭越攻下睢陽外黃十七城。項王聞之。乃使曹咎守城。臯自東收彭越所下城邑。皆復爲楚。越將其兵北走穀城。

(後糧)後ニ餽クル所ノ兵糧ヲ謂フ

漢王ノ三年彭越常ニ往來シテ漢ノ游兵ト爲リ楚ヲ撃テ其後糧ヲ梁ノ地ニテ絶チタリ漢ノ四年ノ冬項王漢王ト梁陽ニテ相拒ケリ彭越睢陽外黃ノ十七城ヲ下ス項王之ヲ聞テ仍テ曹咎トイヘル人ヲシテ城阜ヲ守ラシメ自カラ東ノ方彭越カ下ス所ノ城邑ヲ取收ム諸城邑皆復々楚ノ爲メニス彭越仍テ其兵ヲ將并テ北ノ方穀城トイヘル所ニ亡ケ走リタリ漢五年秋項王之南走陽夏彭越復下昌邑旁二十餘城得穀十餘万斛以給漢王食漢王敗使使召彭越并力撃楚越曰魏地初定尙畏楚未可去

漢王ノ五年ノ秋項王カ南ノ方陽夏トイヘル所ニ亡ケ走ルヤ彭越復々昌邑ノ近傍ノ二十餘城ヲ下シ十餘万斛ノ穀ヲ得テ漢王ノ糧食ニ給シタリ漢王ノ敗ルハ使者ヲシテ彭越ヲ召シ力ヲ并セテ楚ヲ撃タシメントス漢王ノ敗ルトハ項王ヲ追フテ固陵ニ敗ラルハ言フナリ今此文ニ曰ク漢王敗ト又曰ク所敗固陵ト二ツノ敗ルハモノ恐ラクハ一ノ誤リアルニ似タリ彭越曰ク今魏ノ地初メテ取定マリテ猶楚ヲ畏ルレハ未タ魏ノ地ヲ離レ去ルヘカラスト

漢王追楚爲項籍所敗固陵謂留侯曰諸侯兵不從爲之奈何留侯曰齊王信之立非君王之意信亦不自堅彭越本定梁地

功多始君王以魏豹故拜彭越爲魏相國今豹死母後且越亦欲王而君王不蚤定與此兩國約即勝楚

漢王楚ノ軍ヲ追ヒテ項羽ノ爲メニ固陵ニ於テ打破ラレタリ仍テ留侯張梁ニ謂テ曰ク諸侯ノ兵我ニ從ハス之ヲ爲スナク奈何留侯曰ク齊王韓信ノ立ツハ君王ノ意ニ非ス韓信亦自カラ堅フセス韓信ノ傳ヲ考ヘ見ルヘシ彭越本ト梁ノ地ヲ取定メテ其功甚々多シ始メ君王魏豹ノ故ヲ以テ彭越ヲ拜命シテ魏ノ相國ト爲シタリ今魏豹死シテ後ナシ且ツ彭越モ亦王タラント欲シテ君王早ク之レヲ定メス今齊魏兩國ト約束セハ楚ニ勝ツヲ得ヘシ

睢陽以北至穀城皆以王彭相國從陳以東傅海與齊王信齊王信家在楚此其意欲復得故邑君王能出捐此地許二人二人今可致即不能事不可知也於是漢王乃發使使彭越如留侯策使者至彭越乃悉引兵會垓下遂破楚

睢陽ヨリ北ノ方穀城ニ至ルマテ皆彭相國ニ與ヘテ王トセン陳ヨリ東ノ方海ニ傅クマテ齊王信ニ與ヘント約束スヘシ齊王信ノ家ハ楚ノ國ニ在リ此レ其意復々故邑ヲ得ント欲スルナリ君王能ク此地ヲ出シ棄テ二人ニ許シ與ヘヨ二人今立トコロニ招キ致スヘシ

若シ能ハサレハ事未タ知ルヘカラスト是ニ於テ漢王使者ヲ發シテ彭城ニ使ヒセシメテ留侯張梁ノ教ヘシ策ノ如クセリ使者至レハ彭越立トコロニ悉ク兵ヲ引テ垓下トイヘル所ニ會シテ遂ニ楚ヲ打破リタリ

五年項籍已死。春立彭越爲梁王。都定陶。六年朝陳。九年十年皆來朝長安。

漢ノ五年項籍既ニ死ス其春ニ彭越ヲ立テ、梁王ト爲シ定陶ニ都ヲ構ヘタリ漢ノ六年高祖諸侯ヲ陳ニ會シテ韓信ヲ執フ此時彭越モ亦陳ニ朝シタリ九年十年ハ皆長安ニ來朝シタリ

十年秋陳豨反代地高帝自往擊至邯鄲徵兵梁王梁王稱病使將將兵詣邯鄲高帝怒使人讓梁王梁王恐欲自往謝其將扈輒曰王始不往見讓而往往則爲禽矣不如遂發兵反梁王不聽稱病。

十年ノ秋陳豨トイヘル人代ノ地ニテ反ス高帝自カラ往キ擊テ邯鄲ニ至ル兵ヲ梁王彭越ヨリ徵サレタリ梁王彭越病ト稱シ別ニ將ヲシテ兵ヲ將非テ邯鄲ニ至ラシム高帝大ニ怒

テ人ヲシテ梁王ヲ責メシム梁王大ニ恐レ自カラ往テ罪ヲ謝セント欲ス其將扈輒曰ク王始メ往カス今責メラレテ後ニ往ク往カハ必ラス擒ニセラレン寧ロ遂ニ兵ヲ發シテ反スルニ如カスト梁王遂ニ使者ノ言ヲ聽キ納レス堅ク病ト稱シテ往カス
梁王怒其太僕欲斬之太僕亡走漢告梁王與扈輒謀反於是上使使掩梁王梁王不覺捕梁王囚之雒陽有司治反形已具請論如法上赦以爲庶人傳處蜀青衣

(掩其不意ニ出テ、捕フルヲ言フ) (反形已具) 扈輒彭越ニ謀反ヲ勸メテ彭越扈輒ヲ誅

セス是レ反形ノ既ニ具ハルナリ
此時梁王ノ太僕罪アリ梁王怒テ之ヲ斬ラント欲ス太僕亡ケテ漢ニ走リ梁王カ扈輒ト俱ニ謀反スル由ヲ告ク是ニ於テ高祖使者ヲシテ梁王ノ不意ニ出テ、捕ヘシム梁王其兵ノ來リ捕フヲ知ラサレハ容易ニ捕ハレニ就キタリ使者遂ニ梁王ヲ捕ヘテ之ヲ雒陽ニ囚ヘ有司其罪ヲ糾ス反形既ニ具ハレリ有司仍テ請フテ曰ク法ノ如クセント高祖彭越ヲ赦シテ庶人ト爲シ傳ヘテ蜀ノ青衣トイヘル所ニ處ラシメタリ

西至鄭逢呂后從長安來欲之雒陽道見彭王彭王爲呂后泣涕自言無罪願處故昌邑呂后許諾與俱東至雒陽

彭越西ノ方鄭ニ至ル呂后カ長安ヨリ來リテ雒陽ニ往カント欲スルニ逢フ途中ニシテ彭王ヲ見タリ彭王呂后ノ爲メニ泣涕シテ自カラ其罪ナキヲ言フ願クハ故ノ昌邑ニ處ラント呂后之ヲ許諾シテ與ニ俱ニ東ノ方雒陽ニ至リタリ

呂后白上曰。彭王壯士。今徙之蜀。此自遺患。不如遂誅之。妾謹與俱來。於是呂后乃令其舍人告彭越復謀反。廷尉王恬開奏請族之。上乃可。遂夷越宗族。國除。

呂后高祖ニ白シテ曰ク彭王ハ壯士ナリ今之ヲ蜀ニ徙サハ此レ自カラ他日ノ患ヲ遺スナリ遂ニ之ヲ誅スルニ如カス妾謹ンテ與ニ俱ニ來リタリト是ニ於テ呂后其舍人ヲシテ彭越カ復タ謀反スト告ケシム廷尉ノ王恬開トイヘル人奏上シテ彭越ノ一族ヲ誅セント請フ高祖之ヲ許ス遂ニ彭越ノ宗族ヲ夷ケ殺シテ國除キタリ

太史公曰。魏豹彭越雖故賤。然已席卷千里。南面稱孤。喋血乘勝。日有聞矣。懷畔逆之意。及敗不死而虜囚。身被刑戮。何哉。中材已上。且羞其行。況王者乎。彼無異故。智略絕人。獨患無身耳。得攝尺寸之柄。其雲蒸龍變。欲有所會。其度以故幽囚而不辭。

云。

(席卷)其取ルノ易キ席ヲ卷クカ如キヲ謂フ (南面稱孤)魏豹ハ魏王ト爲リ彭越ハ梁王ニ封セラル故ニ南面シテ孤ト稱スト云フナリ (喋血)喋ハ猶踐ムノ如シ敵ヲ殺シ血ヲ踐テ行クナリ (攝尺寸之柄)攝ハ持ツナリ僅カノ權柄ヲ握ルヲ謂フ (雲蒸龍變)

雲蒸ハ衆ノ附クニ喻フルナリ龍變ハ身ノ與ルニ喻フルナリ (欲有所會)會スル所トハ其機會ニ投スルヲ謂フ下ノ其度ノ二字ヲ以テ上ニ屬シテ讀ムハ非ナリ

魏豹彭越ノ兩人ハ其身舊ト賤シト雖也魏豹ハ初メ亡命シテ楚ニ走リ彭越ハ初メ鉅野澤中ニ群盜ヲ爲セリ故ニ故ト賤シト云フナリ然也其勢既ニ魏ノ千里ノ地ヲ席卷シ南面ノ位ニ就テ孤ト稱シタリ血ヲ喋ミ勝ニ乘シテ其功名日ニ聞ユルアリ而ルニ兩人畔逆ノ意ヲ懷キ其事敗ルハ及ヒテ身反テ死セスシテ囚虜ト爲リ終ニ刑戮セラルトハ何ソヤ惟賤下ノ材ニ至テハ方サニ辱シメテ受ケテ媿ヲ知ラスト雖也中材以上ノ人ハ皆其行ヲ耻チテ未タ自カラ引決セサルモノアラス況ンヤ南面シテ孤ト稱スル所ノ王者ニシテ死セスシテ囚ハレニ就ク是レ曾テ中材ニ及サルナリ此レ彼レ他ノ故ナシ其智略衆人ニ超絶シテ其身ナキヲ患フルノミ身アレハ則チ必ラスシモ高位ヲ得サレ也皆爲スアルヘシ是レ智略ノ人ニ絶スルヲ以テノ故ナリ彼レ尺寸ノ柄ヲ攝スルヲ得テ雲蒸龍變シテ其機會ニ投スル所アラント欲ス其レ度ルニ此ノ故ヲ以テ自カラ幽囚セラレテ此身ヲ留ムルヲ冀フテ辭セスト云フ

鯨布列傳第三十一

鯨布者。六人也。姓英氏。秦時爲布衣。少年有客相之。曰。當刑而王。及壯。坐法。鯨布欣然笑曰。人相我。當刑而王。幾是乎。人有聞者。共俳笑之。

(鯨布)嘗テ鯨セラレタルヲ以テ改メテ鯨布トイヘルナリ

(幾)豈ト爲シテ讀ムヘシ

(俳笑)俳優輩ヲ以テ之レヲ笑フナリ

鯨布ハ六縣ノ人ニシテ姓ハ英氏ナリ。秦ノ時ニ布衣タリ。其少年ノ時客アリテ其形貌ヲ相シテ曰ク。當サニ刑セラレテ後チニ王タルヘシト既ニシテ年壯ナルニ及ヒテ罪ヲ被フリテ鯨セラル英布欣然トシテ笑テ曰ク。客我ヲ相スルアリテ曰ク。當サニ刑セラレテ後チニ王タルヘシト豈ニ是レカト人ノヲ聞クモノアリテ共ニ俳優輩ヲ以テ之ヲ笑ヒタリ。

布已論輸麗山。麗山之徒數十萬人。布皆與其徒長豪傑交通。迺率其曹遇亡之江中。爲群盜。

(輸麗山)輸ハ送ルナリ。徒罪ヲ送リテ役作ニ供スルヲ言フ。麗ハ一ニ屬ニ作ル。麗山ハ秦王ノ陵ヲ作ルナリ。

(曹偶)曹ハ輩ナリ。偶ハ類ナリ。徒輩ノ類ヲ謂フ。

英布既ニ罪アリテ論決セラレテ麗山ニ輸作シタリ。麗山ニ輸作スルノ徒數十万人アリ。英

布皆其徒ノ長及ヒ豪傑ト相交通セリ。仍テ其曹偶ヲ率ヒテ亡ケ走リテ江中ニ之テ群盜ヲ爲シタリ。

陳勝之起也。布迺見番君。與其衆叛秦。聚兵數千人。番君以其女妻之。章邯之滅陳勝。破呂臣軍。布乃引兵北擊秦。左右校破之。清波引兵而東。

(涉江)涉ルトハ舟楫ナクシテ渡ルヲ言フ

陳勝カ兵ヲ擧ケテ起ル時ニ英布番君ヲ見タリ。番君ハ番陽ノ令吳芮トイヘル人ナリ。其衆ト俱ニ秦ニ背キテ兵數千人ヲ聚メタリ。番君吳芮其女ヲ以テ英布ニ妻ハセリ。章邯カ陳勝ヲ滅シ呂臣ノ軍ヲ打破ル時ニ英布兵ヲ引テ北ノ方秦ノ左右校ヲ擊テ之ヲ清波トイヘル所ニテ打破リ兵ヲ引テ東ノ方ニ向ヒタリ。

聞項梁定江東會稽。涉江而西。陳嬰以項氏世爲楚將。迺以兵屬項梁。渡淮南。英布蒲將軍亦以兵屬項梁。

英布項梁カ江東會稽ヲ定メ江水ヲ涉リテ西ノ方ニ向フト聞ク陳嬰項氏カ世々楚ノ將タルヲ以テ項梁ニ屬シ淮南ヲ渡ル英布及ヒ蒲將軍モ亦兵ヲ以テ項梁ニ屬シタリ。

項梁涉淮而西。擊景駒、秦嘉等。布常冠軍。項梁至薛。聞陳王定死。廼立楚懷王。項梁號爲武信君。英布爲當陽君。

(冠軍)其驍勇ナルヲ常ニ衆軍ノ最タルヲ謂フ

項梁淮水ヲ涉リ西ニ向ヒテ秦ノ將景駒、秦嘉等ヲ擊ツ。英布常ニ衆軍ニ冠タリ。項梁薛ニ至リシ時ニ陳王定メテ死スト聞テ楚ノ懷王ヲ立ツ。項梁自カラ號シテ武信君ト爲リ。英布ヲ當陽君ト爲シタリ。

項梁敗死。定陶懷王徙都彭城。諸將英布亦皆保聚彭城。當是時。秦急圍趙。趙數使人請救。懷王使宋義爲上將。范增爲末將。項籍爲次將。英布、蒲將軍皆爲將軍。悉屬宋義。北救趙。

(保聚)保守シテ兵ヲ聚ムルヲ言フ

項梁大ニ敗レテ定陶ニテ死セリ。懷王仍テ彭城ニ都ヲ徙ス。諸將及ヒ英布モ亦皆彭城ニ保聚セリ。是ノ時ニ當リテ秦急ニ趙ヲ取圍ム。趙數々人ヲシテ救ヒノ兵ヲ請ハシム。懷王、宋義ヲシテ上將タラシメ、范增ヲ末將ト爲シ、項籍ヲ次將ト爲ス。英布、蒲將軍モ亦皆將軍ト爲リ。悉ク上將宋義ニ屬シ、北ノ方趙ヲ救ヒタリ。

及項籍殺宋義於河上。懷王因立籍爲上將軍。諸將皆屬項籍。

項籍使布先涉河。擊秦。布數有利。籍廼悉引兵涉河。從之。遂破秦軍。降章邯等。楚兵常勝。功冠諸侯。諸侯兵皆以服屬楚者。以布數以少敗衆也。

項籍カ宋義ヲ河上ニ於テ殺スニ及ヒ懷王因テ項籍ヲ立テ、上將軍ト爲ス。諸將皆項籍ニ屬シタリ。項籍英布ヲシテ先ツ河水ヲ涉リテ秦ヲ擊タシム。英布數々利アリ。項籍仍テ悉ク兵ヲ引テ河ヲ涉リテ之ニ從ヒ、遂ニ秦ノ軍ヲ打破リテ章邯等ヲ降シタリ。此時楚ノ兵常ニ勝チテ其功諸侯ノ最タリ。諸侯ノ兵皆楚ニ服屬セシ。ハ英布カ數々少兵ヲ以テ秦ノ衆兵ヲ敗リシヲ以テナリ。

項籍之引兵西至新安。又使布等夜擊坑章邯秦卒二十餘萬人。至關不得入。又使布等先從間道破關。下軍遂得入。至咸陽。布常爲軍鋒。項籍封諸將。立布爲九江王。都六。

(間道)間ハ空ナリ空隙ニ投シテ行クナリ公顯ナラサルナリ即チ振ケ道ノヲナリ

(軍

鋒)軍ノ前列ナリ即チ先手ノヲナリ
項籍カ兵ヲ引テ西ノ方新安ニ至ル時ニ又英布等ヲシテ夜之ヲ擊テ章邯カ率ユル秦ノ卒二十餘万人ヲ坑殺セシム。函谷關ニ至リテ入ルヲ得ス。又英布等ヲシテ先ツ間道ヨリ關下

ノ軍ヲ打破ラシメ遂ニ入テ咸陽ニ至ルヲ得タリ英布常ニ軍ノ先鋒ト爲リタリ項王諸將ヲ封スルニ及ヒテ英布ヲ立テ九江王ト爲シテ都ヲ六ニ據ヘシム

漢元年四月諸侯皆罷戲下各就國項氏立懷王爲義帝徙都長沙廼陰令九江王布等行擊之其八月布使將擊義帝追殺之郴縣

(戲下)戲ハ麾ト音チ以テ通ス是ヨリ先キ諸侯項羽ニ從テ關ニ入ル者各々其軍ヲ帥ヒテ命ヲ項羽ニ聽ケリ今既ニ封爵ヲ受ケテ各々國ニ就カシム故ニ總テ戲下ヨリ罷ムト言フナリ

漢ノ元年四月諸侯皆麾下ヨリ罷メテ各々國ニ往キタリ項氏仍テ懷王ヲ立テ義帝ト爲シ徙シテ都ヲ長沙ニ據ヘシム仍テ陰カニ九江王英布等ヲシテ行テ義帝ヲ擊タシム其八月英布將ヲシテ義帝ヲ擊タシメテ之ヲ郴縣ニテ追殺シタリ

漢二年齊王田榮畔楚項王往擊齊徵兵九江九江王布稱病不往遣將將數千人行漢之敗楚彭城布又稱病不佐楚項王由此怨布數使使者謂讓召布布愈恐不敢往項王方北憂齊

趙西患漢所與者獨九江王又多布材欲親用之以故未擊

(謂讓)セメセムルナリ (多布材)多ハ猶重ンスト云フカ如シ材ハハタラキナリ 漢ノ二年齊王田榮楚ニ背ク項王自カラ往テ齊ヲ擊テ兵チ九江王ヨリ徵ス九江王英布病ト稱シテ往カス將ヲ遣リテ數千人ヲ將井テ行カシメタリ漢ノ楚チ彭城ニ敗ル時ニ英布又病ト稱シテ楚チ助ケス項王此ニ由テ大ニ英布チ怨ミ數々使者ヲ遣リテ謂讓シテ英布チ召サシム英布愈々恐レテ敢テ往カス項王此時方ニ北ノ方齊趙二國チ憂ヘ西ノ方漢チ患フ其與ミスル所ノモノハ獨リ九江王ノミ又英布ノ材能チ重ンシテ之チ親ミ用井ント欲ス故チ以テ未タ之チ擊タサルナリ

漢三年漢王擊楚大戰彭城不利出梁地至虞謂左右曰如彼等者無足與計天下事謁者隨何進曰不審陛下所謂漢王曰孰能爲我使淮南令之發兵倍楚留項王於齊數月我之取天下可以百全

漢ノ三年漢王楚チ擊テ大ニ戰フテ利アラズ(本文彭城ノ二字ハ疑ラクハ衍文ナリ)梁ノ地チ出テ、虞トイヘル所ニ至ル左右ノ人ニ謂テ曰ク彼等ノ如キモノハ與ニ天下ノ事チ謀ルニ足ルナシ謁者隨何進ンテ曰ク陛下ノ謂フ所ノ意チ審カニセス漢王曰ク孰レカ能ク

我カ爲メニ淮南ニ使ヒシ鯨布ヲシテ兵ヲ發シテ楚ニ背カシメン之ヲシテ項王ヲ齊ノ地ニ留ムルヲ數月ノ間ナラハ我ノ天下ヲ取ルヲ百全ナルヘシ

隨何曰。臣請使之。廼與二十人俱使淮南。至。因太宰主之。

(因太宰主之)太宰ハ膳食ヲ掌トルノ官ナリ主ハ舍スルナリ凡ソ信使國ニ入レハ必ラス人ヲシテ之レカ主ト爲ラシム時ニ英布太宰ヲシテ隨何ヲ舍主セシムルナリ
隨何曰ク臣請フ淮南ニ使ヒセント乃チ二十人ト俱ニ淮南ニ使ヒス既ニ淮南ニ至リテ太宰ニ因テ之ヲ主トシタリ

三日不得見。隨何因說太宰曰。王之不見何。必以楚爲彊。以漢爲弱。此臣之所以爲使。使何得見言之。而是邪。是大王所欲聞也。言之而非邪。使何等二十人。伏斧質淮南市。以明王倍漢而與楚也。

(伏斧質淮南市)質ハ質ト同シ剗刃ナリ斧質ニ伏ストハ斧質ノ上ニ伏シテ之ヲ腰斬スルヲ謂フ

隨何淮南ニ至リテ三日ヲ過キタレハ猶見ルヲ得ス因テ太宰ニ說テ曰ク王カ何ヲ見サルハ必ラス楚ヲ以テ強シト爲シ漢ヲ以テ弱シト爲スナラン此レ正ニ臣カ爲メニ使ヒシテ

言ハント欲スル所ナリ願クハ何ヲシテ見ルヲ得セシメヨ之ヲ言フテ是ナラハ此レ大王ノ聞カント欲スル所ナリ之ヲ言フテ非ナラハ何等二十人ヲシテ斧質ニ淮南ノ市ニテ伏セシメ王カ漢ニ背テ楚ニ與ミスルヲ明白ニセヨ
太宰廼言之。王見之。隨何曰。漢王使臣敬進書。大王御者竊怪。大王與楚何親也。

(御者)猶執事ト言フカ如シ

太宰乃チ之ヲ王ニ言フ王隨何ヲ見タリ隨何曰ク漢王臣ヲシテ敬ミテ書ヲ大王ノ御者ニ進メシム竊カニ怪ム大王楚ト何ノ親カアルト時ニ齊趙皆楚ニ叛キ彭越モ亦梁ノ地ニ反ス故ニ英布カ獨リ楚ト親ムヲ以テ怪ムヲ爲スナリ

淮南王曰。寡人北鄉而臣事之。隨何曰。大王與項王俱列爲諸侯。北鄉而臣事之。必以楚爲彊。可以託國也。項王伐齊。身負板築。以爲士卒先。大王宜悉淮南之衆。身自將之爲楚軍前鋒。今廼發四千人以助楚。夫北面而臣事人者。固若是乎。

(身負板築)板ハ牆板ナリ築ハ杵ナリ此レ軍中ノノ要具ナリ凡ソ牆ヲ築クニハ橫直ハ

輔クルニ板ヲ以テシテ其間ヲ構クナリ

淮南王曰ク楚ハ己レヲ立テ、九江王ト爲スヲ以テ寡人北嚮シテ楚ニ臣トシ事フ但親厚スルノミニ非サルナリ隨何曰ク大王項王ト俱ニ列シテ諸侯タリ今北嚮シテ之ニ臣トシ事ヘハ必ラス楚ヲ以テ強ク盛ンニシテ長ク國ヲ託スヘシト爲セハナリ項王カ齊ノ田榮ヲ伐ツヤ身ニ板築ヲ負ヒテ士卒ノ先キト爲レリ大王宜シク盡ク淮南ノ衆ヲ出シ身自カラ之ニ將トシテ楚ノ軍ノ前鋒ト爲ルヘシ今乃チ四千人之兵ヲ發シテ楚ヲ助ク北面シテ人ニ臣トシ事フルモノハ固トニ此ノ如クナランヤ此ノ如クンハ王ノ楚ニ臣トシ事フルハ是レ空名ニ過キサルナリ

夫漢王戰於彭城項王未出齊也大王宜騷淮南之兵渡淮日夜會戰彭城下大王撫萬人之衆無一人渡淮者垂拱而觀其孰勝

(未出齊)齊ヲ擊テ未ダ歸ラサルヲ言フ

(騷)掃ト通ス淮南ノ兵ヲ掃フトハ悉ク淮南ノ

兵ヲ擧ケテ地ヲ掃フカ如キヲ謂フ

(會戰)合戰ナリ

(垂拱)衣ヲ垂レ手ヲ拱クナリ

其搖動セサルヲ謂フ

漢王カ楚ノ都ノ彭城ニテ戰フヤ項王未ダ齊ヲ出テサルナリ大王宜シク悉ク淮南ノ兵ヲ繰リ出シ淮水ヲ渡リテ日夜漢王ト彭城ノ下ニ合戰スヘシ大王万人ノ大衆ヲカ、ヘテ一

人ノ淮水ヲ渡ルモノナシ垂拱シテ其孰レカ成リ孰レカ敗ルヲ觀望セリ

夫託國於人者固若是乎大王提空名以嚮楚而欲厚自託臣

竊爲大王不取也然而大王不背楚者以漢爲弱也

夫レ國ヲ他人ニ託スルモノハ固トニ此ノ如クナランヤ大王ノ楚ニ臣トシ事フルハ是レ空名ニ過キサルナリ大王空名ヲ提ケテ楚ニ嚮ヒ厚ク自カラ之レニ託セント欲ス竊カニ大王ノ爲メニ取ラサルナリ(此レ人ニ薄フシテ人ノ己レニ厚キヲ欲ス其勢得ヘカラサルヲ謂フナリ)然リ而シテ大王楚ニ背カサルモノハ楚ヲ以テ強シト爲シ漢ヲ以テ弱シト爲セハナリ

夫楚兵雖彊天下負之以不義之名以其背盟約而殺義帝也

(負)猶被ラシムト言フカ如シ

(盟約)

秦ヲ攻ムルニ當リ義帝約ヲ爲シテ先ツ關ニ入

ルモノハ王タラント言ヒシヲ謂フナリ詳ラカニ項羽本紀ニ見ヘタリ
夫レ楚ノ兵ハ強シト雖也天下ノ人不義ノ名ヲ以テ其身ニ被ラシメタリ此レ其盟約ニ背テ義帝ヲ殺スヲ以テナリ

然而楚王恃戰勝自彊漢王收諸侯還守成臯滎陽下蜀漢之粟深溝壁壘分卒守徼乘塞楚人還兵間以梁地深入敵國八

九百里。欲戰則不得。攻城則力不能。老弱轉糧千里之外。楚兵至滎陽成臯。漢堅守而不動。進則不得攻。退則不得解。故曰。楚兵不足恃也。

(徼邊境亭部ヲ謂フ徼ハ繞ナリ邊陲ヲ徼繞シテ常ニ之ヲ守ルヲ謂フ (乘塞) 乘ハ登ルナリ塞ハ邊界ナリ塞垣ニ登リテ之ヲ守ルヲ謂フ (不能) 能ハ耐ト通ス

然リ而シテ楚王戰ヒ屢々勝利アルヲ恃ミテ自カラ強シト爲ス漢王諸侯ヲ取收メテ還テ成臯滎陽ヲ守リ蜀漢ノ粟ヲ下シ溝渠ヲ深フシ壁壘ヲ高ク構ヘ士卒ヲ分ケテ徼ヲ守リ塞ニ乘ス(蜀漢ノ粟ヲ下ス云々ノ三句ハ漢ノ万全ノ勢ヲ得テ原ト未タ嘗テ弱カラサルヲ言ナリ)楚人漢ヲ攻メテ兵ヲ還ス時ニ梁ハ楚漢ノ中間ニ在レハ必ラス當サニ梁ノ地ヲ經過スヘシ深ク敵國ニ入ルハ八九百里ナリ故ニ戰ハント欲スレハ得ス城ヲ攻ムレハ力耐ヘス老人幼者ハ糧食ヲ千里ノ遠方ヘ轉運セサルヲ得ス(戰ハント欲スレハ則チ得ス云々ノ二句ハ梁ヲ攻ムル能ハサルヲ言フナリ)楚ノ兵滎陽成臯ニ至ル漢堅ク守リテ動カス故ニ楚ノ軍進メハ攻ムルヲ得ス退ケハ解クルヲ得ス故ニ曰ク楚ノ兵ハ恃ムニ足ラサルナリト深ク敵國ニ入テ退ケハ則チ前後之ヲ挾ミ攻ムルヲ恐ルハナリ

使楚勝漢。則諸侯自危懼而相救。夫楚之疆適足以致天下之

兵耳。故楚不如漢。其勢易見也。今大王不與萬全之漢而自託於危亡之楚。臣竊爲大王惑之。臣非以淮南之兵足以亡楚也。

楚ヲシテ漢ニ勝タシメハ諸侯楚ノ不義ヲ以テ已レニ加フルヲ恐ルハカ故ニ自カラ危フミ懼レテ相救フヘシ夫レ楚ノ強キ適サニ天下ノ兵ヲ招クニ足ルノミ故ニ楚ハ漢ニ如カス其勢甚タ見ヤスキナリ今大王万全ノ漢ニ與ミセスシテ自カラ危亡ノ楚ニ託セントス臣竊カニ大王爲メニ之ニ惑フナリ臣敢テ淮南ノ兵ヲ以テ楚ヲ亡スニ足ルト言フニ非サルナリ淮南ハ原ト楚ノ敵ニ非サレハナリ

夫大王發兵而倍楚。項王必留。留數日。漢之取天下。可以萬全。臣請與大王提劍而歸漢。漢王必裂地而封大王。又況淮南。淮南必大王有也。故漢王敬使使臣進愚計。願大王之留意也。

(又況淮南)漢必ラス封地ヲ淮南ノ外ニ加フヘシ淮南ヲ以テ漢ニ托スルハ言ヲ待タサルヲ言フナリ

夫レ大王兵ヲ發シテ楚ニ背カハ項王必ラス齊ニ留マルヘシ項王齊ニ留マルヲ數月ノ間ナラハ漢ノ天下ヲ取ルヲ万全ナルヘシ而シテ後ニ臣請フ大王ト俱ニ劍ヲ提ケテ漢ニ歸セン此ノ如クハ漢王必ラス大ニ喜ヒテ地ヲ割テ大王ヲ封スヘシ又何ソ況ンヤ淮南ノ

地ヲヤ淮南ハ必ラス王ノ有ナリ故ニ漢王敬ンテ使臣ヲシテ愚計ヲ進メシム願クハ大王ノ意ヲ留メンコトナ

淮南王曰。請奉命。陰許畔楚。與漢未敢泄也。楚使者。在方急責英布。發兵。舍傳舍。隨何直入。坐楚使者上。坐曰。九江王已歸漢。楚何以得發兵。布愕然。楚使者起。

(舍傳舍) 舍ハ寄宿スルナリ傳舍ハ客舍ナリ

淮南王曰ク請フ教命ヲ奉セント陰カニ楚ニ背テ漢ニ與ミスルヲ許シテ未ダ敢テ之ヲ人ニ泄ラサイルナリ此ノ時楚王ノ使者淮南王ノ所ニ在リ方サニ急ニ英布ヲ責メテ兵ヲ發セシム楚ノ使者傳舍ニ寄宿ス隨何直チニ傳舍ノ中ニ入テ楚ノ使者ノ上坐ニ坐シテ曰ク九江王ハ既ニ漢ニ歸セリ楚何ヲ以テ九江王ヲシテ兵ヲ發セシムルヲ得ント英布之ヲ聞テ大ニ驚愕ス楚ノ使者亦驚テ其坐ヲ起チタリ

何因說布曰。事以構。可遂殺楚使者。無使歸。而疾走漢。并力。布曰。如使者教。因起兵而擊之耳。於是殺使者。因起兵而攻楚。楚使項聲龍且攻淮南。項王留而攻下邑。

(事以構) 以ハ已ト通ス構ハ成ルナリ (下邑) 梁ノ地ニ在リ

隨何因テ英布ニ說テ曰ク事已ニ成レリ遂ニ楚ノ使者ヲ殺シテ歸ラシムルナクシテ疾ク漢ニ赴ムキカヲ并スヘシ英布曰ク使者ノ教命ノ如クシ因テ兵ヲ起シテ楚ヲ擊タシト遂ニ使者ヲ殺シ因テ兵ヲ起シテ楚ヲ攻メタリ楚項聲龍且ノ二人ヲシテ淮南ヲ攻メシメ項王自カラ留マリテ下邑ヲ攻メタリ

數月。龍且擊淮南。破布軍。布欲引兵走漢。恐楚王殺之。故間行。與何俱歸漢。淮南王至。上方踞牀洗。召布入見。布甚大怒。悔來欲自殺。出就舍。帳御飲食從官如漢王居。布又大喜過望。

(帳御) 帷帳及ヒ服御ノ具ヲ謂フ

數月ヲ過キテ龍且淮南ヲ擊テ英布カ軍ヲ打破ル英布兵ヲ引テ漢ニ赴カント欲スレモ楚王カ擊テ己レヲ殺サンコトヲ恐ル故ニ間行シテ隨何ト俱ニ漢ニ歸シタリ淮南王漢ニ至ル高祖方サニ牀ニ踞シテ足ヲ洗ヒ英布ヲ召シテ入テ見ヘシメタリ英布甚々大ニ怒リ自カラ漢ニ來ルヲ悔ヒテ自殺セント欲ス既ニシテ出テ、舍ニ往ケハ帳御飲食及ヒ從官等ニ至ルマテ皆漢王ノ居ノ如シ英布又大ニ其望ミニ過クルヲ喜ヒタリ(之ヲ折クニ不測ノ辱メヲ以テシ之ヲ寵スルニ非望ノ禮ヲ以テスルハ是レ權道ナリ)

於是廼使人入九江。楚已使項伯收九江兵，盡殺布妻子。布使者頗得故人幸臣，將衆數千人歸漢。漢益分布兵，而與俱北收兵，至成臯。

是ニ於テ英布使者ヲ遣リ九江ニ入テ妻子ヲ招カシメシニ楚既ニ季父項伯ヲシテ九江ノ兵ヲ取收メテ悉ク英布カ妻子ヲ殺サシメタリ英布ノ使者此時頗ル英布ノ舊故アル人及ヒ寵幸ノ臣ヲ得テ數千人ノ衆ヲ將井テ漢ニ歸シタリ漢益々英布ニ兵ヲ分ケテ與ニ俱ニ北ノ方兵ヲ取收メテ成臯ニ至リタリ

四年七月立布爲淮南王，與擊項籍。漢五年布使人入九江，得數縣。六年布與劉賈入九江，誘大司馬周殷。周殷反楚，遂舉九江兵，與漢擊楚，破之垓下。項籍死，天下定。

漢ノ四年七月英布ヲ立テ淮南王ト爲シテ與ニ項籍ヲ擊チタリ五年英布使者ヲシテ九江ニ入ラシメテ數縣ヲ得タリ六年英布劉賈トイヘル人ト九江ニ入テ利ヲ以テ大司馬周殷ヲ誘ケリ周殷果シテ楚ニ反シ遂ニ九江ノ兵ヲ舉ケテ漢ト俱ニ楚ヲ擊テ之ヲ垓下ニ於テ擊チ破ル項羽死シテ天下始メテ定マレリ

上置酒，上折隨何之功，謂何爲腐儒。爲天下安用腐儒？隨何跪曰：夫陛下引兵攻彭城，楚王未去齊也。陛下發步卒五萬人，騎五千，能以取淮南乎？上曰：不能。

(腐儒)爛敗ノ儒者ニシテ任用セラレサルヲ言フ

高祖置酒ス高祖隨何ノ功ヲ折キテ曰ク何ハ腐儒タリ天下ノ事ヲ爲ムルニ安ソ腐儒ヲ用ヒント(師古曰ク高祖ノ意ハ隨何ヲ褒賞セント欲ス群臣ノ服セサルヲ恐ルカ故ニ衆ニ對シテ折キ辱カシメテ其レヲシテ自カラ功勞ヲ數ヘシムルナリ)隨何跪テ曰ク夫レ陛下カ兵ヲ引テ彭城ヲ攻ムル時楚王未タ齊ヲ去ラサルナリ此時陛下步卒五万人ト騎五千トヲ以テ能ク淮南ヲ以ランヤ高祖曰ク能ハス

隨何曰：陛下使何與二十人使淮南，至如陛下之意，是何之功？賢於步卒五萬人，騎五千也。然而陛下謂何腐儒，爲天下安用腐儒？何也？上曰：吾方圖子之功，廼以隨何爲護軍中尉。布遂剖符爲淮南王，都六。九江、廬山、衡山、豫章郡皆屬布。

隨何曰ク陛下何ヲシテ二十人ト俱ニ淮南ニ使ヒセシム何淮南ニ至テ陛下ノ意ノ如クセ

リ是レ何ノ功ハ歩卒五万人ト騎五千トヨリ賢ルナリ然リ而シテ陛下謂フ何ハ腐儒ナリ天下ノ事ヲ爲ムルニ安クソ腐儒ヲ用ヒント何ソヤ高祖曰ク吾方サニ子ノ功ヲ謀ラント乃チ隨何ヲ以テ護軍中尉ト爲シタリ英布遂ニ符ヲ割テ淮南王ト爲リテ六トイヘル所ニ都ヲ構フ九江盧江衡山豫章ノ四郡皆英布ニ屬シタリ

七年朝陳。八年朝雒陽。九年朝長安。十一年高后誅淮陰侯。布因心恐。夏漢誅梁王彭越。醢之。盛其醢。徧賜諸侯。至淮南。淮南王方獵。見醢。因大恐。陰令人部聚兵。候伺旁郡。警急。

(醢)肉醬ナリ凡ソ反スル者誅セラレハ皆其骨肉ヲ以テ醢ト爲スナリ

(部聚)組分ク

ナ爲シ兵ヲ聚ムルナリ (候伺)様子ヲ伺ハシムルナリ

七年英布高祖ニ陳ニ至リテ朝ス八年雒陽ニ至リテ朝ス九年長安ニ至リテ朝ス十一年高后淮陰侯韓信ヲ誅ス英布因テ心大ニ恐レタリ其夏漢梁王彭越ヲ誅シテ之ヲ醢ニシ其醢ヲ器ニ盛リテ徧子ク諸侯ニ賜ヒ淮南ニ至ル此時淮南王方サニ獵ヲ爲セシカ彭越ノ醢ヲ見テ大ニ恐レ陰カニ人ヲシテ兵ヲ部聚シ近傍ノ郡ニ候伺シテ急ヲ警誡セシメタリ是レ淮南王收捕セラレシト恐レテ兵ヲ發シテ反セント欲スルナリ

布所幸姬疾。請就醫。々家與中大夫賁赫對門。姬數如醫家。賁

赫自以爲侍中。迺厚餽遺。從姬飲。醫家。

英布カ寵幸スル所ノ姬疾ニ罹リ請フテ醫師ノ家ニ往テ診察ヲ請ヘリ醫師ノ家中大夫ノ賁赫トイヘル入ト門ヲ相對ス姬病氣ノ故ヲ以テ數々醫師ノ家ニ往ク賁赫本ト英布カ侍中タルヲ以テ厚ク物ヲ姫ニ餽遺シ姫ニ從テ酒ヲ醫師ノ家ニ飲ミタリ

姬侍王。從容語次。譽赫長者也。王怒曰。汝安從知之。具說狀。王疑其與亂。赫恐稱病。王愈怒。欲捕赫。赫言變事。乘傳詣長安。

(從容)迫ラサル貌ナリ

(語次)談話ノ序テナリ

(變事)非常ノ事ヲ言フ

(傳)傳車ナリ

リ猶後世ノ驛ノ如シ即チ宿次ノ車ナリ

姫仍テ淮南王ニ侍シテ從容トシテ語次ニ賁赫カ極メテ溫厚ノ長者ナルヲ譽メタリ淮南王大ニ怒テ曰ク汝何ニ由テ賁赫ヲ知ルヤト姫具サニ其情狀ヲ説ク然レモ淮南王姫カ賁赫ト俱ニ密通セルヲ疑ヒタリ賁赫大ニ恐レテ病氣ト稱シテ朝ニ出テス淮南王愈々大ニ怒テ賁赫ヲ捕ヘント欲ス賁赫仍テ變事ヲ言ハントシテ傳車ニ乘シテ長安ニ至リタリ

布使人追不及。赫至上。變言。布謀反有端。可先未發誅也。上讀其書。語蕭相國。相國曰。布不宜有此。恐仇怨妄誣之。請繫赫。使

人微驗淮南王。

(微驗)ヒソカニシラフテ顯ハニ其事ヲ言ハサルナリ
英布人ナシテ賁赫ヲ追ハシメシニ及ハス賁赫遂ニ長安ニ至リ變事ヲ上リテ曰ク英布カ
謀反其端アリ未タ發セサルニ先タテ誅スヘシト高祖其書ヲ讀テ相國蕭何ニ告ク蕭相
國曰ク英布宜シク此事アルヘカラス仇怨ノ妄リニ之ヲ誣フルヲ恐ル請フ賁赫ヲ獄ニ繫
キ人ヲシテ淮南王ヲ微驗セシメント

淮南王布見赫以罪亡上變固已疑其言國陰事漢使又來頗
有所驗遂族赫家發兵反反書聞上廼赦賁赫以爲將軍上召
諸將問曰布反爲之奈何皆曰發兵擊之坑豎子耳何能爲乎

(陰事)私事ナリ (豎)童子ナリ淮南王ヲ輕易シテ言フ

淮南王賁赫カ罪ヲ以テ亡ク長安ニ至リテ變事ヲ上ツルヲ見ル固ヨリ其國ノ陰事ヲ言フ
ヲ疑ヘリ漢ノ使者又來テ頗ル驗問スル所アリ淮南王仍テ遂ニ賁赫ノ一族ヲ殺シ兵ヲ發
シテ反シタリ淮南王ノ反書聞ス高祖乃チ賁赫ヲ赦シテ將軍ト爲シ諸將ヲ召シテ問フテ
曰ク英布反ス之ヲ爲ス奈何諸將皆曰ク兵ヲ發シテ之ヲ擊テ豎子ヲ坑ニセンノミ豎子
何チカ能ク爲サンヤト

汝陰侯滕公召故楚令尹問之令尹曰是固當反滕公曰上裂
地而王之疏爵而貴之南面而立萬乘之主其反何也令尹曰
往年殺彭越前年殺韓信言此三人者同功一體之人也自疑
禍及身故反耳

(疏)分ツナリ (往年前年)共ニサキノ年ナリ只文章上ニ於テ之ヲ避クルノミ

汝陰侯滕公トイヘル人故ノ六國ノ時ノ楚ノ令尹ヲ召シテ之ヲ問フ令尹曰ク是レ固ヨリ
當サニ反スヘシ滕公曰ク上地ヲ裂テ之ヲ王トシ爵ヲ分ケテ之ヲ貴フス南面シテ立チ萬
乘ノ主ト爲レリ其反スルハ何ソヤ令尹曰ク往年彭越ヲ殺シ前年韓信ヲ殺ス言フ此ノ三
人(彭越韓信英布)ハ同功一體ノ人ナリ而ルニ皆既ニ殺サル仍テ禍ノ身ニ及ハシト疑フ
テ反スルノミ

滕公言之上曰臣客故楚令尹薛公者其人有籌策之計可問
上廼召見問薛公薛公對曰布反不足怪也使布出於上計山
東非漢之有也出於中計勝敗之數未可知也出於下計陛下
安枕而臥矣

〔籌筭〕籌ハ算ナリ筭ハ策ト同シ謀ルナリ手ダテチ考ヘルチ言フ

滕公之チ高祖ニ申シテ曰ク臣ノ客ニ故ノ楚ノ令尹タリシ薛公トイフモノアリ其人籌筭
スルノ計アリ英布チ擊ツノ計ハ薛公ニ問フヘシト上乃チ薛公チ召シ見テ之チ問フ薛公
對ヘテ曰ク英布ノ反スルハ敢テ怪ムニ足ラサルナリ英布チシテ上計ニ出テシメハ山東
ハ漢ノ所有ニ非サルナリ中計ニ出テシメハ勝敗ノ運ハ未タ知ルヘカラス下計ニ出テシ
メハ陛下ハ必ラス枕チ高フシテ安臥セラルヘシ

上曰。何謂上計。令尹對曰。東取吳。西取楚。并齊取魯。傳檄燕趙。
固守其所。山東非漢之有也。

高祖曰ク何チカ上計ト謂フ令尹薛公對ヘテ曰ク東ノ方吳チ取り西ノ方楚チ取り齊チ并
セ魯チ取り齊ハ齊王肥カ封セラレノ地ナリ魯ハ亦楚ノ境ニ入レリ檄書チ燕趙二國(時
ニ盧綰燕王タリ張敖趙王タリ)ニ傳ヘテ堅ク其所チ守ラハ山東ハ漢ノ所有ニ非サルナリ
何謂中計。東取吳。西取楚。并韓取魏。據敖倉之粟。塞成臯之口。
勝敗之數。未可知也。何謂下計。東取吳。西取下蔡。歸重於越。身
歸長沙。陛下安枕而臥。漢無事矣。
(敖倉之粟。秦敖倉チ成臯ノ地ニ建テリ粟ハ五穀チ指シテ言フ)

高祖又問フテ曰ク何チカ中計ト謂フ薛公曰ク東ノ方吳チ取り西ノ方楚チ取り韓チ并セ
魏チ取り(韓ノ地ハ時ニ淮陽國ニ益セリ魏ノ地ハ梁王友ノ封セラレノ所ナリ)敖倉ノ粟ニ
據リ成臯ノ口チ塞カハ勝敗ノ運ハ未タ知ルヘカラス上計ナリ高祖又問フテ曰ク何チカ下
計ト謂フ薛公曰ク東ノ方吳チ取り西ノ方下蔡チ取り(英布六ニ都チ構ヘ淮水チ阻テ、
固メト爲ス故ニ其西ノ方下蔡チ取り東ノ方劉賈チ取テ全淮ニ據ルチ策スルナリ)輜重チ
越ニ送リテ(越ハ東南ノ方ニ在リ故ニ其輜重チ越ニ歸シテ自カラ厚フシ深固ニシテ取ル
ヘカラサルノ計チ策スルナリ)英布ノ身長沙ニ歸ラハ(英布長沙王ヨリ娶レリ故ニ其身長
沙ニ歸ルチ策スルナリ)陛下必ラス枕チ高フシテ安臥シ漢必ラス患ナカラント

上曰。是計將安出。令尹對曰。出下計。上曰。何謂廢上中而出下
計。令尹曰。布故麗山之徒也。自致萬乘之主。此皆爲身。不顧後。
爲百姓萬世慮者也。故曰。出下計。上曰。善。封薛公千戶。

高祖曰ク此ノ三ツノ計ノ中將サニ何レニカ出テン薛公對テ曰ク臣カ計ル所ニテハ下計
ニ出ツヘシ高祖曰ク何ソ上中ノ二計チ廢シテ下計ニ出テント謂フヤ薛公曰ク英布ハ舊
ト麗山ノ徒ナリシニ自カラ起リテ萬乘ノ諸侯ニ列セラレタリ然レモ此レ皆一身ノ爲メ
ニシテ敢テ子孫ノ事チ顧ミ百姓萬代ノ爲メニ謀慮セサルナリ臣故ニ下計ニ出テント曰
フノミ高祖曰ク善シト仍テ薛公チ千戶ノ邑ニ封シタリ

廼立皇子長爲淮南王。上遂發兵自將東擊布。布之初反。謂其將曰。上老矣。厭兵。必不能來。使諸將。諸將獨患淮陰彭越。今皆已死。餘不足畏也。故遂反。果如薛公籌之。

漢皇子長トイヘルヲ立テ、淮南王ト爲セリ。高祖遂ニ兵ヲ發シ自カラ將トシテ英布ヲ擊ツ。英布カ初メ反スル時其將ニ謂テ曰ク上年既ニ老ヒテ兵事ヲ厭フ必ラス自カラ來ル能ハス。諸將ヲシテ來ラシメン。漢ノ諸將ハ我獨リ淮陰侯韓信ト彭越トノ二人ヲ恐ルノミニ人今皆既ニ死シタリ其他ハ敢テ畏ル、ニ足ラサルナリト故ニ遂ニ反シタリ。果シテ薛公ノ策ル所ノ如ク下計ニ出テタルナリ。

東擊荆。荆王劉賈走死富陵。盡劫其兵。渡淮擊楚。楚發兵與戰。徐僮間爲三軍欲以相救爲奇。

英布東ノ方荆ヲ擊ツ。荆王劉賈亡ケ走リテ富陵トイヘル所ニ至リテ死ス。英布仍テ悉ク其兵ヲ劫カシ淮水ヲ渡リテ楚ヲ擊ツ。楚兵ヲ發シテ俱ニ徐僮二縣ノ間ニ戰フ。楚ノ將兵チ一。所ニ聚ムルチ爲サス分ケテ三軍ト爲シ互ニ相救フテ兵チ出サント欲ス。

或說楚將曰。布善用兵。民素畏之。且兵法諸侯戰其地爲散地。

今別爲三。彼敗吾一軍。餘皆走。安能相救。不聽。布果破其一軍。其二軍散走。

(散地)散ハ潰散ナリ敵來テ吾カ境ニ入り我カ兵境チ出テサレハ則チ士卒家チ顧ミテ妻子ヲ懷ヒ戀フカ故ニ潰散スルノ意アルナリ。或人楚ノ將ニ說テ曰ク英布ハ善ク兵チ用フ人民素ヨリ之ヲ畏懼セリ且ツ兵法ニ曰ク諸侯我カ地ニ戰フチ散地ト爲ス。今軍チ分ケテ三組ト爲シタリ彼レ吾レノ一軍チ敗ラハ其他ノ二軍ハ皆亡ケ走ルヘシ安クソ能ク相救ハント楚ノ將之ヲ聽キ納レヌ。英布果シテ其一軍チ破リシカハ他ノ二軍ハ皆散シ走リタリ。

遂西與上兵遇。斬西會甄。布兵精甚。上廼壁庸城。望布軍。置陳如項籍軍。

英布遂ニ西ノ方ニ向ヒ高祖ノ兵ト斬縣ノ西ノ會甄トイヘル所ニテ相遇フ。英布ノ兵甚タ精銳ナリ。高祖仍テ庸城トイヘル所ニ壘壁ヲ構ヘテ英布ノ軍ヲ望ミ見シニ其陣チ布ケル有様恰カモ項籍ノ軍ノ如シ。

上惡之。與布相望。見遙謂布曰。何苦而反。布曰。欲爲帝耳。上怒。罵之。遂大戰。布軍敗走。渡淮。數止戰。不利。與百餘人走江南。

高祖甚々之ヲ惡クミ英布ト相望ミ見テ遙カニ英布ニ謂テ曰ク何ナ苦ミテ反セル英布曰
ク我帝タラント欲スルカ爲メノミ高祖大ニ怒テ之ヲ罵リ遂ニ大ニ戰フ英布カ軍大ニ敗
レテ亡ク走リ淮水ヲ渡リテ數々止マリ戰ヒシカ勝利ナシ仍テ百餘人ヲ率井テ江南ノ地
ニ亡ク走リタリ

布故、與番君婚。以故長沙哀王使人給布僞與亡。誘走越。故信
而隨之。番陽。番陽人殺布茲鄉民田舍。遂滅鯨布。立皇子長爲
淮南王。封賁赫爲期思侯。諸將率多以功封者。

(諸將率)率ハ卒ト通ス

英布舊ト番君吳芮ト婚姻ヲ結ヒタリ故チ以テ長沙ノ哀王使チシテ英布ヲ欺キ僞リテ俱
ニ亡ク誘フテ越ノ國ニ走ラシム故ニ英布之ヲ信シテ隨フテ番陽ニ往ケリ番陽ノ人英布
ヲ茲鄉ノ民ノ田舍ニ於テ殺シタリ高祖遂ニ鯨布ヲ打滅シ仍テ皇子長チ立テ淮南王ト
爲シ賁赫ヲ封シテ期思侯ト爲ス諸將卒功チ以テ封セラレシモノ多シ

太史公曰。英布者。其先豈春秋所見。楚滅英。六皐陶之後哉。身
被刑法。何其拔興之暴也。項氏之所坑殺人。以千萬數。而布常
爲首虐。功冠諸侯。用此得王。亦不免於身。爲世大僂。禍之興。自

愛姬殖。妒媚生患。竟以滅國。

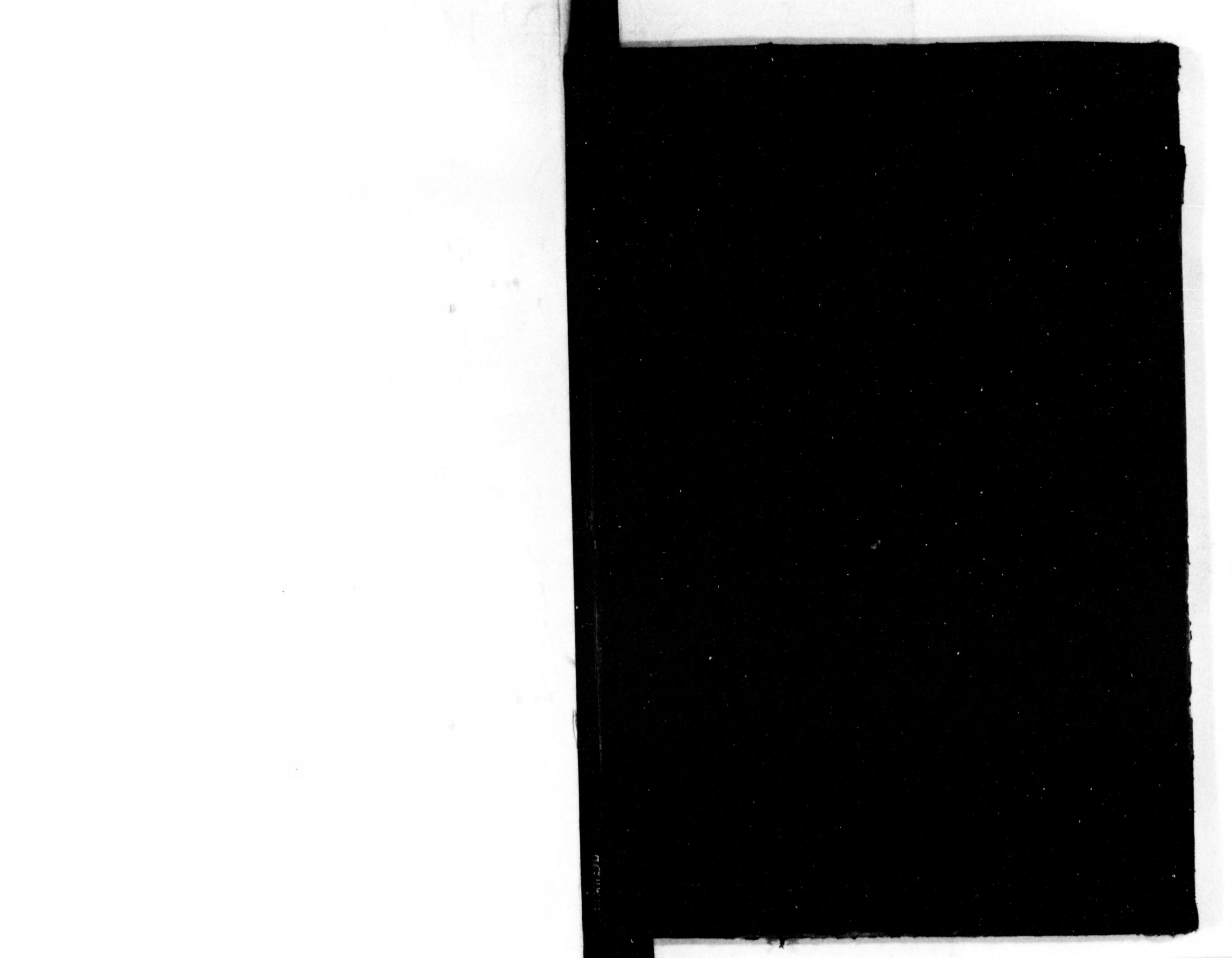
(拔興)拔ハ疾ヤカナリ (首虐)第一ノ惡虐チ謂フナリ (大僂)僂ハ戮ト同シ (殖)生

スルナリ英布カ誅セララルヘチ尋マルニ賁赫カ愛姬ト亂スルアルチ疑フヨリ生スルチ謂
フ (妒媚)チタミチタムナリ

英布ハ其先祖ハ豈ニ春秋ノ書ニ見フル所ノ楚ノ英六チ滅スト云フモノニシテ即チ皐陶
ノ後チナルカ英布ノ身刑法チ被フリテ鯨セララル何ソ其レ拔興スルノ暴カナルヤ(太史公
ノ意ニ謂フ皐陶ハ法チ執リタレハ幽怨セララルトナキ能ハス又英布ノ身刑法チ被フルハ
蓋シ其餘殃ナルカ然レモ皐陶ハ大賢聖ノ佐ケナリ其後裔宜シク王タルヘシ然レモ何ソ
其レ疾ク興ルノ暴カナルヤ)項氏カ坑殺スル所ノ人ハ千万チ以テ數フル程アリ而シテ英
布常ニ其首虐ト爲リテ其功諸侯ノ最ト爲レリ故チ以テ封セラレテ万乘ノ王タルチ得タ
レモ後チ亦其ノ身世ノ大僂ト爲ルチ免カレサルナリ而シテ其禍ノ興ル本ハ愛姬ヨリ生
シ妒媚ヨリ患チ生シテ竟ニ國チ滅シタリ悲ムヘキカナ

16/4/34

68
182



68
182

1811

1811

7.45